

平成 24 年度診療報酬改定結果検証に係る調査（平成 25 年度調査）
後発医薬品の使用状況調査 結果概要（速報）（案）

◇◆目 次◇◆

I. 調査の概要	1
1. 目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査項目	2
II. 調査の結果	7
1. 回収結果	7
2. 保険薬局調査の結果	8
(1) 薬局の属性	8
①組織形態	8
②同一法人による薬局店舗数	9
③チェーン薬局の状況	9
④売上高に占める保険調剤売上の割合	10
⑤職員数	11
(2) 調剤の状況等	12
①調剤基本料	12
②基準調剤加算	13
③後発医薬品調剤体制加算	13
④処方せんの応需状況	14
⑤1か月間の取扱い処方せん枚数	15
(3) 取扱い処方せんの状況【様式1が「処方せんベース」である408施設を対象】	16
①1週間の取扱い処方せん枚数の内訳	16
②後発医薬品への変更割合（処方せん枚数ベース）	17
③すべてが変更不可となっている処方せんのうち、後発医薬品を銘柄指定している処方せんの割合（処方せん枚数ベース）	20
④後発医薬品への変更割合（薬局数ベース）	21
(4) 取扱い処方せんの状況【様式1が「品目ベース」である391施設を対象】	23
①1週間の取扱い処方せん枚数の内訳	23
②後発医薬品への変更割合等（品目ベース）	25
(5) 1週間の取扱い処方せんにおける調剤状況	29
①一般名処方処方せんを持参した患者のうち、後発医薬品を調剤しなかったケースについての最も多い理由	29
②後発医薬品への変更・選択が可能な処方せんであっても、後発医薬品の使用を希望	

しなかった患者の割合	30
③後発医薬品への変更・選択において、患者の理解を得られやすい処方方法.....	30
④後発医薬品の備蓄がなかったため直ちに取り揃えることができなかった患者に対する主な対応	31
⑤後発医薬品を積極的に調剤していない医薬品の種類	32
⑥後発医薬品を積極的に調剤していない患者の特徴.....	32
(6) 後発医薬品の備蓄状況・廃棄額等.....	33
①医薬品の備蓄品目数	33
②医薬品の在庫金額・購入金額・廃棄額	34
(7) 後発医薬品への対応状況	35
①後発医薬品の調剤に関する考え	35
②後発医薬品使用に関する患者の意向確認	37
③後発医薬品使用に関する患者への働きかけ	38
④医療機関への情報提供等	40
(8) 後発医薬品使用に当たっての問題点・課題・要望等	42
①薬剤師の立場として後発医薬品の調剤を積極的に進める上で必要なこと	42
②後発医薬品の使用を進める上で医師に望むこと	43
(9) 後発医薬品に変更して調剤した処方せんに係る薬剤料の状況	44
3. 診療所・病院・医師調査の結果.....	45
(1) 施設の概要等	45
①診療所の施設属性.....	45
②病院の施設属性.....	46
③オーダリングシステムの導入状況等.....	49
(2) 医師の属性等	50
①医師の属性.....	50
(3) 診療所・病院の診療体制	51
①診療所の診療体制.....	51
②病院の診療体制.....	51
(4) 診療所・病院における医薬品の備蓄状況等	52
①医薬品の備蓄状況等	52
②病院における後発医薬品の採用状況.....	56
③診療所・病院において、後発医薬品採用する際に重視すること	57
(5) 入院患者に対する後発医薬品の使用状況等	59
①有床診療所の入院医療における後発医薬品の採用状況	59
②有床診療所の入院医療における、後発医薬品を採用する際に重視すること	59
③後発医薬品使用体制加算の状況.....	61
④今後どのような対応が進めば施設として入院患者等*に後発医薬品の使用を進めてもよいか.....	62

(7) 外来患者に対する後発医薬品の使用状況等（施設ベース）	64
①処方せん料・一般名処方加算の算定回数（平成 25 年 7 月 1 か月間）	64
②病院における、外来患者に院外処方する場合の施設としての対応方針等	64
③病院における一般名処方による処方せん発行への対応状況等.....	65
④診療所における一般名処方による処方せん発行への対応状況等	67
(8) 外来診療における院外処方せん発行時や後発医薬品の処方に関する医師の考え等 （医師ベース）	68
①外来診療における後発医薬品の処方に関する考え.....	68
②外来診療における後発医薬品の処方の変化（1 年前と比較して）	69
③後発医薬品への「変更不可」欄にチェックした処方せんの発行経験等（平成 25 年 4 月以降）	69
(9) 保険薬局・患者との関係	72
①調剤時の保険薬局からの情報提供に関する意向	72
②患者から後発医薬品の処方を求められた経験の有無と対応	72
(10) 院外処方せんを発行していない施設における、外来患者に対する院内投薬の状況 や後発医薬品の使用に関する考え.....	74
①院外処方せんを発行していない病院における、外来患者に院内投薬する際の後発医 薬品の処方に関する考え.....	74
②院外処方せんを発行していない診療所における、外来患者に院内投薬する際の後発 医薬品の処方に関する考え	75
③院外処方せんを発行していない施設における、患者から後発医薬品の処方を求めら れた経験の有無と対応	76
(11) 医療機関・医師における後発医薬品使用に関する意識等	77
①医療機関・医師における、後発医薬品が薬事法に基づく厚生労働大臣の承認を得る ために必要なデータの内容に関する認知状況.....	77
②医療機関・医師における、『ジェネリック医薬品への疑問に答えます～ジェネリック 医薬品 Q & A ～』に関する認知状況	77
③後発医薬品の処方を進めるための環境.....	78
4. 患者調査の結果	80
(1) 患者の属性等	80
①患者の基本属性.....	80
②公的医療保険の種類	81
(2) 調査日における受診・調剤状況等.....	83
①薬局を選んだ理由	83
②処方の状況等	85
(3) ジェネリック使用に関する経験等.....	88
①ジェネリック医薬品に対する関心の有無	88
②ジェネリック医薬品に対する認知度.....	89

③ジェネリック医薬品の使用経験の有無	90
④ジェネリック医薬品について医師から説明を受けた経験の有無	91
⑤ジェネリック医薬品の処方を医師に頼んだ経験の有無	92
⑥ジェネリック医薬品について薬剤師から説明を受けた経験の有無	93
⑦ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだ経験等	94
⑧今までに先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した薬の有無等.....	99
(4) ジェネリック使用に関する意向等.....	103
①薬局で聞きたいジェネリック医薬品に関する情報等	103
②ジェネリック医薬品に関する文書等に関する経験・意向等	107
③一般名処方への認知度	112
④ジェネリック医薬品に関する使用意向等	113

I. 調査の概要

1. 目的

- ・保険薬局における後発医薬品の調剤状況の変化等の把握
- ・医療機関における後発医薬品の使用状況や医師の処方に関する意識等の把握
- ・患者における後発医薬品に関する意識等の把握
- ・一般名処方に関する医師・薬剤師及び患者の意識等の把握

2. 調査対象

本調査では、「保険薬局調査」「病院調査」「医師調査」「診療所調査」「患者調査」の5つの調査を実施した。各調査の対象は、次のとおりである。

- ・保険薬局調査：全国の保険薬局の中から無作為抽出した 1,500 施設
(ただし、様式1(処方せんベース) 750 施設、様式1(品目ベース) 750 施設とした。様式1について、詳細後述)。
- ・診療所調査：全国の一般診療所の中から無作為抽出した 2,000 施設。
- ・病院調査：全国の病院の中から無作為抽出した 1,500 施設。
- ・医師調査：上記「病院調査」の対象施設に勤務する、診療科の異なる2名の医師。
- ・患者調査：上記「保険薬局調査」の対象施設に調査日に来局した患者。ただし、1施設につき最大2名の患者とした。

3. 調査方法

- ・対象施設・医師・患者が記入する自記式調査票の郵送配布・回収とした。
- ・保険薬局調査については、施設属性、後発医薬品の調剤状況等を尋ねる「様式1」と、薬剤料を尋ねる「様式2」の2種類の調査票を配布した。このうち、「様式1」については、調査対象期間中に対象薬局で受け付けた処方せんへの対応状況を把握するために、過去調査と同様に「処方せんベース」で把握する質問を設けた調査票(以下、「処方せんベース」と、対象の処方せんに記載された「品目ベース」で把握する質問を設けた調査票(以下、「品目ベース」)の2種類を設けた。なお、この2種類の調査票については他の質問項目は共通とした。
- ・診療所調査については、施設の概況、院外処方せんや一般名処方による処方せんの発行状況、後発医薬品の使用状況や使用に関する意識、後発医薬品を使用する上での課題等を尋ねる「診療所票」を配布した。
- ・病院調査については、施設の概況や院外処方せんの発行状況、入院患者に対する後発医薬品の使用状況、後発医薬品を使用する上での課題等を尋ねる「病院票」を配布した。
- ・医師調査については、後発医薬品の使用状況と使用に関する意識等を尋ねる「医師票」を配布した。配布に際しては、上記の「病院調査」の対象施設を通じて行った。

- ・患者調査については、後発医薬品の使用に対する意識等を尋ねる「患者票」を配布した。配布に際しては、上記の「保険薬局調査」の対象施設を通じて行った。
- ・医師調査及び患者調査の回収は、各医師及び患者から、事務局宛の返信用専用封筒にて直接回収した。
- ・調査実施時期は平成 25 年 8 月 12 日～平成 25 年 9 月 25 日。

4. 調査項目

区分	主な調査項目
(1)保険薬局調査	<p>○薬局の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織形態、同一法人による薬局店舗数、チェーン薬局、売上高に占める保険調剤売上の割合、職員数 ・ 調剤基本料の種類、全処方せんの受付回数、主たる保険医療機関に係る処方せんの受付回数、基準調剤加算の算定状況、後発医薬品調剤体制加算の算定状況、処方せんの取扱い枚数、処方せんの応需状況等 <p>○処方せんへの対応状況【処方せんベース】（平成 25 年 8 月 21 日～8 月 27 日 1 週間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取り扱い処方せん枚数、1 品目でも「変更不可」となっていない処方せん枚数、すべての品目が変更不可となっていない処方せん枚数、1 品目でも後発医薬品を調剤した処方せん枚数、1 品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した処方せん枚数、1 品目でも一般名処方となっている処方せん枚数 ・ 薬価収載されておらず後発医薬品に変更できなかった処方せん枚数、患者が希望しなかったために 1 品目も後発医薬品に変更できなかった処方せん枚数、外用剤が処方され同一剤形の後発医薬品が変更できなかった処方せん枚数 ・ すべてが変更不可となっている処方せん枚数、うち、後発医薬品を銘柄指定している処方せん枚数 <p>○処方せんへの対応状況【品目ベース】（平成 25 年 8 月 21 日～8 月 27 日 1 週間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取り扱い処方せん枚数 ・ 一般名で処方された医薬品の品目数、このうち後発医薬品を選択した医薬品の品目数、このうち先発医薬品を選択した医薬品の品目数 ・ 先発医薬品名で処方された医薬品の品目数、このうち「変更不可」となっていない医薬品の品目数、先発医薬品を後発医薬品に変更した医薬品の品目数、薬価収載されておらず後発医薬品に変更できなかった医薬品の品目数、患者が希望しなかったために後発医薬品に

	<p>変更できなかった医薬品の品目数、外用剤が処方され同一剤形の後発医薬品がなかったため変更できなかった医薬品の品目数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品名で処方された医薬品の品目数,このうち「変更不可」となっている医薬品の品目数 ・ その他の品目名で処方された医薬品の品目数 <p>○後発医薬品への対応等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般名処方の処方せんを持参した患者のうち後発医薬品を調剤しなかったケースについての最も多い理由 ・ 後発医薬品の備蓄がなかったために直ちに取り揃えることができなかった患者に対する主な対応 ・ 後発医薬品への変更・調剤において患者の理解を得られやすい処方方法 ・ 後発医薬品の調剤が可能であるにもかかわらず後発医薬品の処方を希望しなかった患者の割合（一般名処方の場合、変更不可としない処方の場合） ・ 後発医薬品を積極的に調剤していない医薬品の種類 ・ 後発医薬品を積極的に調剤していない患者の特徴等 <p>○後発医薬品への対応状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品・後発医薬品の備蓄品目数、在庫金額、購入金額、廃棄額の変化 ・ 後発医薬品の調剤に関する考え、後発医薬品の調剤に積極的に取り組んでいない場合の理由 ・ 後発医薬品使用に関する患者の意向確認の状況、タイミング、把握する手段、後発医薬品への変更を患者に働きかける頻度、毎回働きかけない場合の理由、後発医薬品への変更を働きかける際に患者に提供している情報とその方法 ・ 医療機関に対する後発医薬品への変更調剤・一般名処方の調剤に関する情報提供のタイミング <p>○後発医薬品使用についての考えや今後の課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品使用を進める上で医師に望むこと、必要な環境整備等 <p>○薬剤料の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 処方せんの記載銘柄に基づき調剤した場合の薬剤料及び実際に調剤した薬剤料等
(2)診療所調査	<p>○医師の属性等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 性別、年齢 <p>○施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 所在地、開設者、種別、許可病床数、主たる診療科、医師数・薬剤師数

	<ul style="list-style-type: none"> ・ オーダリングシステムの導入状況 ・ 院内処方・院外処方の割合 ○後発医薬品の使用状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品・後発医薬品の備蓄品目数、購入額、廃棄額 ・ 後発医薬品の採用に際して重視すること ○入院患者に対する後発医薬品の使用状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 入院患者に対する後発医薬品の使用状況、後発医薬品を積極的に使用しない場合の理由 ・ 後発医薬品の採用に際して重視すること ・ 後発医薬品の使用を進める上で必要な対応 ・ 後発医薬品使用体制加算の状況等 ○外来患者に対する後発医薬品の使用状況等（院外処方せんを発行している施設） <ul style="list-style-type: none"> ・ 処方せん料・一般名処方加算の算定回数 ・ 後発医薬品の処方に関する意識、積極的に処方しない場合の理由 ・ 1年前と比較した後発医薬品の処方状況 ・ 平成25年4月以降、後発医薬品への変更不可欄にチェックした処方せん発行の有無、割合、そのケース等 ・ 平成25年4月以降の一般名処方による処方せん発行の経験、状況、それに対する事務的な負担の変化等 ・ 保険薬局で調剤した医薬品（変更調剤や一般名処方についての調剤）についての保険薬局から情報提供されるで望ましいタイミング ・ 患者から後発医薬品の処方を求められた経験の有無、その時の対応等 ○外来患者に対する後発医薬品の使用状況等（院外処方せんを発行していない施設） <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の処方に関する意識、積極的に処方しない場合の理由 ・ 患者から後発医薬品の処方を求められた経験の有無、その時の対応等 ○後発医薬品の使用にあたっての課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の薬事承認に必要なデータ、『ジェネリック医薬品Q&A』の認知度 ・ 後発医薬品の処方を進める上で必要な環境 ・ 後発医薬品使用にあたっての課題等
(3)病院調査	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 開設者、標榜診療科、DPCの対応状況、特定入院料の状況、許可病床数、医師数・薬剤師数 ・ オーダリングシステムの導入状況、院内処方・院外処方の割合等

	<ul style="list-style-type: none"> ○後発医薬品の使用状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 処方せん料・一般名処方加算の算定回数 ・ 後発医薬品の採用状況、採用に際して重視すること ・ 医薬品・後発医薬品の備蓄品目数、購入額、廃棄額 ○外来患者に対する後発医薬品の使用状況等（院外処方せんを発行している施設） <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の処方に関する施設としての方針、積極的に処方しない場合の理由 ・ 平成 25 年 4 月以降の一般名処方による処方せん発行の経験、状況、それに対す事務的な負担の変化等 ・ 保険薬局で調剤した医薬品（変更調剤や一般名処方についての調剤）についての保険薬局から情報提供されるで望ましいタイミング ・ 患者から後発医薬品の処方を求められた経験の有無、その時の対応等 ○外来患者に対する後発医薬品の使用状況等（院外処方せんを発行していない施設） <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の処方に関する意識、積極的に処方しない場合の理由 ・ 患者から後発医薬品の処方を求められた経験の有無、その時の対応等 ○入院患者に対する後発医薬品の使用状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品使用体制加算の状況 ・ 後発医薬品の使用を進める上で必要な対応 ○後発医薬品の使用にあたっての課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の薬事承認に必要なデータ、『ジェネリック医薬品 Q & A』の認知度 ・ 後発医薬品使用にあたっての課題等
(4)医師調査	<ul style="list-style-type: none"> ○属性等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 性別、年齢、担当診療科 ○外来患者に対する後発医薬品の使用状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の処方に関する意識、積極的に処方しない場合の理由 ・ 1 年前と比較した後発医薬品の処方状況 ・ 平成 25 年 4 月以降、後発医薬品への変更不可欄にチェックした処方せん発行の有無、割合、そのケース等 ・ 保険薬局で調剤した医薬品（変更調剤や一般名処方についての調剤）についての保険薬局から情報提供されるで望ましいタイミング ○後発医薬品の使用にあたっての課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の薬事承認に必要なデータ、『ジェネリック医薬品 Q & A』の認知度

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の処方を進める上で必要な環境 ・ 後発医薬品使用にあたっての課題等
(5)患者調査	<ul style="list-style-type: none"> ○属性等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 性別、年齢、都道府県 ・ 加入している公的医療保険の種類 ○調査日における後発医薬品の使用状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己負担額 ・ 薬局での先発医薬品から後発医薬品への変更の有無、変更した場合の経済的負担感等 ○後発医薬品の使用に関する経験等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品に対する関心の有無、認知度、使用経験の有無 ・ 医師・薬剤師から後発医薬品について説明を受けた経験の有無 ・ 医師に後発医薬品の処方をお願いした経験の有無 ・ 薬剤師に後発医薬品の調剤をお願いした経験の有無、頼みやすさ、平成 25 年 4 月以降で調剤してもらえなかった経験の有無、その時の薬局から受けた説明 ・ 先発医薬品から後発医薬品に変更した薬の有無、そのきっかけ、変更時における体調不良の経験の有無等 ○後発医薬品の使用促進の取組に関する経験・考え等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬局で入手したい後発医薬品に関する情報の内容、望ましい提供方法とタイミング ・ ジェネリック医薬品希望カード・ジェネリック医薬品軽減額通知・薬剤情報提供文書の受取経験、今後の活用意向 ・ 望ましい薬剤情報提供文書の提供タイミング ・ 一般名処方の認知状況等 ○後発医薬品使用に関する意向等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品の使用に関する考え、自己負担額との関係でみた後発医薬品の使用意向、使用してもよいと思える差額、いくら安くなっても後発医薬品を使用したくない理由 ・ 望ましい処方せん発行形式 ・ 後発医薬品を使用する上で重要なこと等

Ⅱ. 調査の結果

1. 回収結果

図表 1 回収の状況

	発送数	有効回答数	有効回答率
①保険薬局調査			
保険薬局数(様式 1)	1,500	799	53.3%
保険薬局数(様式 1)(処方せんベース)	750	408	54.4%
保険薬局数(様式 1)(品目ベース)	750	391	52.1%
様式 2 に記載された処方せん枚数(612 薬局分)	—	9,722	—
②診療所調査			
一般診療所数	2,000	697	34.9%
③病院調査			
病院数	1,500	536	35.7%
④医師調査			
医師数	—	780	—
⑤患者調査			
患者数	—	1,003	—

2. 保険薬局調査の結果

【調査対象等】

○調査票 様式1 (品目ベース・処方せんベースの2種類)

調査対象：全国の保険薬局の中から無作為抽出した保険薬局 1,500 施設

回答数：799 施設 (品目ベース・処方せんベースの回答薬局数の合計)

回答者：管理者

○調査票 様式2

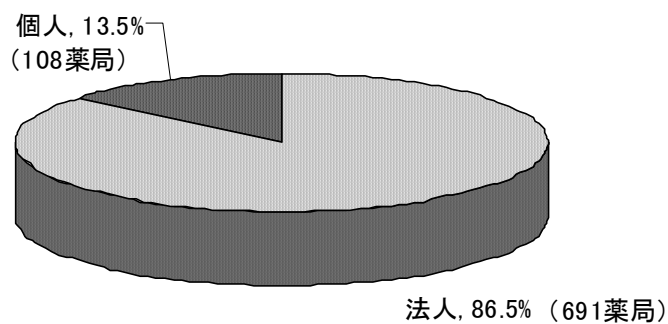
処方せん枚数：9,772 枚 (612 薬局分)

回答者：管理者

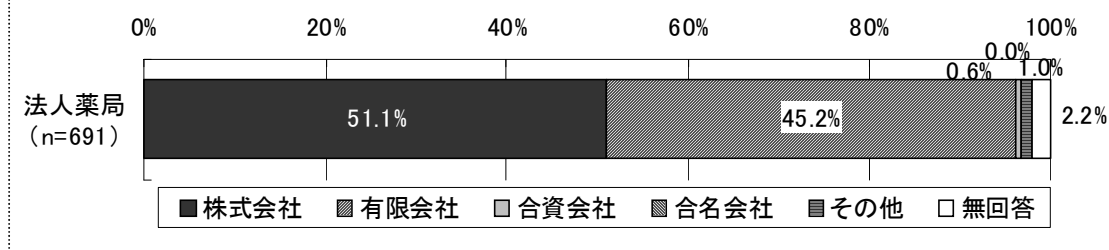
(1) 薬局の属性

①組織形態

図表 2 組織形態 (法人・個人別) (n=799)

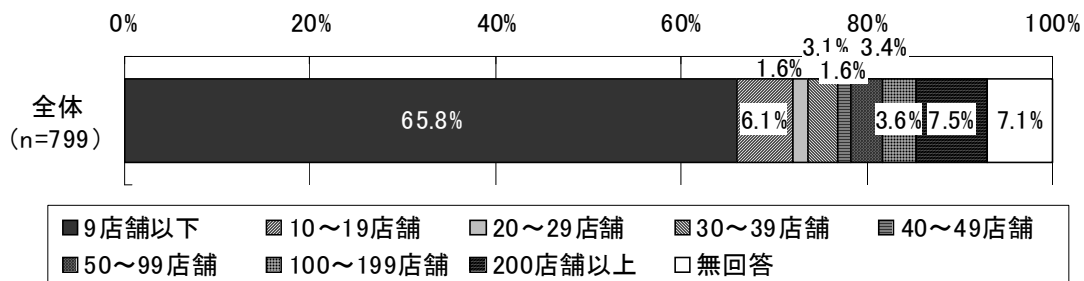


図表 3 法人薬局の内訳



②同一法人による薬局店舗数

図表 4 同一法人による薬局店舗数分布

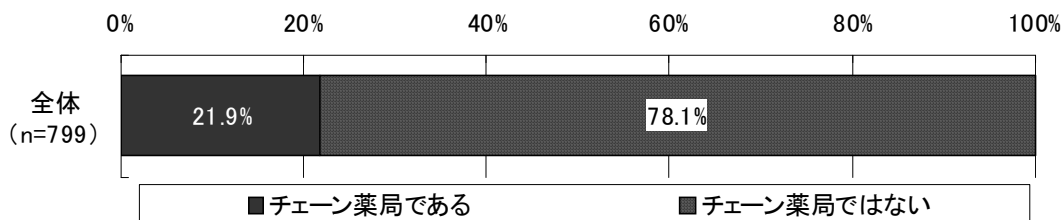


図表 5 同一法人による薬局店舗数 (n=742)

	平均値	標準偏差	中央値
同一法人による薬局店舗数(店舗)	48.3	126.9	3.0

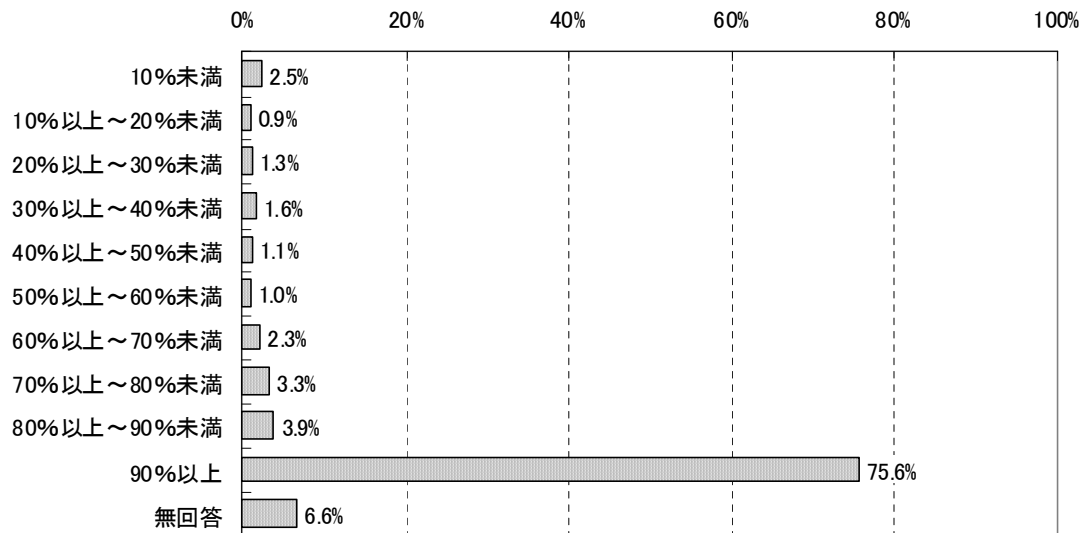
③チェーン薬局の状況

図表 6 チェーン薬局の状況



④売上高に占める保険調剤売上の割合

図表 7 売上高に占める保険調剤売上の割合別薬局割合



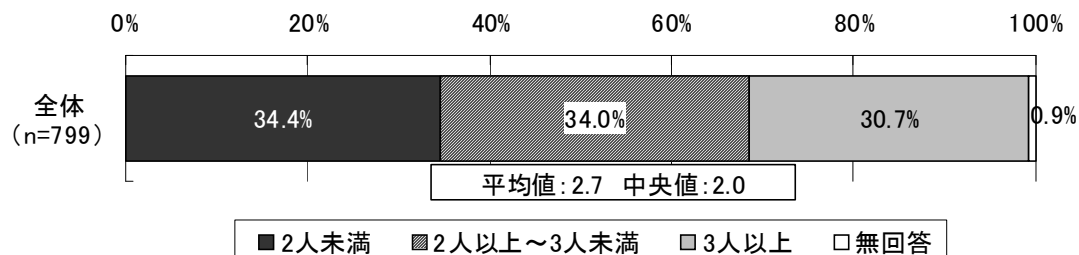
図表 8 売上高に占める保険調剤売上の割合

	平均値	標準偏差	中央値
売上高に占める保険調剤売上の割合 (%)	88.6	22.4	98.0

⑤職員数

1) 薬剤師

図表 9 薬剤師の職員数（常勤換算）

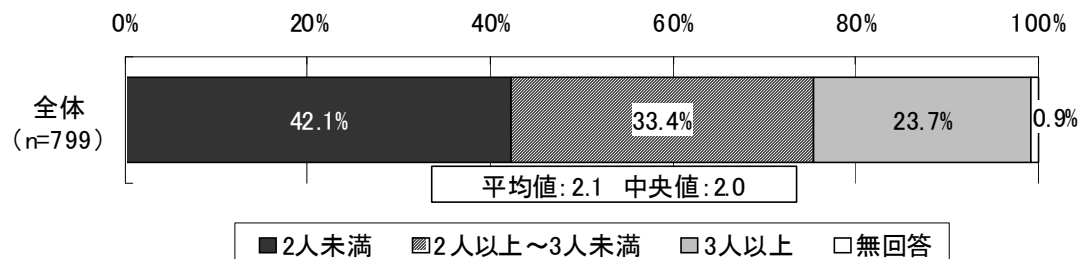


(注) 常勤換算は、次の計算式で算出した。また、常勤換算後の職員数は小数点以下第1位までとした（以下、同様である）。

- ・ 1週間に数回勤務の場合：(非常勤職員の1週間の勤務時間) ÷ (当該薬局が定めている常勤職員の1週間の勤務時間)
- ・ 1か月に数回勤務の場合：(非常勤職員の1か月の勤務時間) ÷ (当該薬局が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4)

2) その他

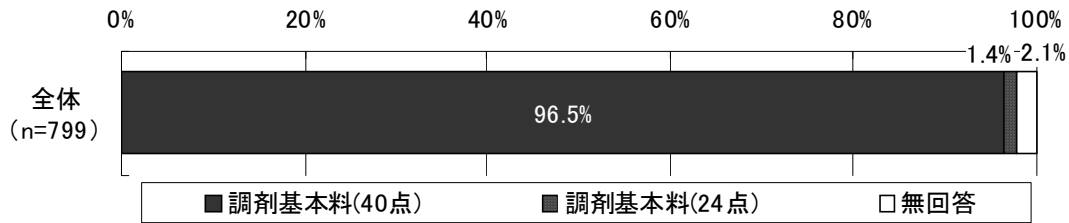
図表 10 その他（事務職員等）の職員数（常勤換算）



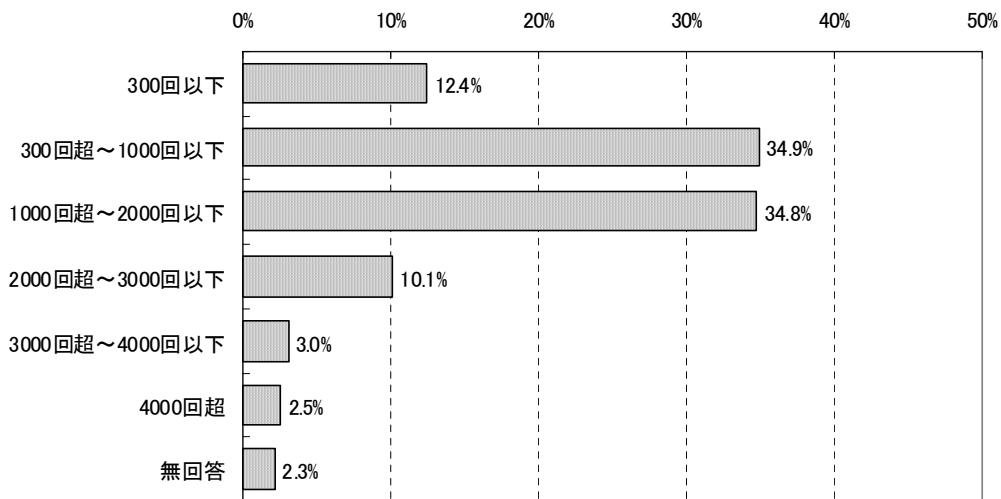
(2) 調剤の状況等

①調剤基本料

図表 11 調剤基本料

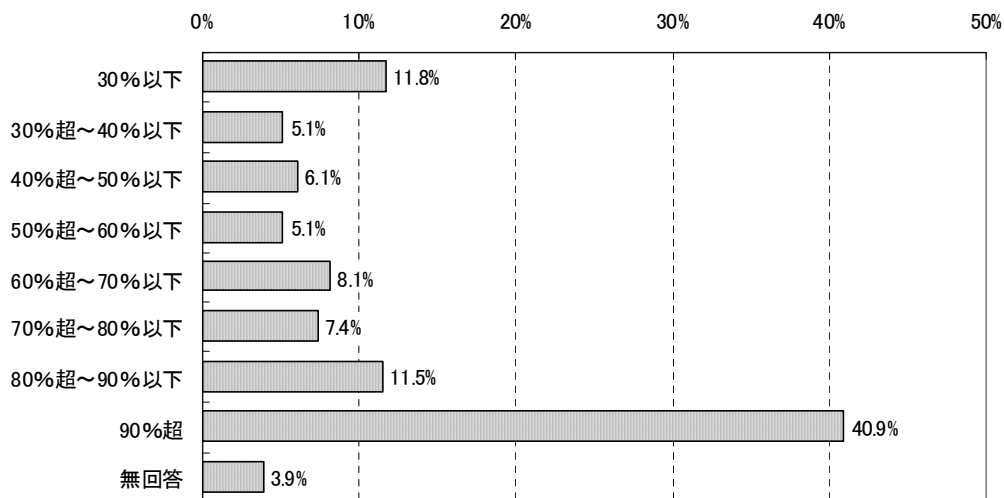


図表 12 全処方せんの受付回数（1か月当たり）



(注) 調剤基本料の根拠となる「全処方せんの受付回数（回／月）」

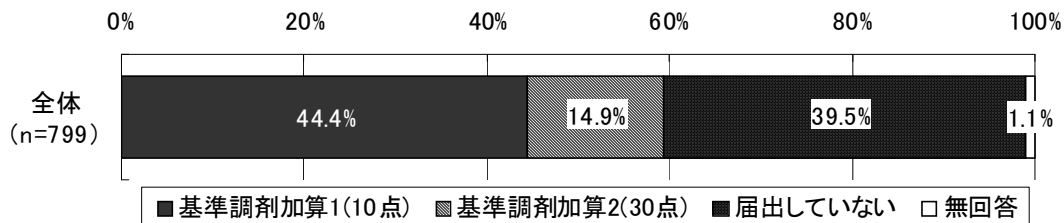
図表 13 主たる保険医療機関に係る処方せんの受付回数の割合



(注) 調剤基本料の根拠となる「全処方せんの受付回数（回／月）」

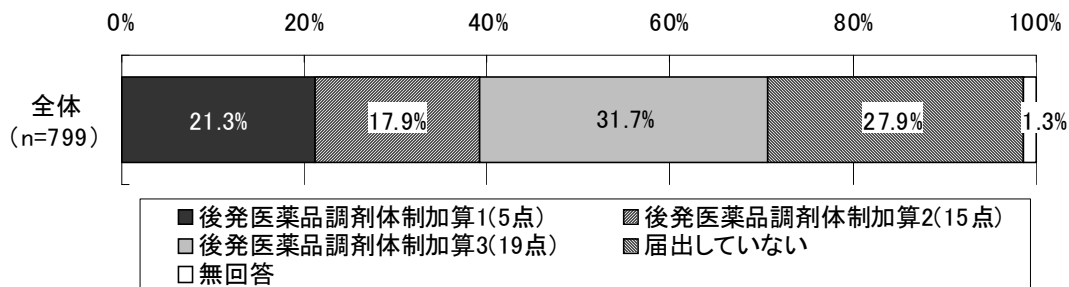
②基準調剤加算

図表 14 基準調剤加算

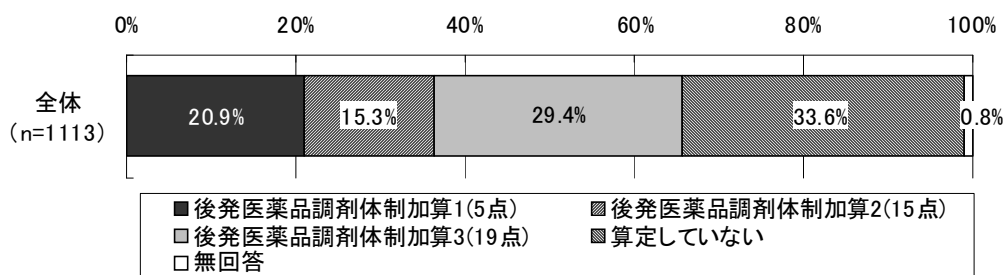


③後発医薬品調剤体制加算

図表 15 後発医薬品調剤体制加算の算定状況

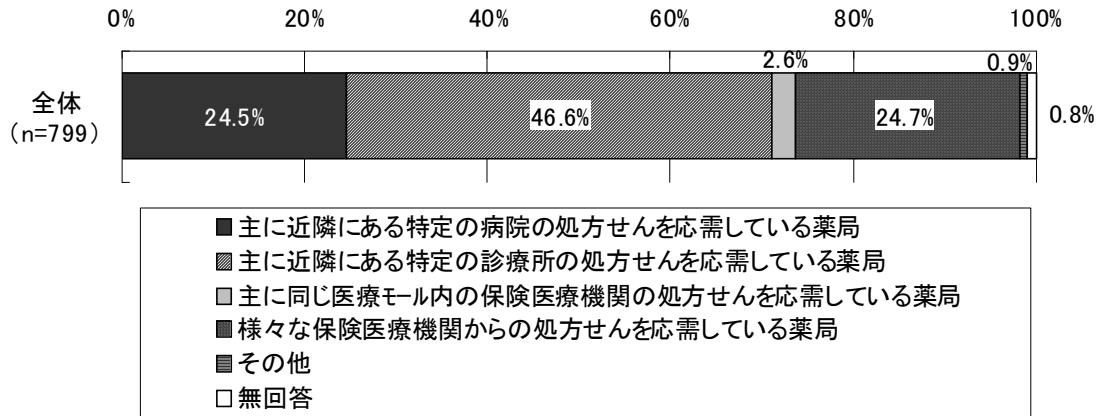


(前回調査)



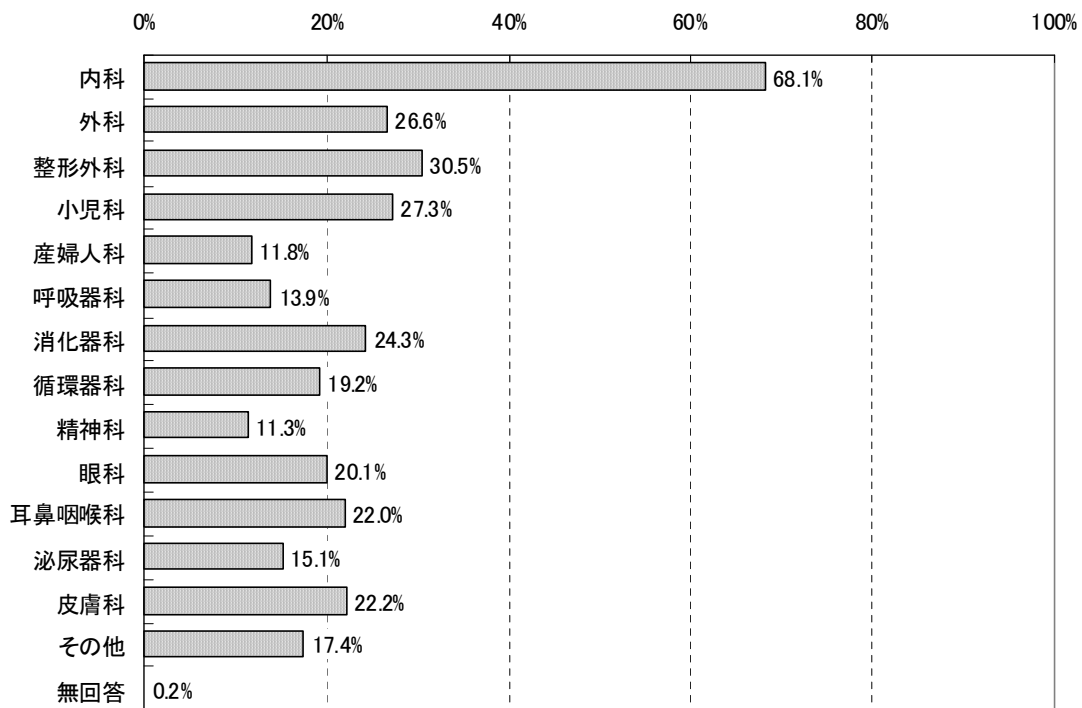
④処方せんの応需状況

図表 16 処方せんの応需状況



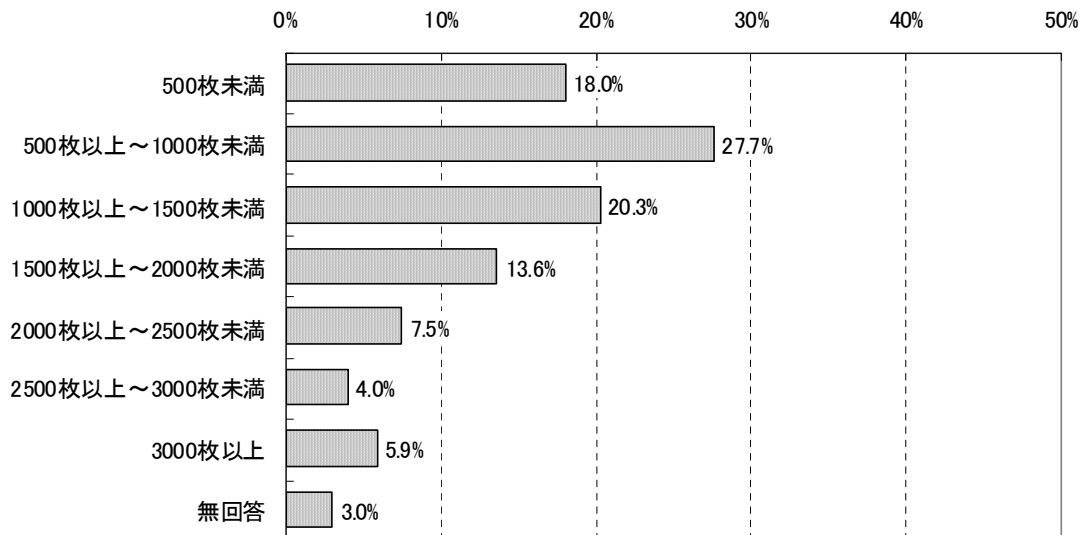
図表 17 処方せん発行医療機関の診療科

(特定の病院・診療所の処方せんに応需している薬局、n=568、複数回答)



⑤ 1 か月間の取扱い処方せん枚数

図表 18 1 か月間の取扱い処方せん枚数（平成 25 年 7 月 1 か月間、n=799）



図表 19 1 か月間の取扱い処方せん枚数（平成 25 年 7 月 1 か月間、n=775）

	平均値	標準偏差	中央値
1 か月間の取扱い処方せん枚数 (枚)	1,313.3	1,098.6	1,056.0

(注) 取扱い処方せん枚数について回答があった 775 施設を集計対象とした。

(3) 取り扱い処方せん状況【様式1が「処方せんベース」である408施設を対象】

①1週間の取り扱い処方せん枚数の内訳

図表 20 1週間の取り扱い処方せん枚数の内訳 (369 薬局分)

	(今回調査)		(参考) 前回調査
	枚数(枚)	割合	
①すべての取り扱い処方せん	107,804	100.0%	100.0%
②①のうち、1品目でも「変更不可」となっていない処方せん (変更不可欄に、「レ」又は「×」が記載されていない医薬品がある処方せん。一般名処方を含む)	87,890	81.5%	76.7%
③ ②のうち、すべての品目が「変更不可」となっていない処方せん (変更不可欄に、「レ」又は「×」の記載が1つもない処方せん。一般名処方を含む)	79,655	73.9%	68.6%
④ ②のうち、1品目でも後発医薬品を調剤した処方せん	47,233	43.8%	37.8%
⑤ ④のうち、1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した処方せん(一般名処方によるものを後発医薬品で調剤した場合を含む)	27,634	25.6%	21.0%
⑥ ②のうち、1品目でも一般名処方となっている処方せん	33,797	31.4%	31.1%
⑦ ②のうち、いずれの先発医薬品にも後発医薬品が薬価収載されておらず、後発医薬品に変更できなかった処方せん	12,133	11.3%	9.4%
⑧ ②のうち、患者が希望しなかったため、1品目も後発医薬品に変更できなかった処方せん(過去に確認済みの場合を含む)	19,509	18.1%	16.3%
⑨ ②のうち、外用剤が処方され、同一剤形の後発医薬品がなかったため変更できなかった処方せん(クリーム、ローション、軟膏はそれぞれ別剤形とする)	3,098	2.9%	2.6%
⑩ ①のうち、すべてが変更不可となっている処方せん	19,914	18.5%	23.3%
⑪ ⑩のうち、後発医薬品を銘柄指定している処方せん	5,739	5.3%	6.3%

(注) 処方せんベースの調査票回答薬局 408 施設のうち、1週間の処方せん枚数の内訳について記載のあった 369 施設を集計対象とした。

②後発医薬品への変更割合（処方せん枚数ベース）

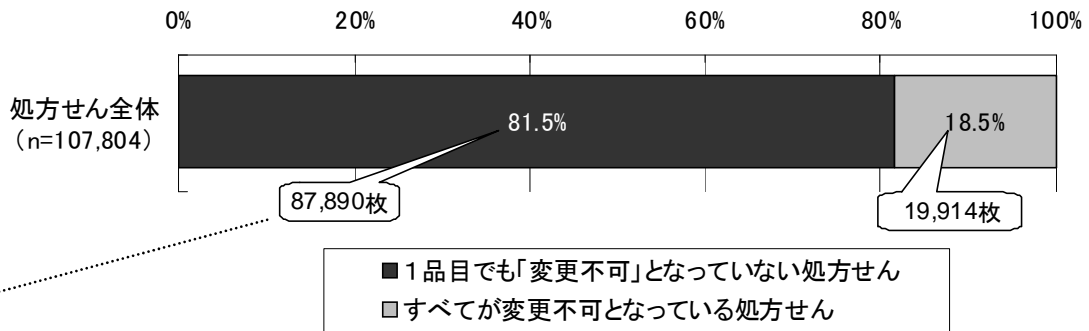
図表 21 1品目でも「変更不可」となっていない処方せん（n=87,890）における、
後発医薬品への変更状況

（平成 25 年 8 月 21 日～8 月 27 日 1 週間分の処方せんベース、369 薬局分）

	（今回調査）		（参考） 前回調査
	枚数(枚)	割合	
① 1品目でも「変更不可」となっていない処方せん （変更不可欄に、「レ」又は「×」が記載されていない医薬品がある処方せん。一般名処方を含む）	87,890	100.0%	100.0%
② ①のうち、すべての品目が「変更不可」となっていない処方せん （変更不可欄に、「レ」又は「×」の記載が1つも無い処方せん。一般名処方を含む）	79,655	90.6%	89.5%
③ ①のうち、1品目でも後発医薬品を調剤した処方せん	47,233	53.7%	49.3%
④ ③のうち、1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した処方せん（一般名処方によるものを後発医薬品で調剤した場合を含む）	27,634	31.4%	27.3%
⑤ ①のうち、1品目でも一般名処方となっている処方せん	33,797	38.5%	40.5%
⑥ ①のうち、いずれの先発医薬品にも後発医薬品が薬価収載されておらず、後発医薬品に変更できなかった処方せん	12,133	13.8%	12.3%
⑦ ①のうち、患者が希望しなかったため、1品目も後発医薬品に変更できなかった処方せん（過去に確認済みの場合を含む）	19,509	22.2%	21.2%
⑧ ①のうち、外用剤が処方され、同一剤形の後発医薬品がなかったため変更できなかった処方せん（クリーム、ローション、軟膏はそれぞれ別剤形とする）	3,098	3.5%	3.3%

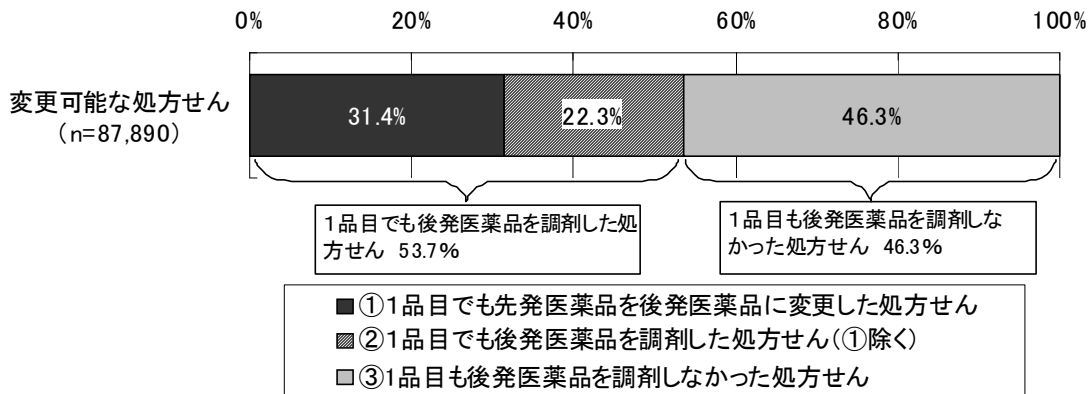
（注）処方せんベースの調査票回答薬局 408 施設のうち、1 週間の処方せん枚数の内訳について記載のあった 369 施設を集計対象とした。

図表 22 すべての処方せんにおける、1品目でも「後発医薬品への変更不可」となっていない処方せんの状況（平成 25 年 8 月 21 日～8 月 27 日 1 週間の処方せん枚数ベース）



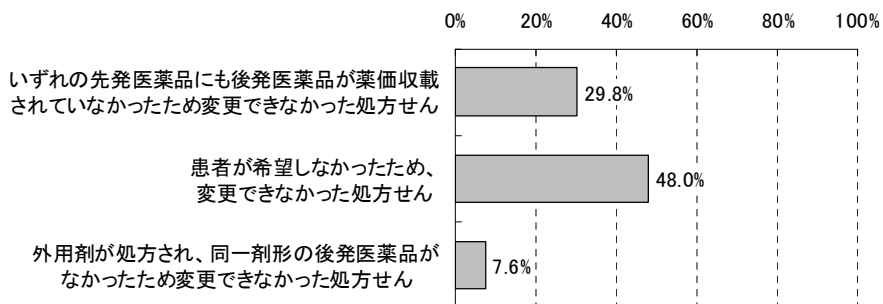
(注) 「1品目でも『変更不可』となっていない処方せん」には、一般名処方による処方せんも含まれる。

図表 23 1品目でも「変更不可」となっていない処方せん (n=87,890) における、後発医薬品への変更状況（平成 25 年 8 月 21 日～8 月 27 日 1 週間の処方せん枚数ベース）



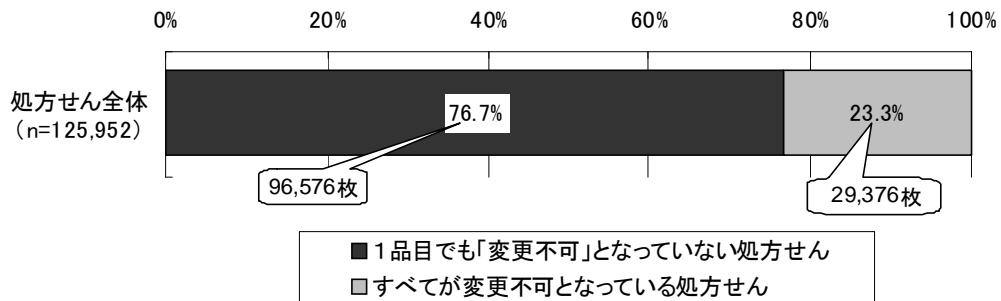
(注) 「①1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した処方せん」には、一般名処方によるものを後発医薬品で調剤した場合も含まれる。

図表 24 1品目でも「変更不可」となっていない処方せんのうち、1品目も後発医薬品を調剤しなかった処方せん (n=40,657) の内訳（平成 25 年 8 月 21 日～8 月 27 日 1 週間の処方せん枚数ベース、複数回答）

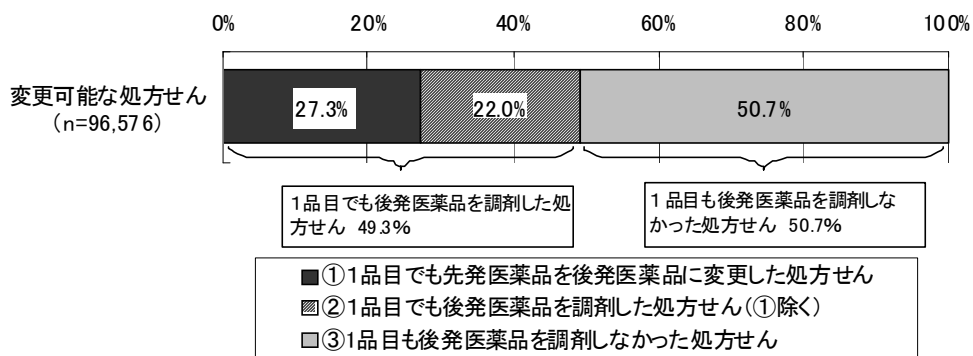


(前回調査)

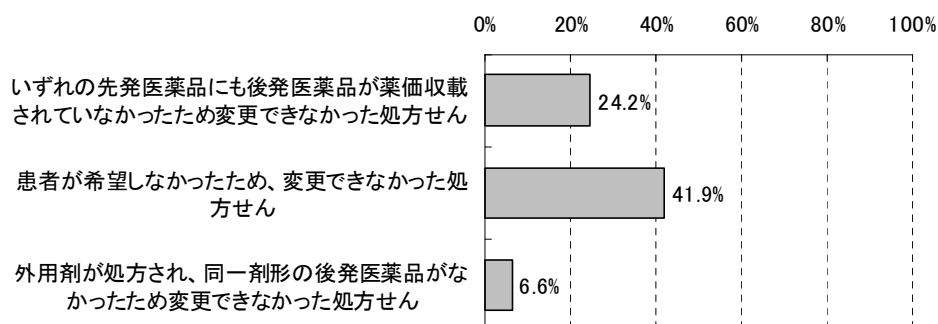
図表 すべての処方せんにおける、「後発医薬品への変更不可」欄の処方医の署名等の有無（平成 24 年 9 月 9 日～9 月 15 日 1 週間の処方せん枚数ベース）



図表 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せん（n=96,576）における、後発医薬品への変更状況（平成 24 年 9 月 9 日～9 月 15 日 1 週間の処方せん枚数ベース）

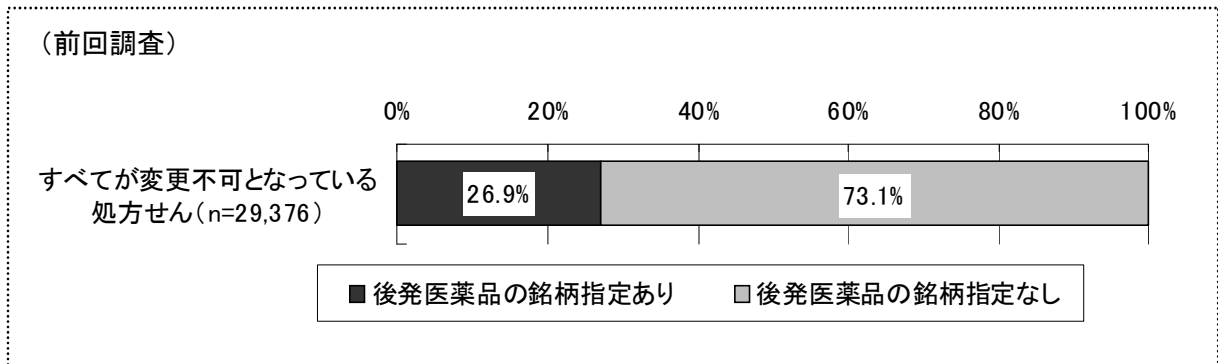
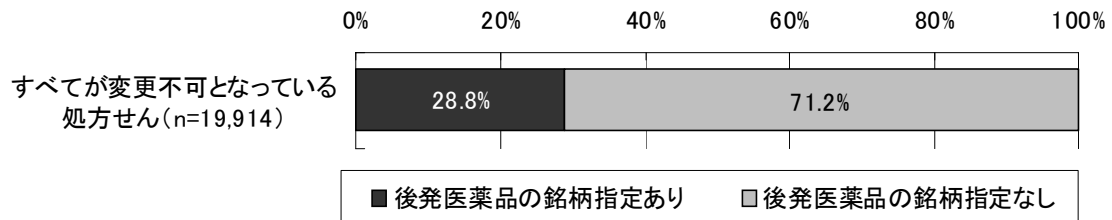


図表 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せんのうち、1品目も後発医薬品を調剤しなかった処方せん（n=48,936）の内訳（平成 24 年 9 月 9 日～9 月 15 日 1 週間の処方せん枚数ベース、複数回答）



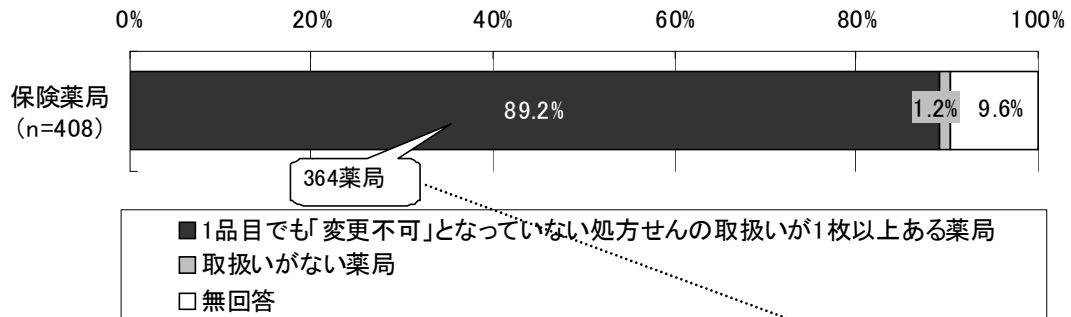
③すべてが変更不可となっている処方せんのうち、後発医薬品を銘柄指定している処方せんの割合（処方せん枚数ベース）

図表 25 すべてが変更不可となっている処方せんのうち、後発医薬品の銘柄指定をしている処方せんの割合（平成 25 年 8 月 21 日～8 月 27 日 1 週間の処方せん枚数ベース）

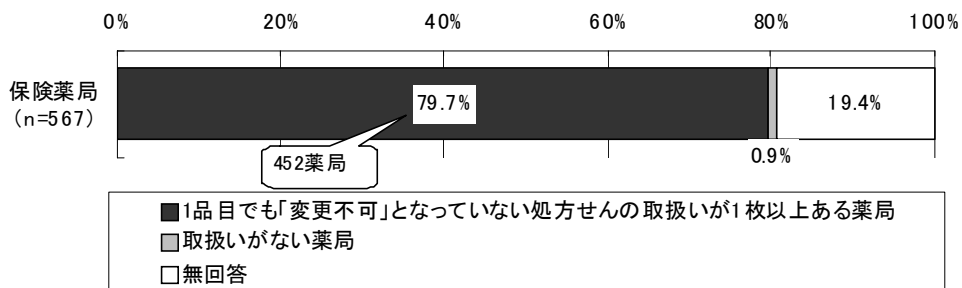


④後発医薬品への変更割合（薬局数ベース）

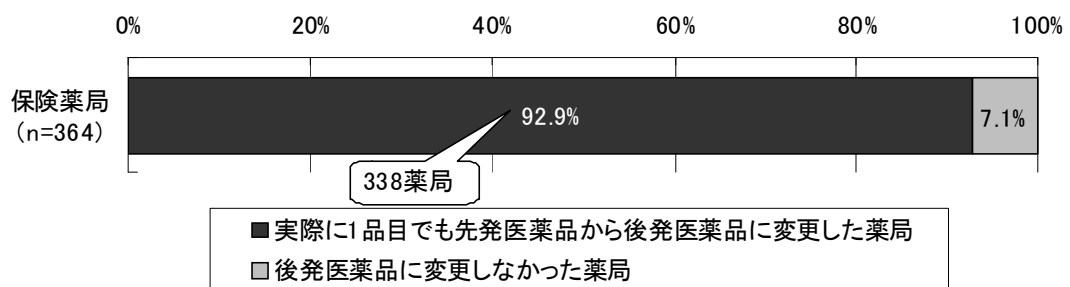
図表 26 1か月の取り扱い処方せんのうち、1品目でも「変更不可」となっていない処方せんを取り扱った薬局数の割合（薬局数ベース）



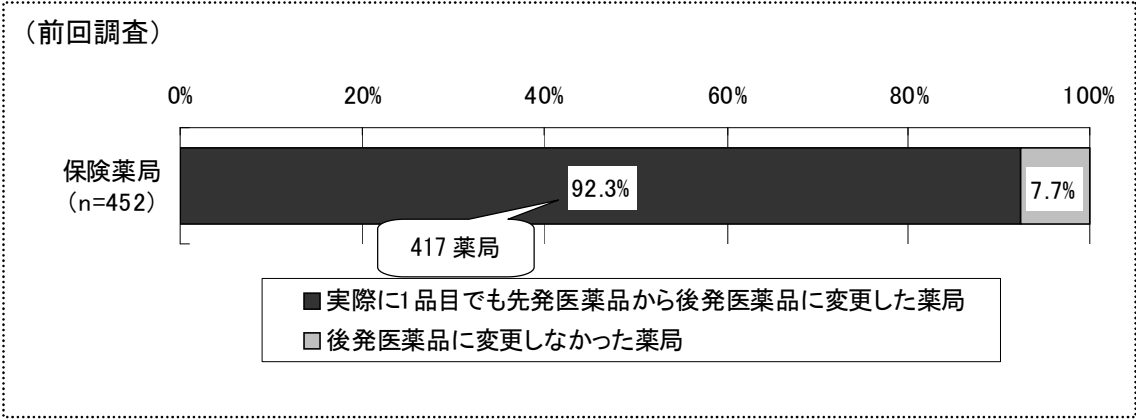
(前回調査)



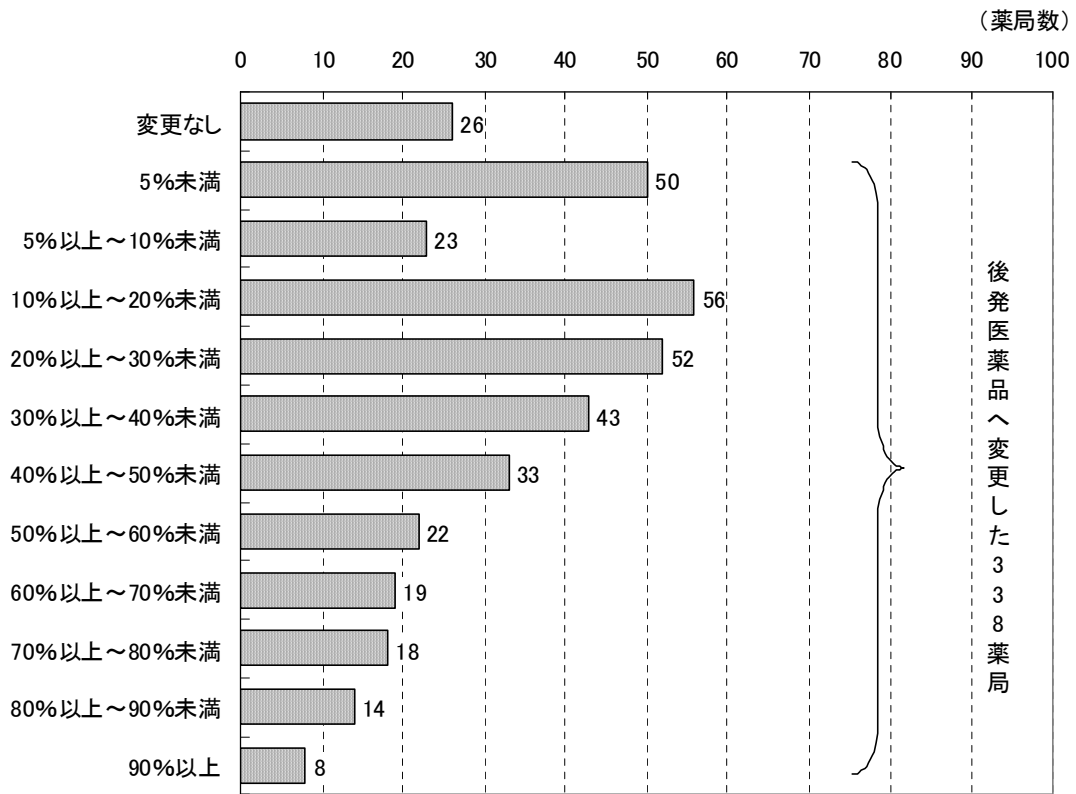
図表 27 1品目でも「変更不可」となっていない処方せんの取扱いが1枚以上ある薬局（364薬局）のうち、実際に1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した薬局数の割合（薬局数ベース）



(注) 「1品目でも先発医薬品から後発医薬品に変更した」には、一般名処方によるものを後発医薬品で調剤した場合も含まれる。



図表 28 1品目でも「変更不可」となっていない処方せんの取扱いが1枚以上ある薬局 (364 薬局) における、後発医薬品への変更可の処方せんに占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布 (薬局数ベース)



(注)・1品目でも「変更不可」となっていない処方せんに対する「1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した」処方せんの割合。
 ・「1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した」処方せんには、一般名処方によるものを後発医薬品で調剤した場合も含まれる。

(4) 取り扱い処方せん状況【様式1が「品目ベース」である391施設を対象】

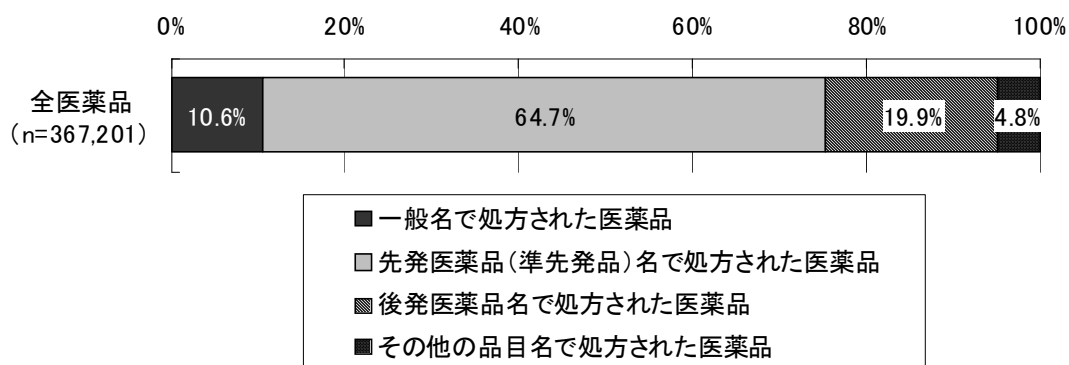
① 1週間の取り扱い処方せん枚数の内訳

図表 29 1週間の取り扱い処方せんに記載された医薬品の品目数と対応状況別品目数
(324薬局、総処方せん101,928枚*に記載された367,201品目数)

	(今回調査)		(参考)
	品目数	割合	前回調査
①一般名で処方された医薬品目数	38,934	10.6%	14.7%
②後発医薬品を選択した医薬品の品目数	23,220	6.3%	9.1%
③先発医薬品(準先発品を含む)を選択した医薬品の品目数	15,714	4.3%	5.6%
④先発医薬品(準先発品)名で処方された医薬品目数	237,673	64.7%	67.2%
⑤「変更不可」となっていない医薬品目数	155,684	42.4%	49.6%
⑥先発医薬品を後発医薬品に変更した医薬品目数	22,311	6.1%	5.0%
⑦後発医薬品が薬価収載されていないため、後発医薬品に変更できなかった医薬品目数	52,356	14.3%	16.2%
⑧患者が希望しなかったため、後発医薬品に変更できなかった医薬品目数(過去に確認済みの場合を含む)	35,025	9.5%	14.6%
⑨外用剤が処方され、同一剤形の後発医薬品がなかったため変更できなかった医薬品目数	3,786	1.0%	1.3%
⑩後発医薬品名で処方された医薬品目数	73,082	19.9%	14.8%
⑪「変更不可」となっている医薬品目数	16,640	4.5%	3.0%
⑫その他(漢方製剤など、先発医薬品・準先発品・後発医薬品のいずれにも該当しない医薬品)の品目名で処方された医薬品目数	17,512	4.8%	3.3%
⑬処方せんに記載された医薬品目数の合計	367,201	100.0%	100.0%

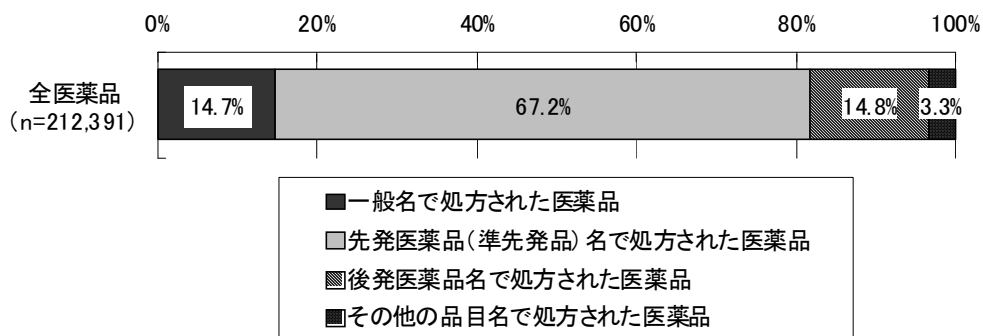
(注) 品目ベースの調査票回答薬局 391 施設のうち、1 週間の処方せんに記載された医薬品目数の内訳について記載のあった 324 施設を集計対象とした。この 324 施設のうち 3 施設は 1 週間に取り扱った処方せん枚数が不明であったが、321 施設の取扱い処方せん枚数の合計は 101,928 枚であり、処方せん記載の医薬品目数の総数は 367,201 品目であった。

図表 30 1 週間の取り扱い処方せんに記載された医薬品の処方せん記載内容別内訳
(324 薬局、総処方せん 101,928 枚に記載された 367,201 品目数)



(注)・品目ベースの調査票回答薬局 391 施設のうち、1 週間の処方せんに記載された医薬品品目数の内訳について記載のあった 324 施設を集計対象とした。この 324 施設の 1 週間に取り扱った処方せん枚数の合計は 101,928 枚であり、処方せん記載の医薬品品目数の総数は 367,201 品目であった。
・「その他」とは、漢方製剤など、先発医薬品・準先発品・後発医薬品のいずれにも該当しない医薬品。

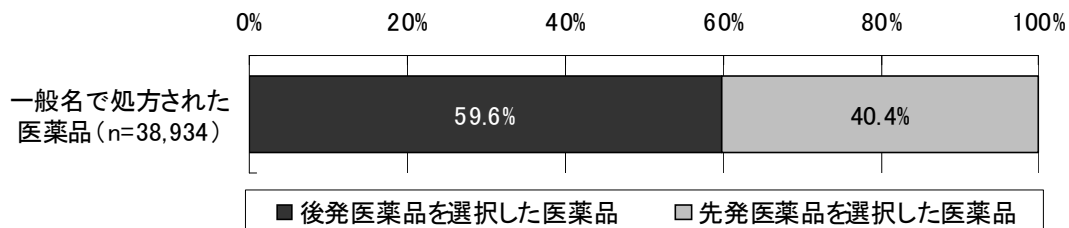
(前回調査)



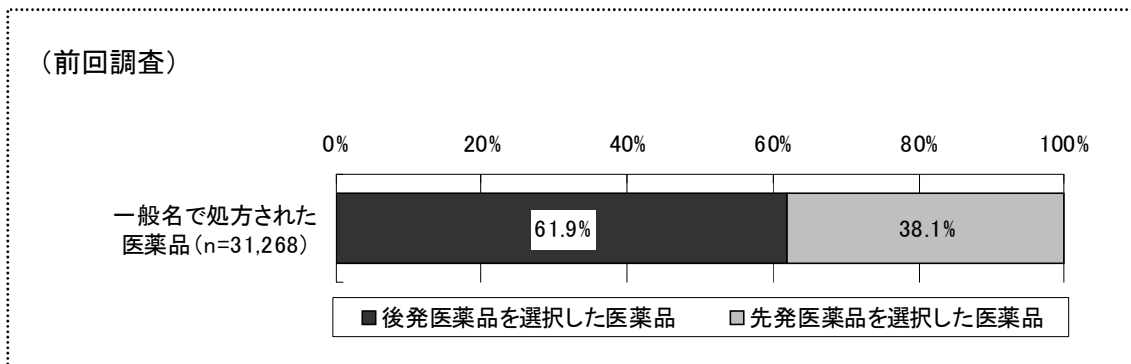
②後発医薬品への変更割合等（品目ベース）

1) 一般名で処方された医薬品における後発医薬品を選択した割合

図表 31 一般名で処方された医薬品（n=38,934）における、後発医薬品の調剤状況
（平成 25 年 8 月 21 日～8 月 27 日 1 週間分の品目ベース、324 薬局分）

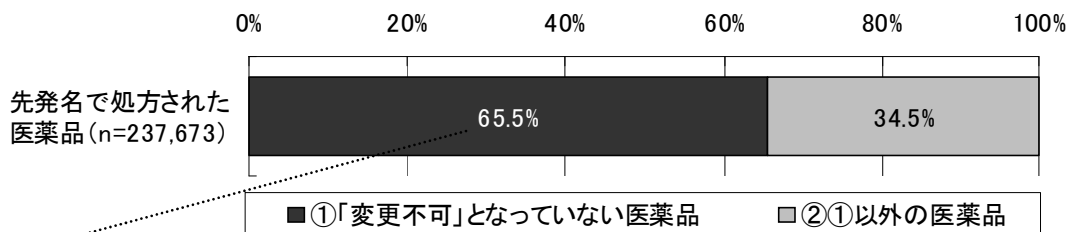


(注) 「先発医薬品」には、準先発品も含まれる。

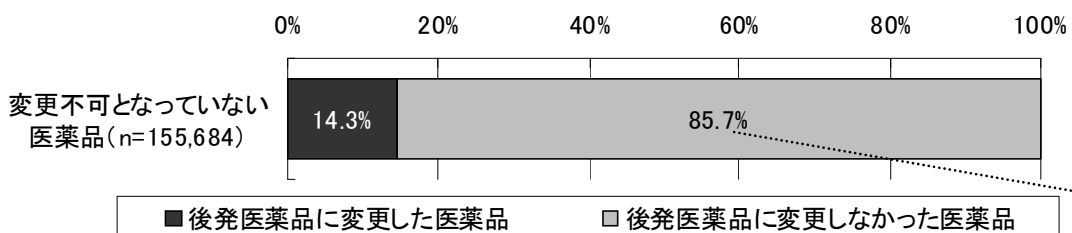


2) 先発医薬品（準先発品）名で処方された医薬品における、「変更不可」のチェックの状況

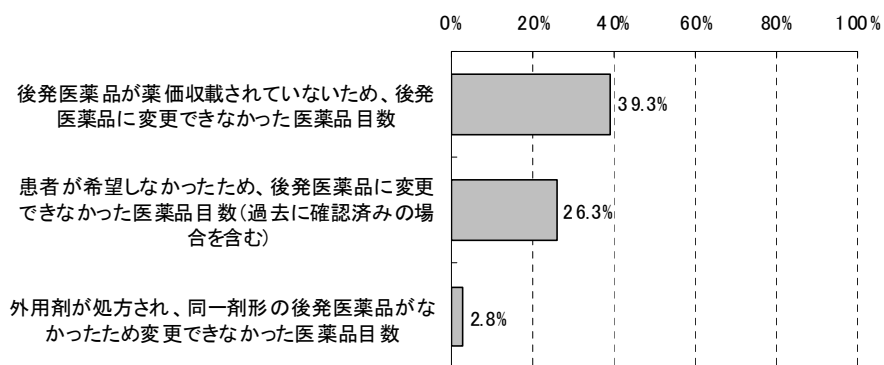
図表 32 先発医薬品（準先発品）名で処方された医薬品（n=237,673）における、「変更不可」の状況
（平成 25 年 8 月 21 日～8 月 27 日 1 週間分の品目ベース、324 薬局分）



図表 33 先発医薬品（準先発品）名で処方された医薬品で「変更不可」となっていない医薬品（n=155,684）における、後発医薬品に変更した医薬品の割合
（平成 25 年 8 月 21 日～8 月 27 日 1 週間分の品目ベース、404 薬局分）

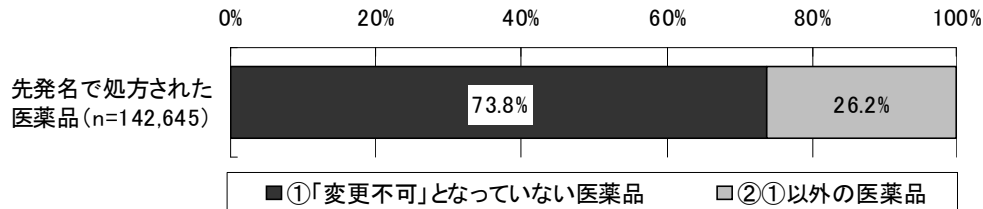


図表 34 先発医薬品名で処方され「変更不可」となっていない医薬品のうち、後発医薬品に変更しなかった医薬品（n=133,373）について、後発医薬品を調剤しなかった理由別分布
（平成 25 年 8 月 21 日～8 月 27 日 1 週間分の品目ベース、複数回答）

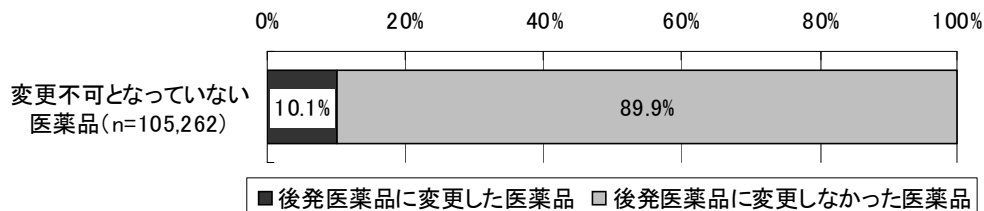


(前回調査)

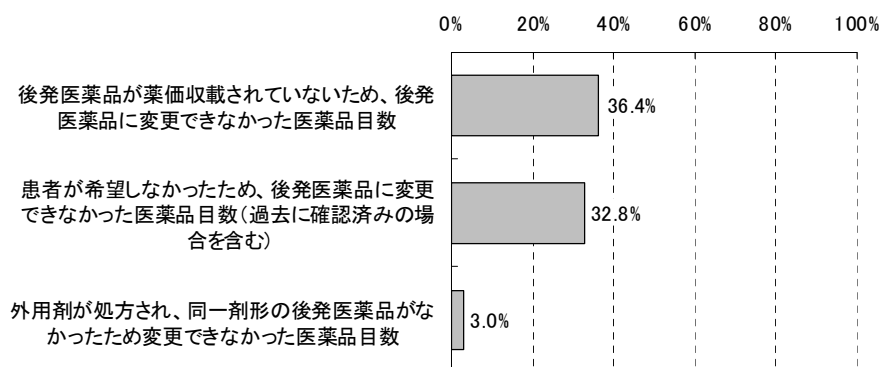
図表 先発医薬品（準先発品）名で処方された医薬品における、「変更不可」の状況



図表 先発医薬品（準先発品）名で処方された医薬品で「変更不可」となっていない医薬品における、後発医薬品に変更した医薬品の割合

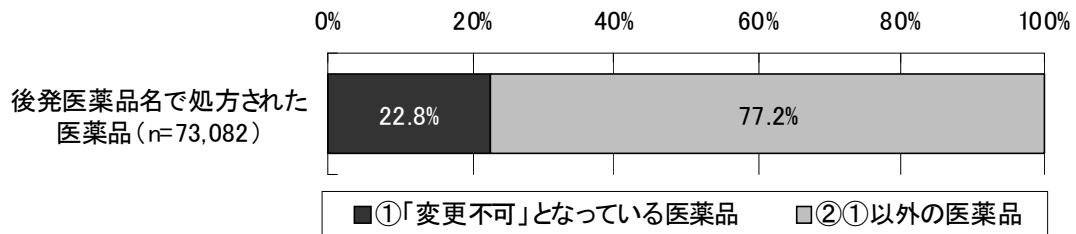


図表 先発医薬品名で処方され「変更不可」となっていない医薬品のうち、後発医薬品に変更しなかった医薬品について、後発医薬品を調剤しなかった理由別分布

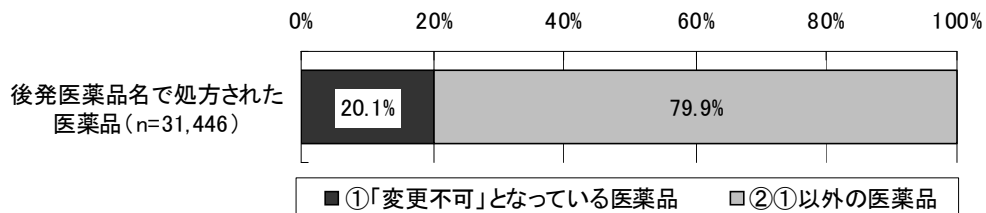


3) 後発医薬品名で処方された医薬品における、「変更不可」のチェックの状況

図表 35 後発医薬品名で処方された医薬品 (n=73,082) における、「変更不可」の状況
(平成 25 年 8 月 21 日～8 月 27 日 1 週間分の品目ベース、324 薬局分)



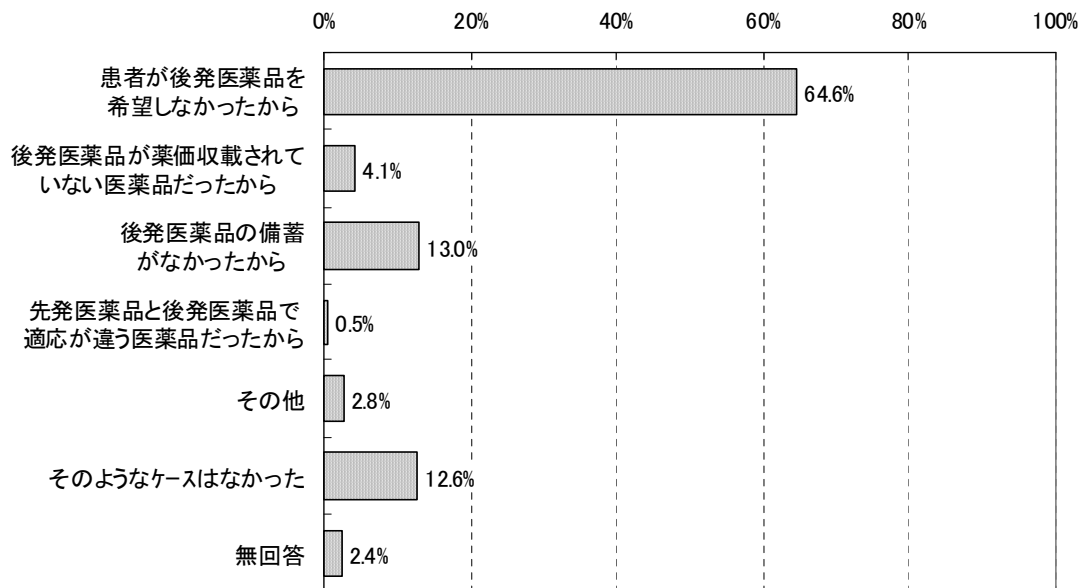
(前回調査)



(5) 1週間の取扱い処方せんにおける調剤状況

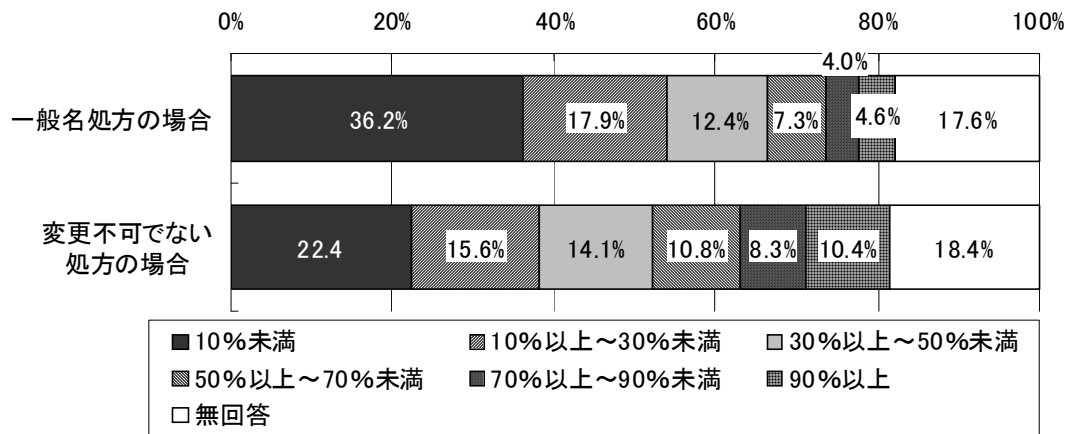
①一般名処方の方せんを持参した患者のうち、後発医薬品を調剤しなかったケースについての最も多い理由

図表 36 一般名処方の方せんを持参した患者のうち、後発医薬品を調剤しなかったケースについての最も多い理由（平成 25 年 8 月 21 日～8 月 27 日 1 週間、n=799、単数回答）



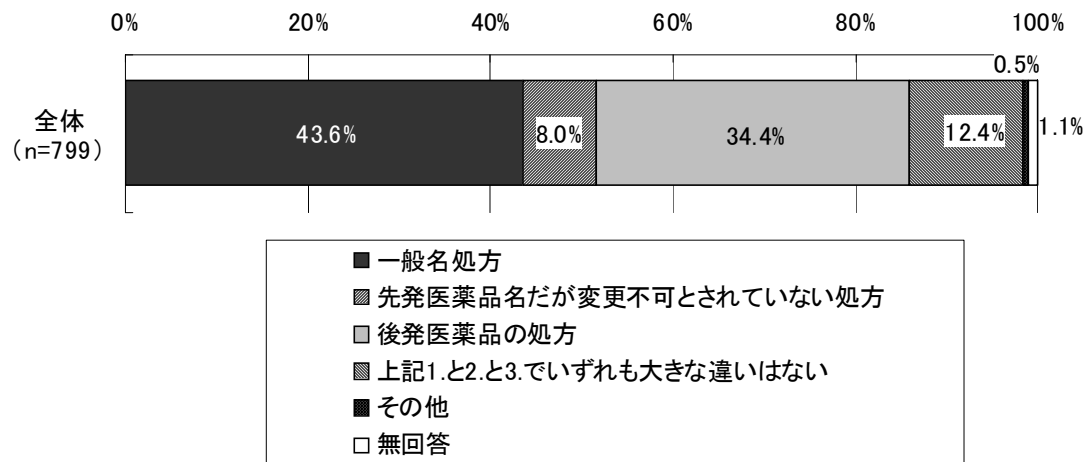
②後発医薬品への変更・選択が可能な処方せんであっても、後発医薬品の使用を希望しなかった患者の割合

図表 37 後発医薬品への変更・選択が可能な処方せんであっても、後発医薬品の使用を希望しなかった患者の割合（平成 25 年 8 月 21 日～8 月 27 日 1 週間、n=799）



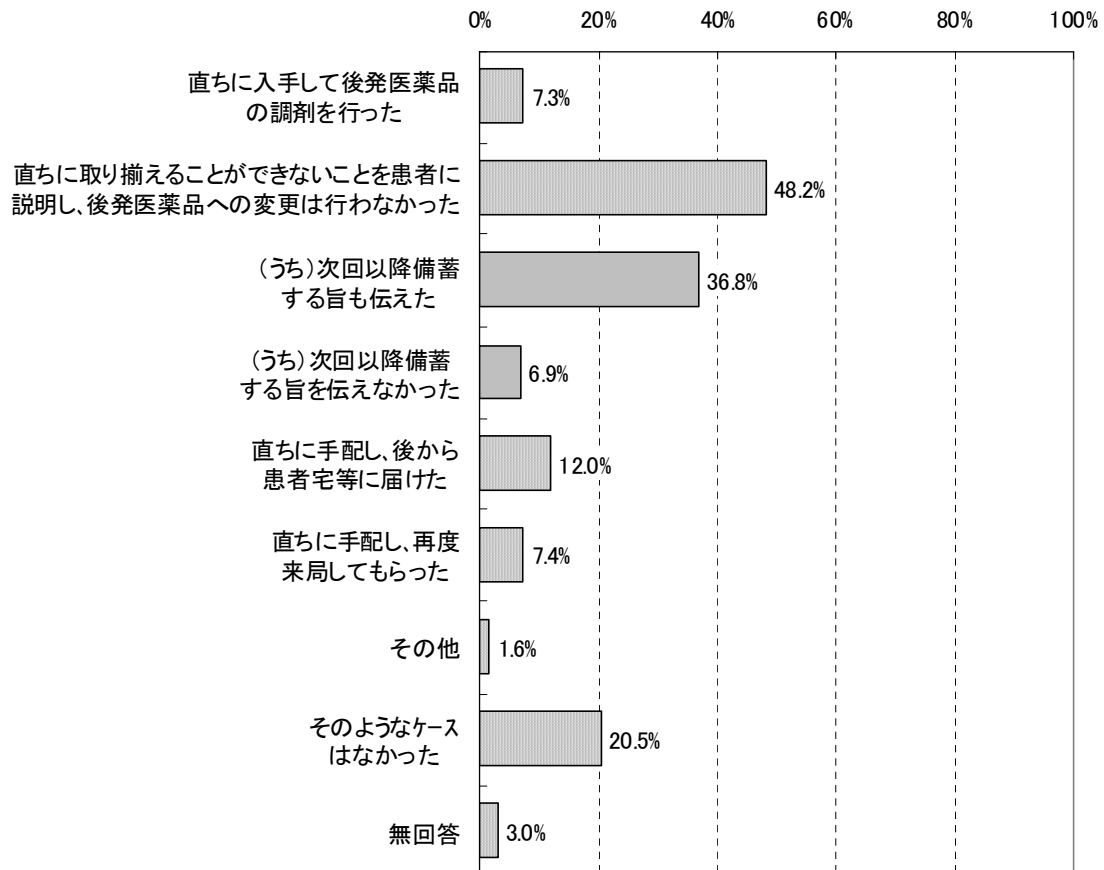
③後発医薬品への変更・選択において、患者の理解を得られやすい処方方法

図表 38 後発医薬品への変更・選択において、患者の理解を得られやすい処方方法



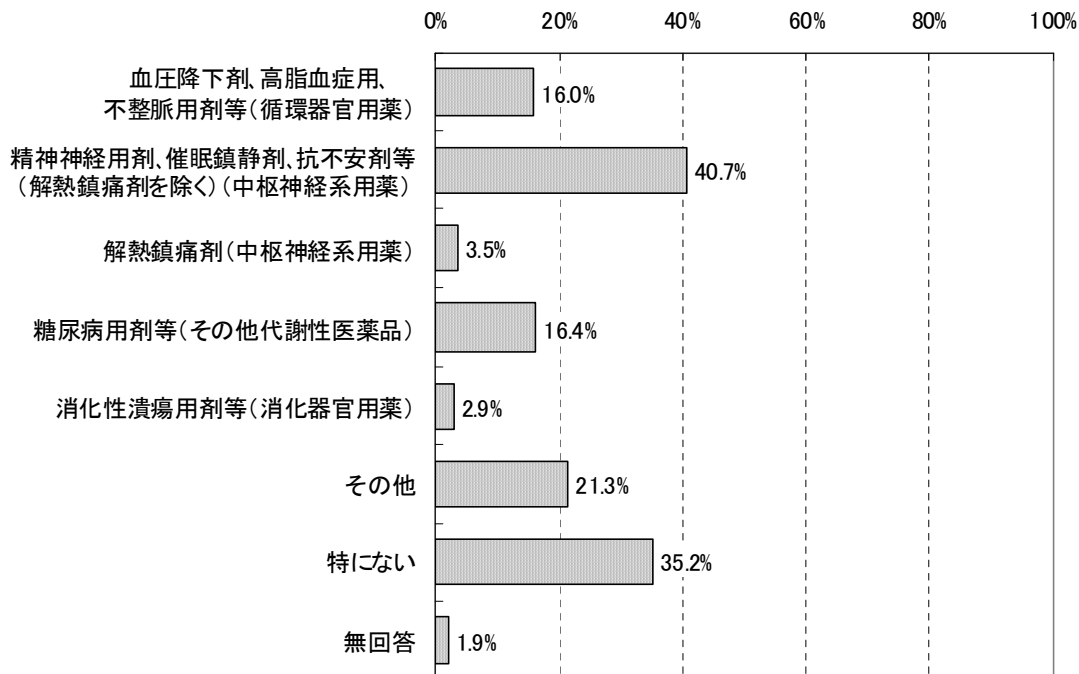
④後発医薬品の備蓄がなかったため直ちに取り揃えることができなかった患者に対する主な対応

図表 39 後発医薬品の備蓄がなかったため直ちに取り揃えることができなかった患者に対する主な対応（単数回答、n=799）



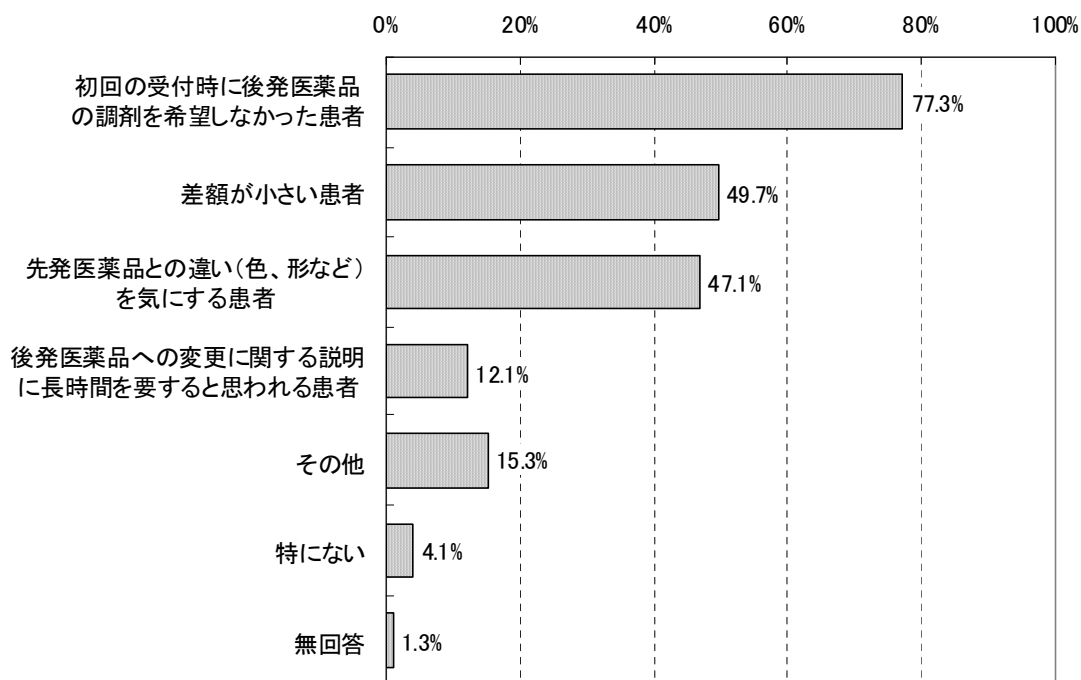
⑤後発医薬品を積極的に調剤していない医薬品の種類

図表 40 後発医薬品を積極的に調剤していない医薬品の種類 (n=799、複数回答)



⑥後発医薬品を積極的に調剤していない患者の特徴

図表 41 後発医薬品を積極的に調剤していない患者の特徴 (n=799、複数回答)



(6) 後発医薬品の備蓄状況・廃棄額等

① 医薬品の備蓄品目数

図表 42 医薬品の備蓄品目数 (n=608)

		平成 24 年 7 月 または把握可 能な 24 年度の 末日時点	平成 25 年 7 月 または把握可 能な直近の末 日時点	増加率
医薬品全品目数 (A)	平均値	911.0	959.1	5.3%
	標準偏差	410.4	428.0	
	中央値	836.0	882.0	5.5%
うち、後発医薬品 の品目数 (B)	平均値	174.7	199.2	14.0%
	標準偏差	119.5	130.9	
	中央値	150.0	171.5	14.3%
(B) / (A)	平均値	19.2%	20.8%	
	中央値	17.9%	19.4%	

(注) 医薬品品目数について回答のあった 608 施設を集計対象とした。

図表 43 1 つの先発医薬品 (同一規格) に対する後発医薬品の平均備蓄品目数 (n=634)

	平均値	標準偏差	中央値
1 つの先発医薬品に対する後発医薬品の備蓄品目数 (品目数)	1.1	0.5	1.0

(注) 1 つの先発医薬品に対する後発医薬品の平均備蓄品目数について回答のあった 634 施設を集計対象とした。

②医薬品の在庫金額・購入金額・廃棄額

図表 44 医薬品の在庫金額及び廃棄額（末日時点または1か月分、n=441）

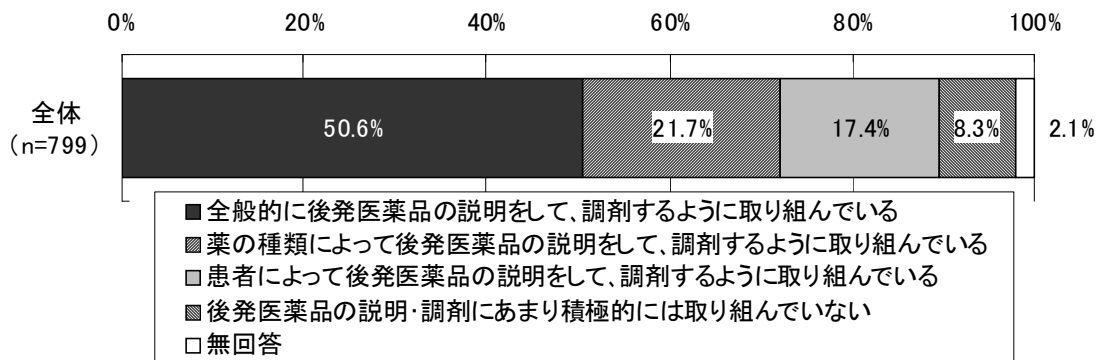
			平成 24 年 7 月 または把握可 能な 24 年度の 末日時点また は 1 か月分	平成 25 年 7 月 または把握可 能な直近の末 日時点または 1 か月分	増加率
在庫金額 (円)	医薬品全品目	平均値	7,460,345.0	8,048,444.7	7.9%
		標準偏差	6,867,602.4	7,278,253.2	
		中央値	5,600,000.0	5,848,821.0	4.4%
	うち、後発医薬品	平均値	894,029.1	1,063,039.5	18.9%
		標準偏差	1,151,105.0	1,662,154.4	
		中央値	596,500.0	700,000.0	17.4%
購入金額 (円)	医薬品全品目	平均値	7,784,211.6	8,582,387.5	10.3%
		標準偏差	9,909,077.7	11,907,107.9	
		中央値	5,000,000.0	5,365,860.0	7.3%
	うち、後発医薬品	平均値	877,140.0	1,046,995.6	19.4%
		標準偏差	1,186,275.6	1,493,437.4	
		中央値	531,256.0	640,000.0	20.5%
廃棄額 (円)	医薬品全品目	平均値	30,969.1	30,867.9	-0.3%
		標準偏差	65,663.1	64,810.4	
		中央値	10,000.0	11,000.0	10.0%
	うち、後発医薬品	平均値	4,619.0	5,475.3	18.5%
		標準偏差	13,329.6	16,459.6	
		中央値	342.0	550.0	60.8%

(注) 医薬品の在庫金額・購入金額・廃棄額について回答のあった 441 施設を集計対象とした。

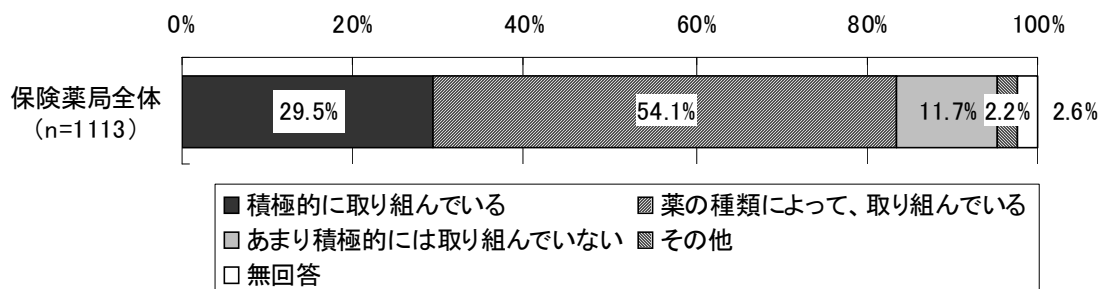
(7) 後発医薬品への対応状況

①後発医薬品の調剤に関する考え

図表 45 後発医薬品の調剤に関する考え



(前回調査)

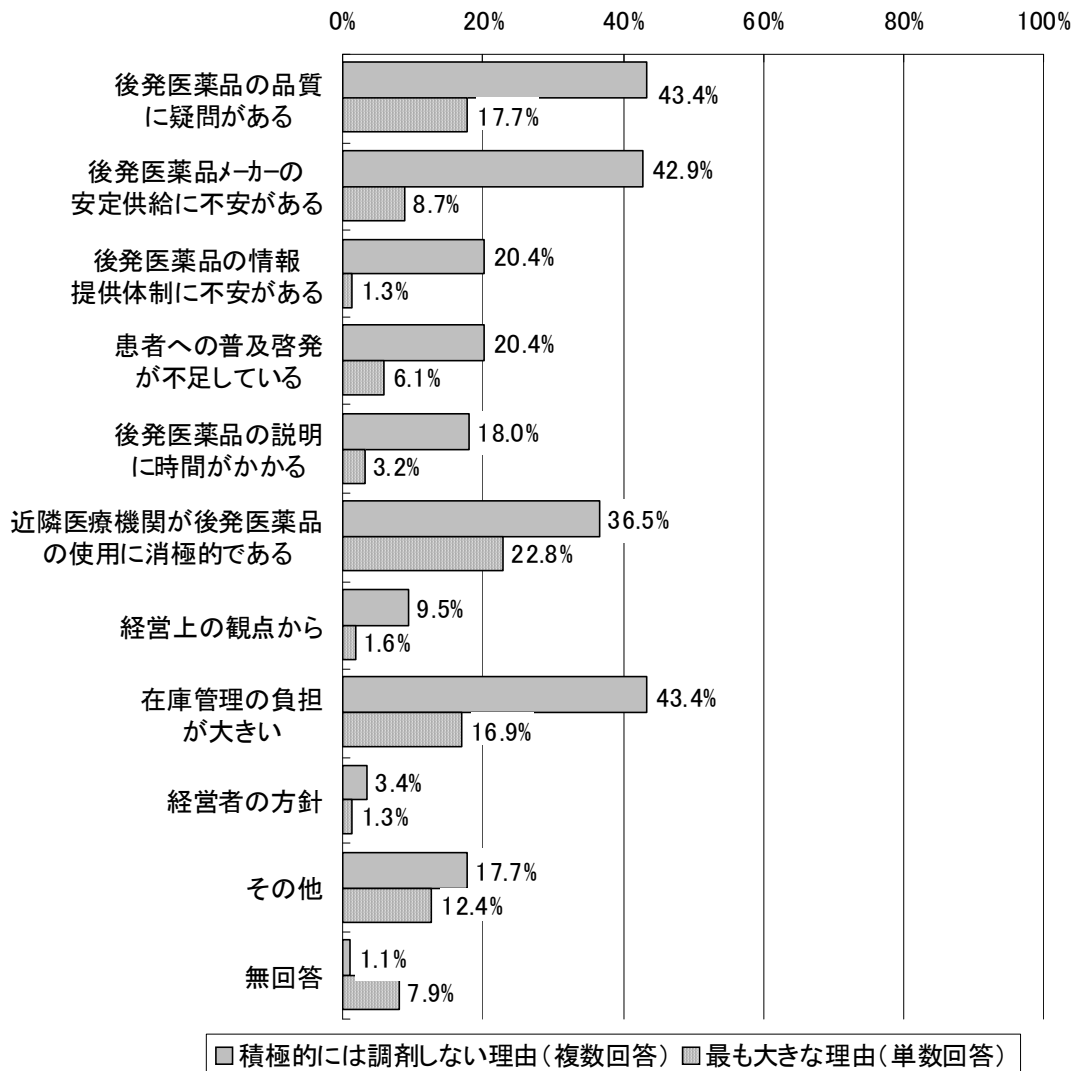


(注) 凡例の正確な表現は次のとおり。

「積極的に取り組んでいる」:「後発医薬品を積極的に患者に説明して、調剤するよう取り組んでいる」
 「薬の種類によって、取り組んでいる」:「薬の種類によって、後発医薬品を患者に説明して、調剤するよう取り組んでいる」。前回調査では「薬効によって、後発医薬品を患者に説明して、調剤するよう取り組んでいる」と異なる。

「あまり積極的には取り組んでいない」:「後発医薬品の説明・調剤にあまり積極的には取り組んでいない」。

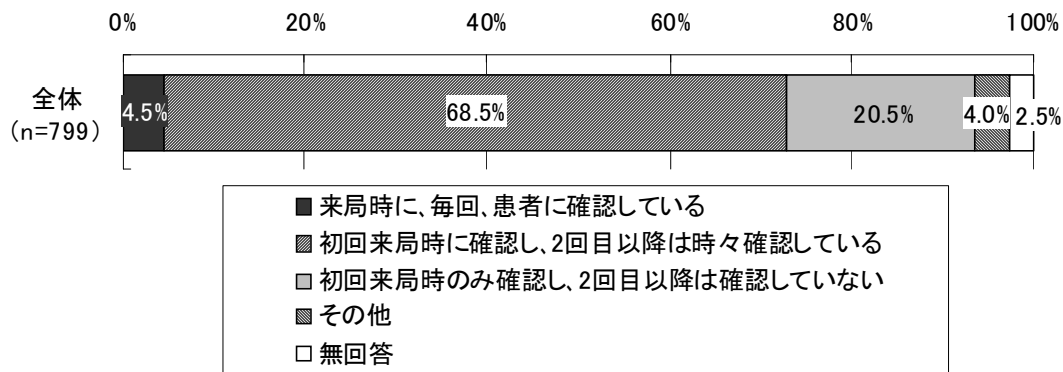
図表 46 あまり積極的には取り組んでいない理由
 (「全般的に、後発医薬品の説明をして、調剤するように取り組んでいる」と
 回答した薬局以外の薬局、n=378)



②後発医薬品使用に関する患者の意向確認

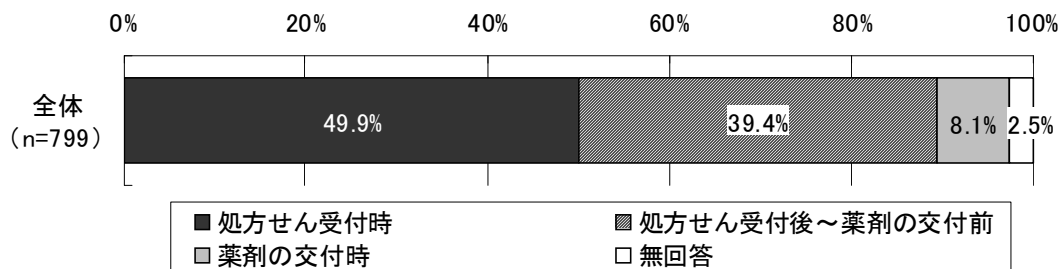
1) 後発医薬品使用に関する患者の意向確認の状況

図表 47 後発医薬品使用に関する患者の意向の確認状況



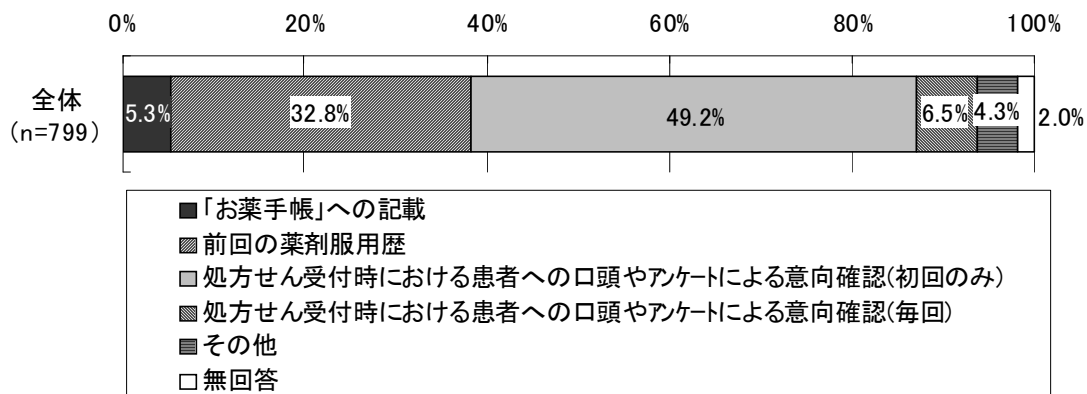
2) 後発医薬品使用に関する患者の意向を確認するタイミング

図表 48 後発医薬品使用に関する患者の意向を確認するタイミング（最も多いもの）



3) 後発医薬品使用に関する患者の意向を把握する手段

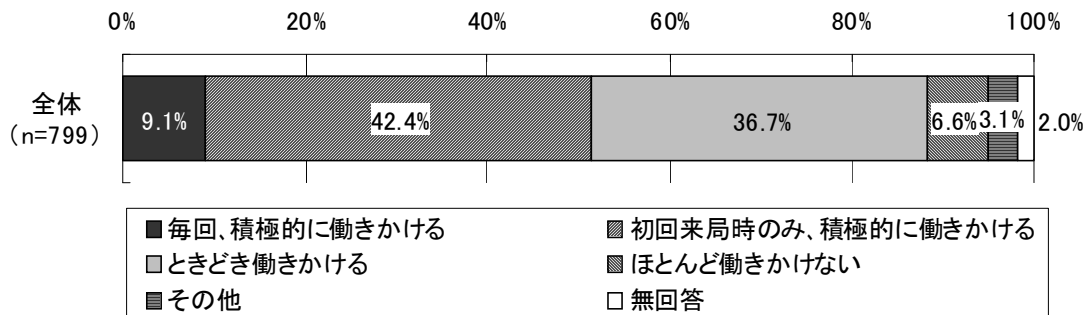
図表 49 後発医薬品使用に関する患者の意向を把握する手段として最も多く利用しているもの



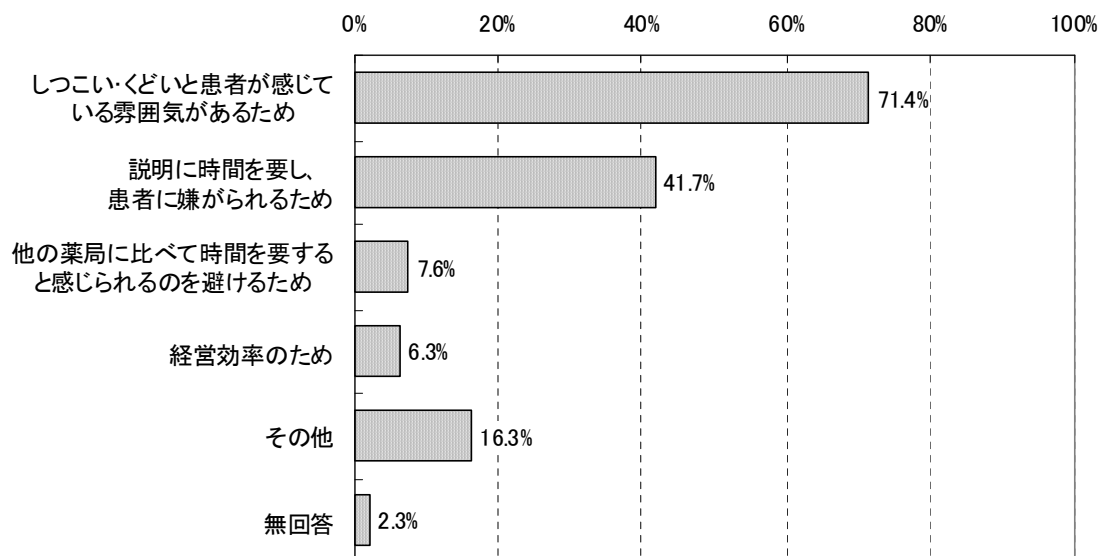
③後発医薬品使用に関する患者への働きかけ

1) 後発医薬品使用に関する患者への働きかけ

図表 50 後発医薬品使用に関する患者への働きかけ

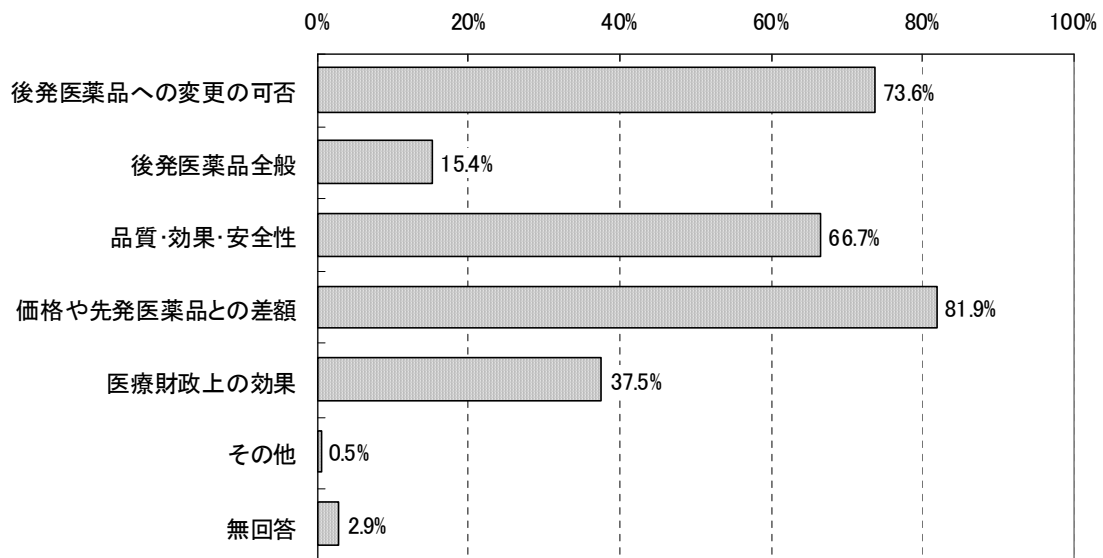


図表 51 後発医薬品使用に関して、毎回、積極的には働きかけない理由
 (「毎回、積極的に働きかける」と回答した薬局以外の薬局、複数回答、n=710)



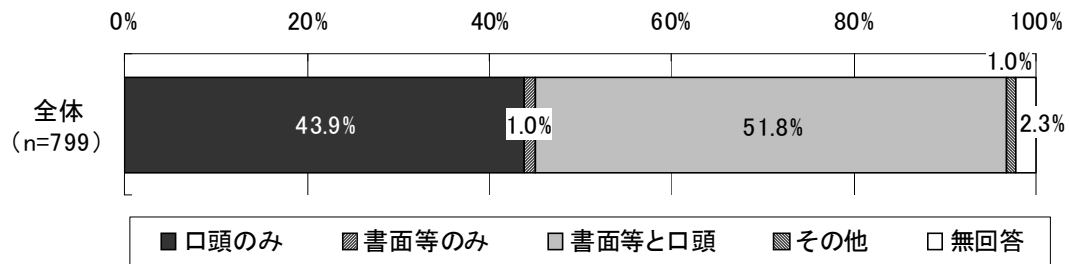
2) 後発医薬品の使用を働きかける際に、患者に提供している情報

図表 52 後発医薬品の使用を働きかける際に、患者に提供している情報
(複数回答、n=799)



3) 後発医薬品の使用を患者に働きかける主な方法

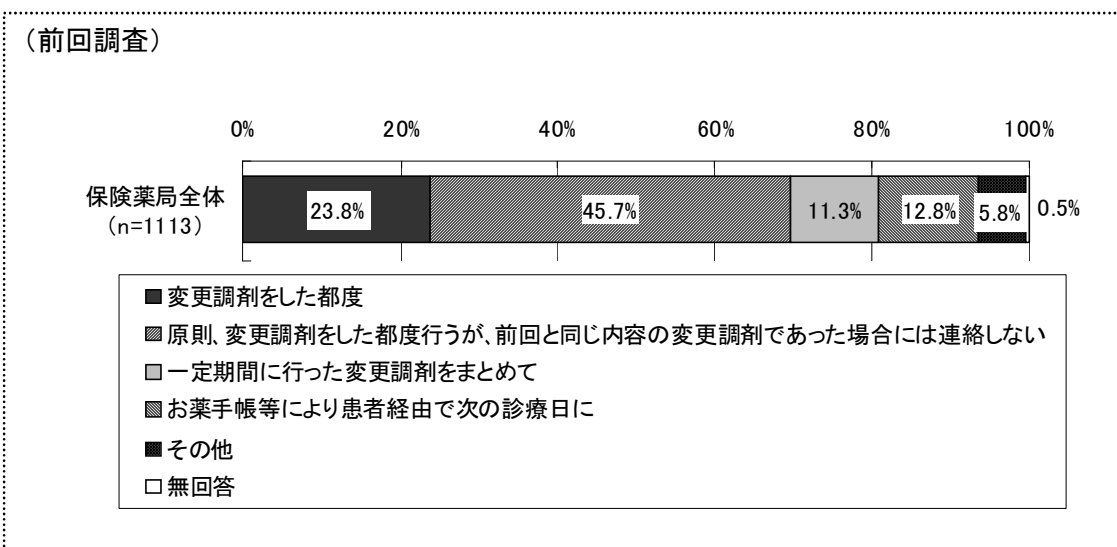
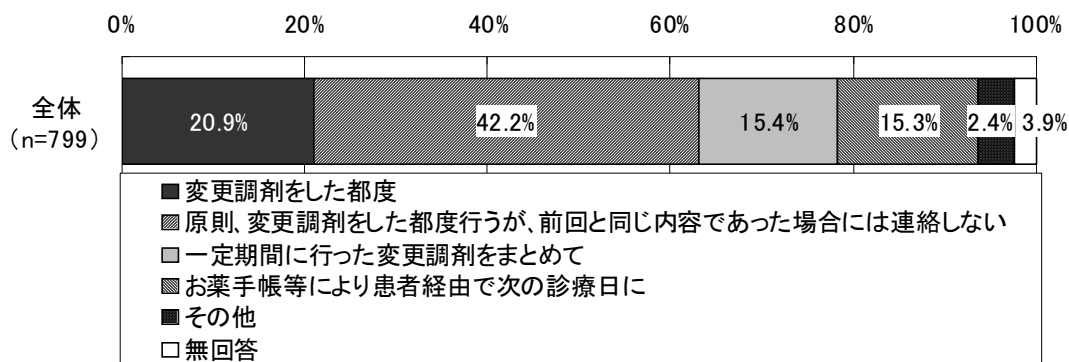
図表 53 後発医薬品の使用を患者に働きかける主な方法



④医療機関への情報提供等

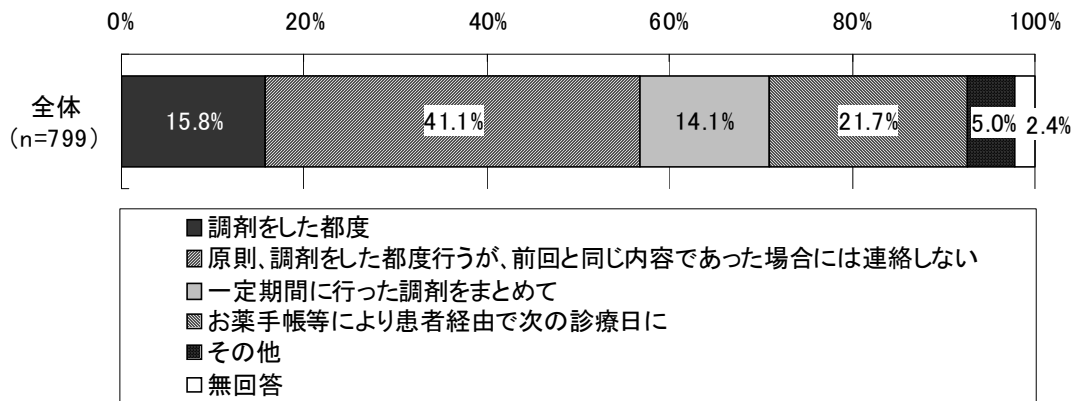
1) 後発医薬品への変更調剤について医療機関（医師）に情報提供を行うタイミング

図表 54 後発医薬品への変更調剤について医療機関（医師）に情報提供を行うタイミング
（最も多いもの）

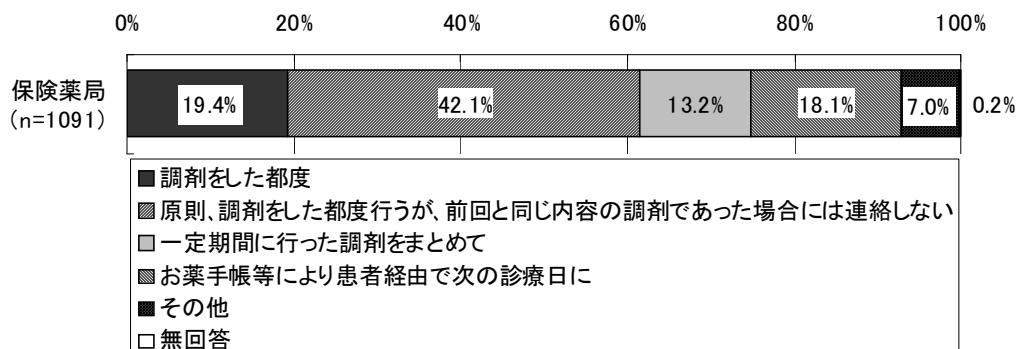


2) 一般名処方調剤について医療機関（医師）に情報提供を行うタイミング

図表 55 一般名処方調剤について医療機関（医師）に情報提供を行う
タイミング（最も多いもの）



(前回調査)

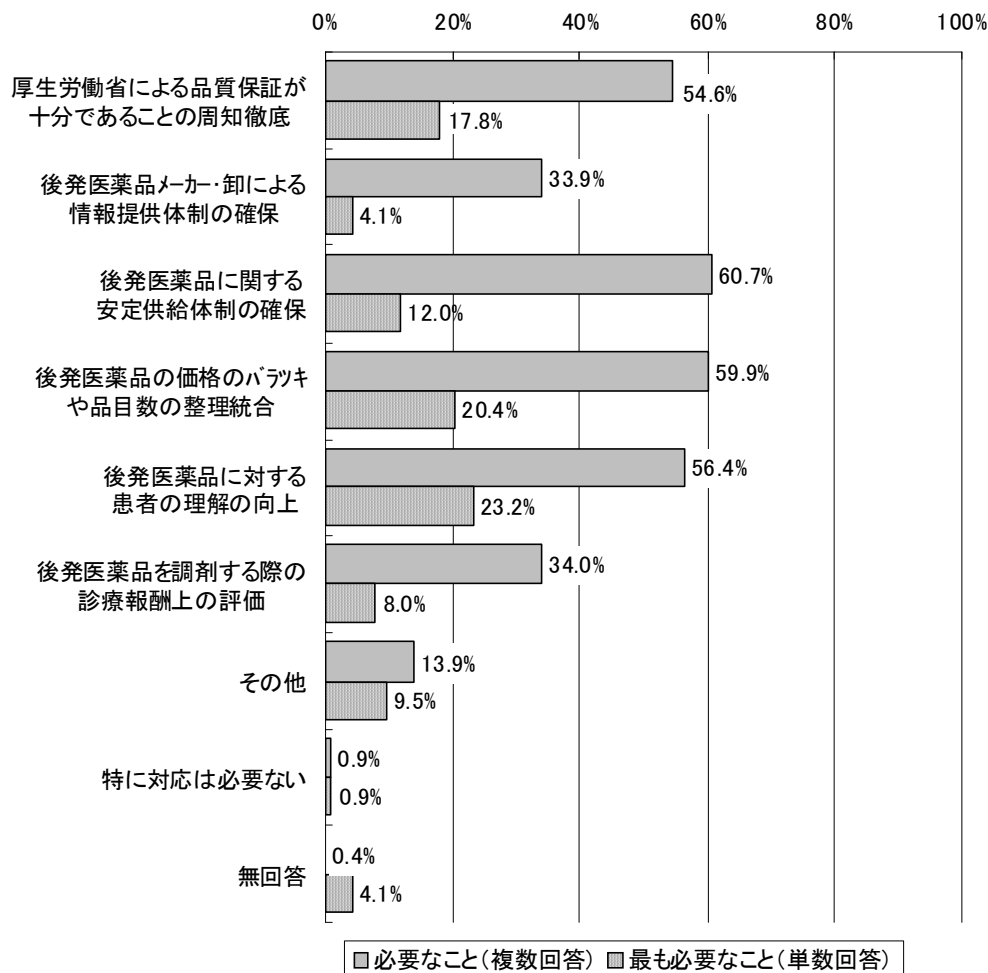


(注) 一般名処方の処方せんを取り扱っている保険薬局を集計対象とした。

(8) 後発医薬品使用に当たっての問題点・課題・要望等

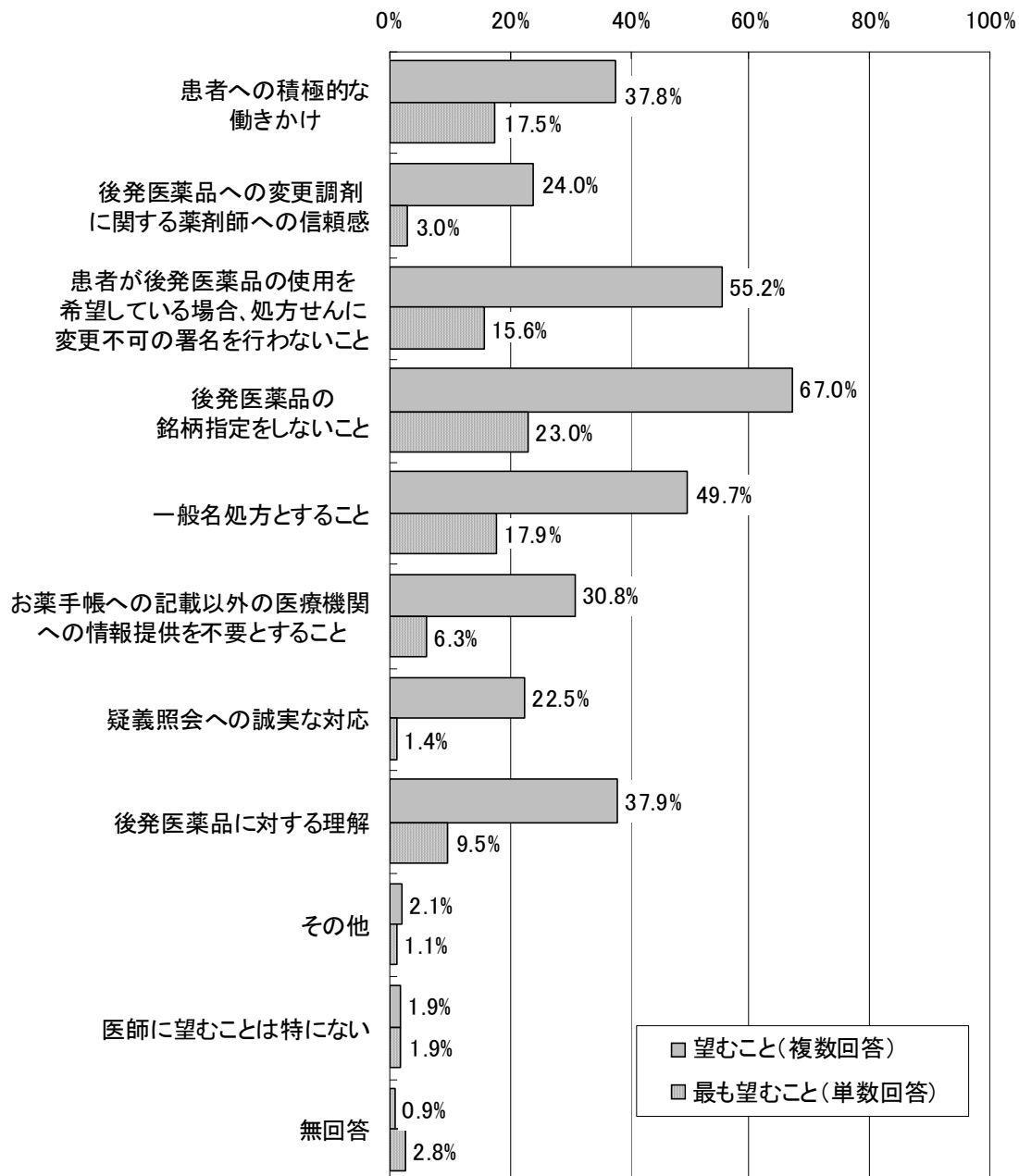
①薬剤師の立場として後発医薬品の調剤を積極的に進める上で必要なこと

図表 56 薬剤師の立場として後発医薬品の調剤を積極的に進める上で必要なこと (n=799)



②後発医薬品の使用を進める上で医師に望むこと

図表 57 後発医薬品の使用を進める上で医師に望むこと (n=799)



(9) 後発医薬品に変更して調剤した処方せんに係る薬剤料の状況

図表 58 8/21～8/27 のうちの平均的な開局時間である 1 日に先発医薬品から後発医薬品に変更して調剤または一般名処方 of 医薬品を後発医薬品で調剤した処方せん (9,722 枚) の状況

	(今回調査)			(前回調査)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料(A)(点)	872.4	1,862.8	420.0	664.0	1,096.7	319.0
実際に調剤した薬剤料(B)(点)	727.6	1,628.8	336.0	546.2	981.4	240.0
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料に占める、実際に調剤した薬剤料の割合(B/A)	83.4%		80.0%	82.3%		75.2%

* 前回調査の処方せん枚数は 42,124 枚 (平成 24 年 9 月 9 日から 9 月 15 日までの 1 週間分の処方せん)。

図表 59 8/21～8/27 のうちの平均的な開局時間である 1 日に先発医薬品から後発医薬品に変更して調剤または一般名処方 of 医薬品を後発医薬品で調剤した処方せん (9,722 枚) の状況 (患者一部負担金割合別)

	患者一部負担金割合					
	全体	0 割	1 割	2 割	3 割	10 割
処方せん枚数(枚)	9,722	1,296	3,225	219	4,953	17
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料(A)(点)	872.4	753.1	1076.3	172.7	803.3	610.5
実際に調剤した薬剤料(B)(点)	727.6	657.9	905.3	155.4	656.7	499.8
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料に占める、実際に調剤した薬剤料の割合(B/A)	83.4%	87.4%	84.1%	90.0%	81.8%	81.9%

(注) 患者一部負担金割合の「全体」には、患者一部負担金割合が不明だった処方せん 12 枚が含まれる。

図表 60 8/21～8/27 のうちの平均的な開局時間である 1 日に先発医薬品から後発医薬品に変更して調剤した処方せん (4,503 枚) の状況 (患者一部負担金割合別)

	患者一部負担金割合					
	全体	0 割	1 割	2 割	3 割	10 割
処方せん枚数(枚)	4,503	461	1,438	66	2,523	8
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料(A)(点)	1073.6	1096.5	1326.5	86.0	953.6	424.4
実際に調剤した薬剤料(B)(点)	863.1	935.7	1077.1	69.9	750.6	376.0
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料に占める、実際に調剤した薬剤料の割合(B/A)(%)	80.4%	85.3%	81.2%	81.3%	78.7%	88.6%

3. 診療所・病院・医師調査の結果

【調査対象等】

○診療所調査

調査対象：全国の一般診療所の中から無作為に抽出した一般診療所

回答数：697 施設

回答者：開設者・管理者

○病院調査

調査対象：全国の病院の中から無作為に抽出した病院

回答数：536 施設

回答者：開設者・管理者

○医師調査

調査対象：上記「病院調査」の対象施設で外来診療を担当する医師

1 施設につき、診療科の異なる医師 2 名

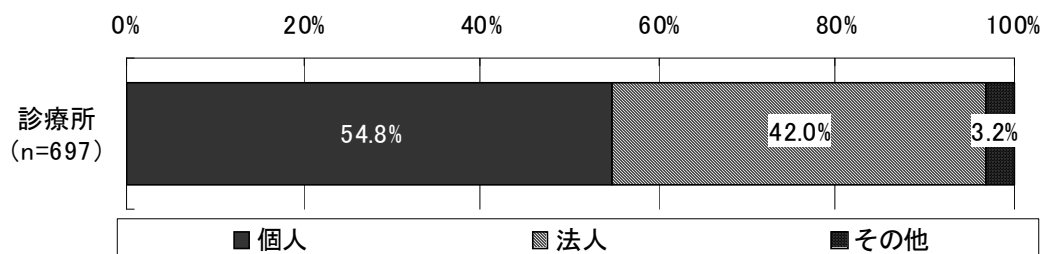
回答数：781 人

(1) 施設の概要等

①診療所の施設属性

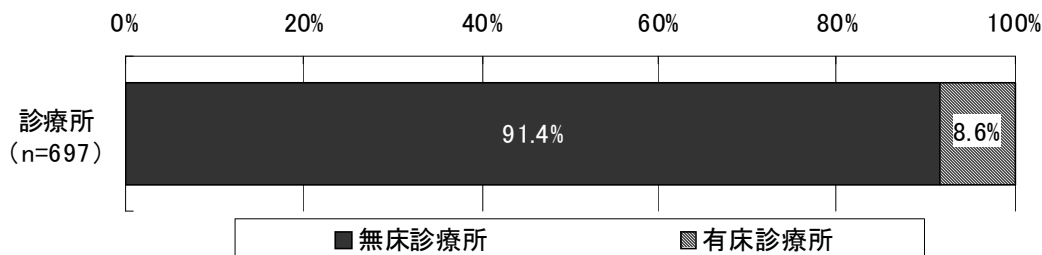
1) 診療所の開設者

図表 61 診療所の開設者

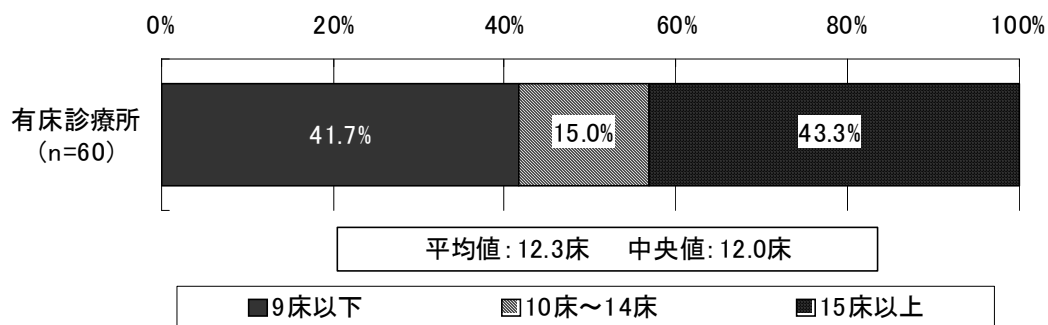


2) 診療所の種別

図表 62 診療所の種別



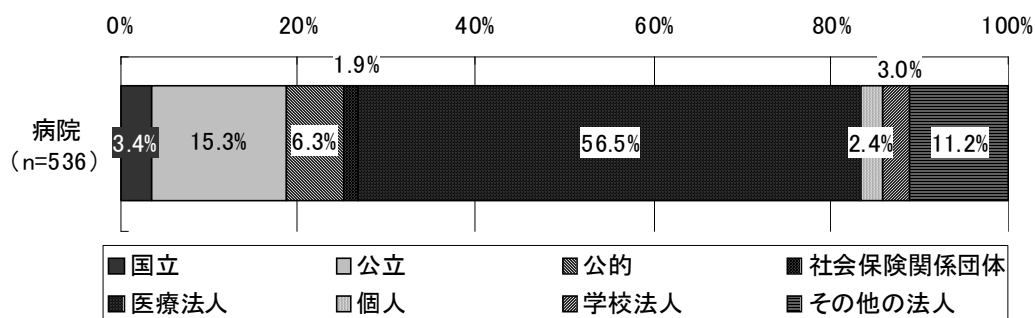
図表 63 有床診療所の病床規模



②病院の施設属性

1) 病院の開設者

図表 64 病院の開設者



(注) 開設者は以下の通り。

国立：厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康福祉機構、その他（国、独立行政法人）

公立：都道府県、市町村、地方独立行政法人

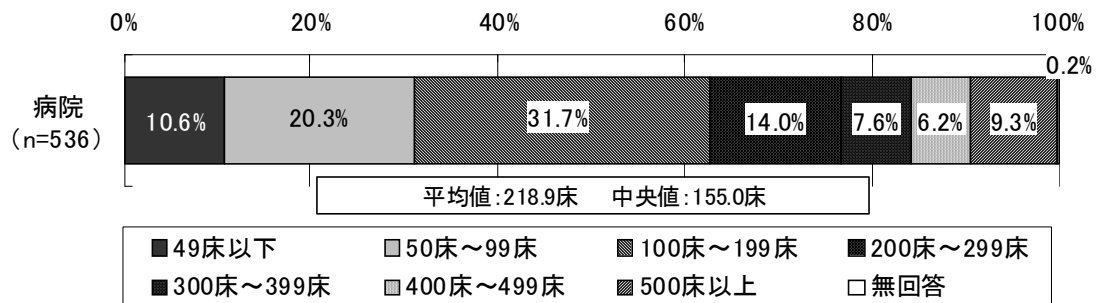
公的：日本赤十字社、済生会、北海道社会事業協会、全国厚生農業協同組合連合会、国民健康保険団体連合会

社会保険関係団体：全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合

その他の法人：公益法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人

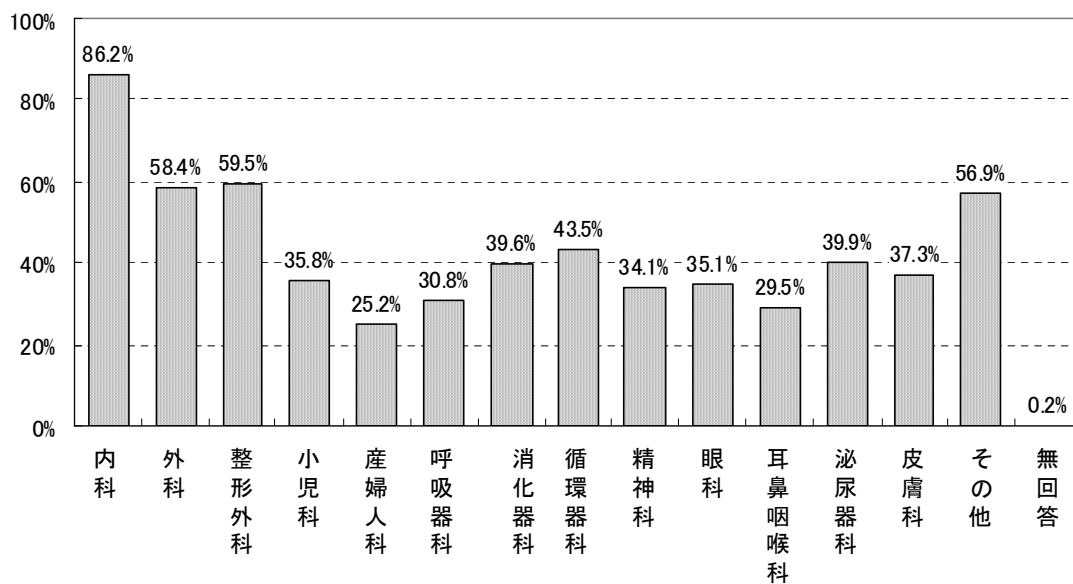
2) 病院の病床規模

図表 65 病院の病床規模



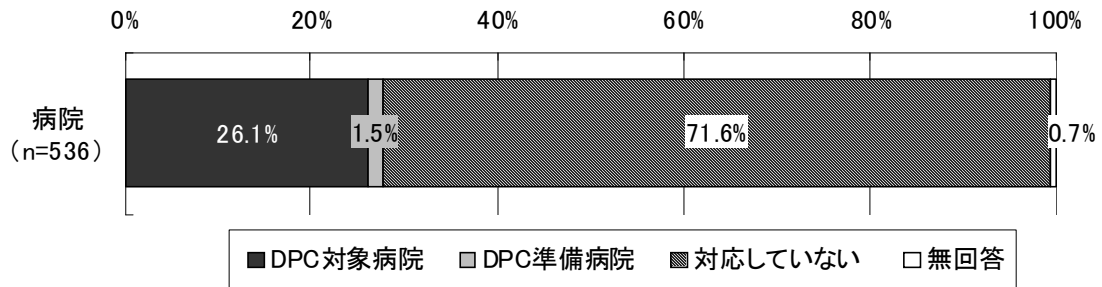
3) 病院の標榜診療科

図表 66 病院の標榜診療科 (複数回答)



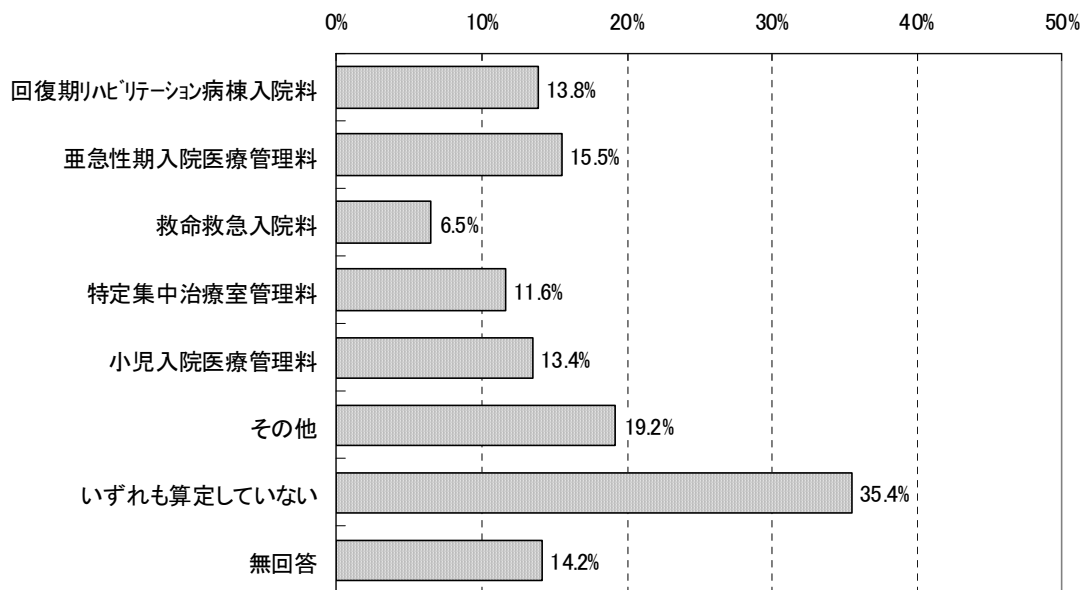
4) D P Cの対応状況

図表 67 D P Cの対応状況



5) 特定入院料の状況

図表 68 特定入院料の状況（複数回答、n=536）

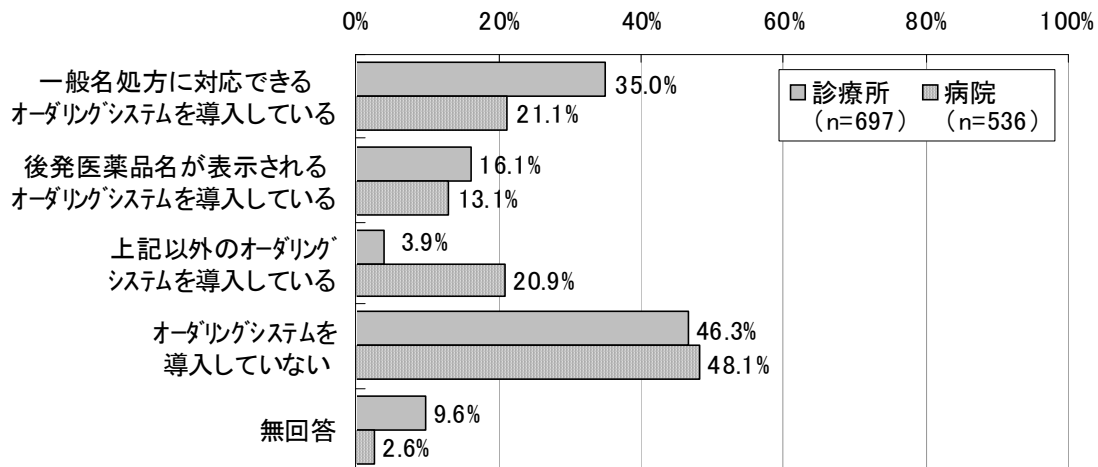


(注)「その他」は、「投薬・注射に係る薬剤料が包括されている特定入院料（精神科救急入院料等）」である。

③オーダリングシステムの導入状況等

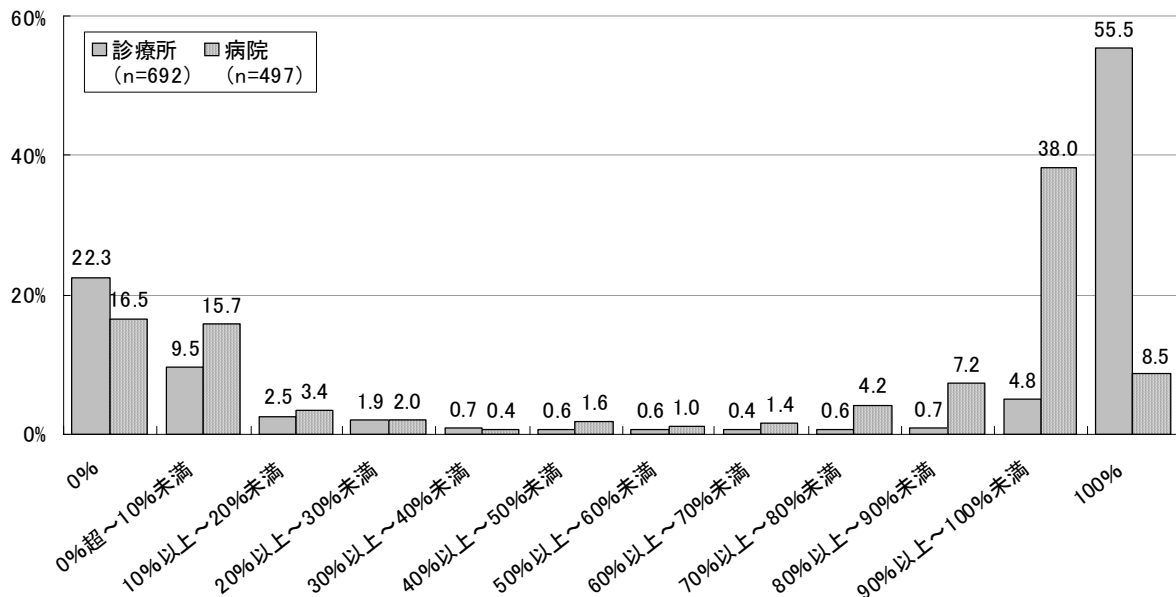
1) オーダリングシステムの導入状況

図表 69 オーダリングシステムの導入状況（複数回答）



2) 院外処方の割合

図表 70 院外処方の割合



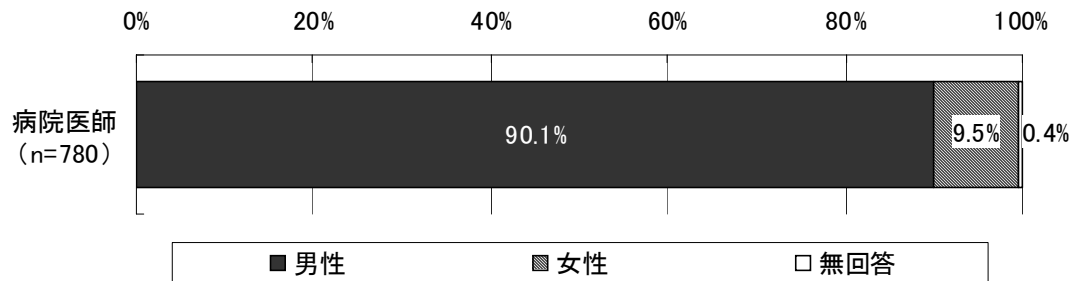
(注) 院外処方割合について記載のあった施設（診療所 692 施設、病院 497 施設）を集計対象とした。

(2) 医師の属性等

① 医師の属性

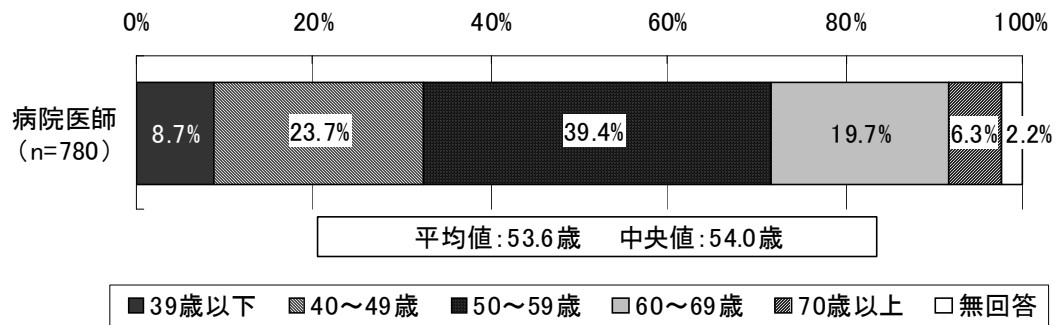
1) 医師の性別

図表 71 医師の性別



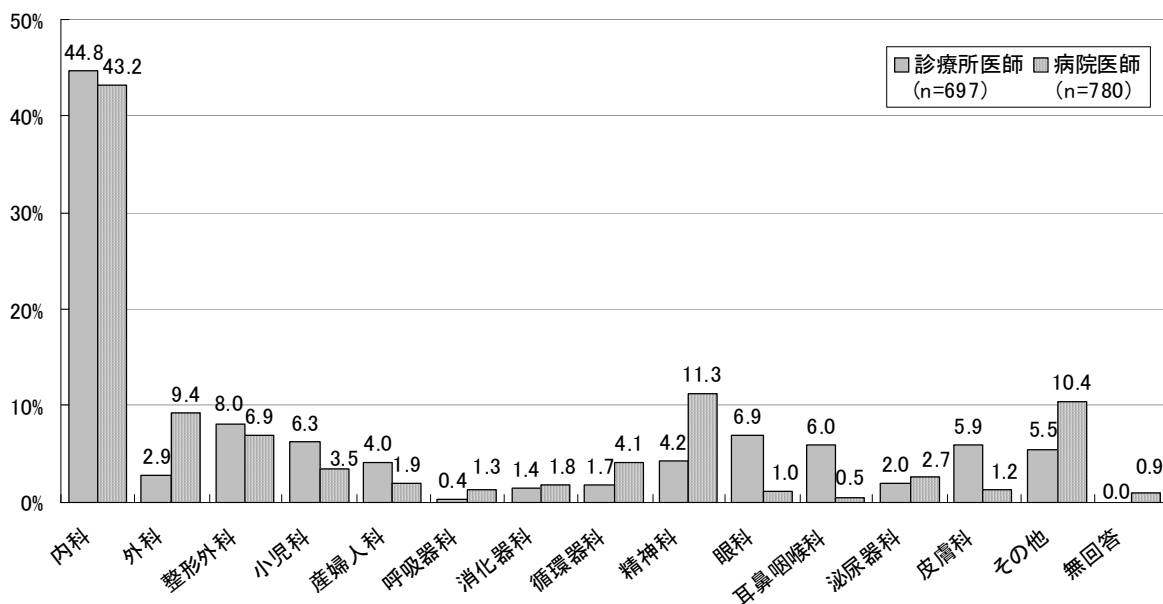
2) 医師の年齢

図表 72 医師の年齢



3) 医師の主たる担当診療科

図表 73 医師の主たる担当診療科



(3) 診療所・病院の診療体制

①診療所の診療体制

図表 74 診療所における1施設あたりの常勤の医師数・薬剤師数

	回答施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
医師数(人)	695	1.2	0.8	1.0
薬剤師数(人)	695	0.1	0.3	0.0

②病院の診療体制

図表 75 病院における1施設あたりの医師数・薬剤師数(常勤換算)

	回答施設数(件)	平均値	標準偏差	中央値
医師数(人)	520	39.1	87.0	9.1
薬剤師数(人)	531	7.4	11.1	3.0

(4) 診療所・病院における医薬品の備蓄状況等

① 医薬品の備蓄状況等

1) 診療所における医薬品の備蓄状況

図表 76 診療所における医薬品の備蓄状況等

	診療所全体 (n=222)			【無床診療所】院外処方率 50%未満 (n=159)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1. 医薬品備蓄品目数(品目)						
①全医薬品	174.6	137.6	150.0	193.4	135.5	180.0
②①のうち、後発医薬品	38.8	50.3	23.0	43.6	54.6	30.0
③後発医薬品割合(②/①)	22.2%		15.3%	22.6%		16.7%
2. 調剤用医薬品購入額(円)						
①全医薬品	1,879,383	1,840,616	1,389,084	2,155,471	1,895,109	1,706,128
②①のうち、後発医薬品	299,301	449,839	105,234	339,438	457,897	150,000
③後発医薬品割合(②/①)	15.9%		7.6%	15.7%		8.8%
3. 調剤用医薬品廃棄額(円)						
①全医薬品	11,687	63,790	0	13,823	73,458	0
②①のうち、後発医薬品	2,849	12,370	0	3,454	14,176	0
③後発医薬品割合(②/①)	24.4%		—	25.0%		—

	【無床診療所】院外処方率 50%以上 (n=23)			【有床診療所】 (n=39)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1. 医薬品備蓄品目数(品目)						
①全医薬品	43.0	35.4	30.0	174.0	145.0	150.0
②①のうち、後発医薬品	7.9	8.6	5.0	38.2	39.8	30.0
③後発医薬品割合(②/①)	18.3%		16.7%	21.9%		20.0%
2. 調剤用医薬品購入額(円)						
①全医薬品	483,053	660,488	300,000	1,593,406	1,710,067	920,000
②①のうち、後発医薬品	67,250	110,282	20,000	276,857	507,371	97,779
③後発医薬品割合(②/①)	13.9%		6.7%	17.4%		10.6%
3. 調剤用医薬品廃棄額(円)						
①全医薬品	10,674	41,807	0	3,723	11,483	0
②①のうち、後発医薬品	2,413	8,611	0	713	2,208	0
③後発医薬品割合(②/①)	22.6%		—	19.2%		—

(注) すべての項目に回答のあった施設を集計対象とした。

2) 病院における医薬品の備蓄品目数

図表 77 病院における医薬品の備蓄品目数 (n=498)

		①全医薬品	②うち後発医薬品	②/①
内服薬	平均値	419.5	67.9	16.2%
	標準偏差	226.0	48.7	
	中央値	370.0	59.5	16.1%
外用薬	平均値	149.6	24.5	16.4%
	標準偏差	98.2	15.8	
	中央値	118.0	22.0	18.6%
注射薬	平均値	251.1	38.7	15.4%
	標準偏差	196.8	34.0	
	中央値	185.5	29.0	15.6%
合計	平均値	820.2	131.1	16.0%
	標準偏差	493.3	79.3	
	中央値	663.5	122.5	18.5%

(注) すべての項目に回答のあった施設を集計対象とした。

(前回調査)

		①全医薬品	②うち後発医薬品	②/①
内服薬	平均値	414.8	57.8	13.9%
	標準偏差	200.6	41.5	
	中央値	380.5	49.5	13.0%
外用薬	平均値	153.0	23.6	15.5%
	標準偏差	90.5	14.8	
	中央値	126.0	22.0	17.5%
注射薬	平均値	244.6	35.8	14.6%
	標準偏差	172.9	28.7	
	中央値	190.5	27.0	14.2%
合計	平均値	812.4	117.3	14.4%
	標準偏差	433.1	67.3	
	中央値	678.0	103.0	15.2%

(注) すべての項目に回答のあった施設を集計対象とした。

図表 78 病院における医薬品の備蓄品目数（病院種別）

		病院全体 (n=383)			DPC 対象病院 (n=112)		
		①全医薬品	②うち後発 医薬品	②/①	①全医薬品	②うち後発 医薬品	②/①
内服薬	平均値	420.7	68.5	16.3%	614.8	62.0	10.1%
	標準偏差	226.1	50.3		254.3	49.0	
	中央値	378.0	58.0	15.3%	599.0	48.0	8.0%
外用薬	平均値	150.7	24.9	16.5%	236.9	32.8	13.8%
	標準偏差	94.3	15.6		100.8	18.4	
	中央値	122.0	23.0	18.9%	248.0	32.0	12.9%
注射薬	平均値	254.6	39.9	15.7%	474.5	72.1	15.2%
	標準偏差	197.7	34.7		195.9	36.7	
	中央値	188.0	30.0	16.0%	477.0	73.5	15.4%
合計	平均値	826.0	133.3	16.1%	1326.2	166.8	12.6%
	標準偏差	492.9	80.9		520.2	85.4	
	中央値	671.0	123.0	18.3%	1333.0	145.0	10.9%

		DPC 準備病院 (n=5)			それ以外の病院 (n=263)		
		①全医薬品	②うち後発 医薬品	②/①	①全医薬品	②うち後発 医薬品	②/①
内服薬	平均値	497.6	62.2	12.5%	335.7	71.5	21.3%
	標準偏差	234.1	50.5		149.2	50.9	
	中央値	480.0	69.0	14.4%	320.0	67.0	20.9%
外用薬	平均値	163.0	23.4	14.4%	113.1	21.6	19.1%
	標準偏差	99.9	12.4		61.4	13.0	
	中央値	157.0	28.0	17.8%	103.0	20.0	19.4%
注射薬	平均値	335.6	34.6	10.3%	157.9	26.0	16.5%
	標準偏差	148.4	19.6		97.6	22.9	
	中央値	250.0	32.0	12.8%	138.0	20.0	14.5%
合計	平均値	996.2	120.2	12.1%	606.7	119.1	19.6%
	標準偏差	471.8	74.0		276.8	75.2	
	中央値	887.0	133.0	15.0%	560.0	108.0	19.3%

(注) 備蓄品目数・購入額・廃棄額のすべての項目に回答のあった 383 施設を集計対象とした。次表と同じ対象施設である。

3) 病院における医薬品の購入金額・廃棄額

図表 79 病院における医薬品購入額・廃棄額（病院種別、平成 25 年 7 月 1 か月間）

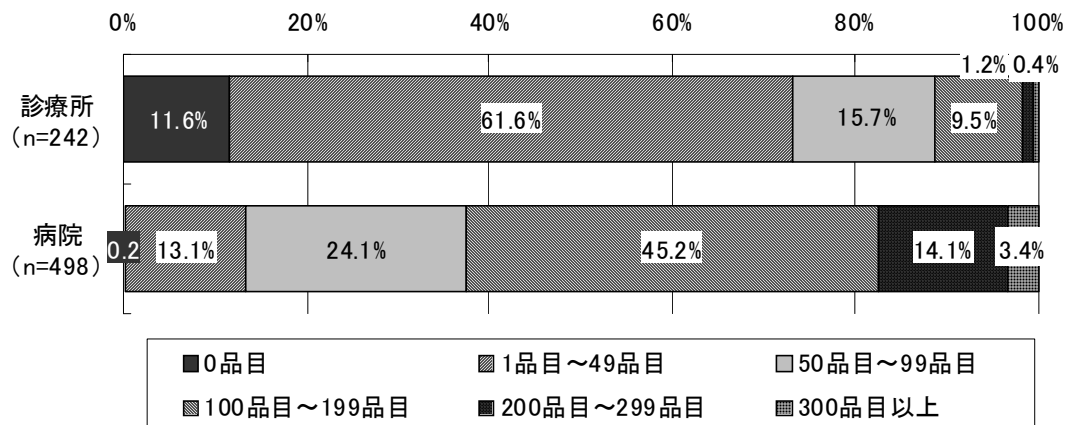
	病院全体 (n=383)			DPC 対象病院 (n=112)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
調剤用医薬品購入金額(円)						
①全医薬品	43,592,095	98,280,360	8,902,720	122,807,930	153,567,015	70,850,632
②後発医薬品	3,114,989	5,926,113	897,164	8,335,749	8,861,762	5,367,353
③後発医薬品割合(②/①)	7.1%		10.1%	6.8%		7.6%
調剤用医薬品廃棄額(円)						
①全医薬品	44,103	111,915	9,576	93,902	162,820	30,259
②後発医薬品	4,845	33,376	0	4,603	16,018	333
③後発医薬品割合(②/①)	11.0%		0.0%	4.9%		1.1%

	DPC 準備病院 (n=5)			それ以外の病院 (n=263)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
調剤用医薬品購入金額(円)						
①全医薬品	18,137,380	10,605,659	15,859,779	10,134,096	14,471,158	6,483,662
②後発医薬品	1,674,907	2,470,910	1,000,000	906,521	948,773	646,965
③後発医薬品割合(②/①)	9.2%		6.3%	8.9%		10.0%
調剤用医薬品廃棄額(円)						
①全医薬品	24,390	42,765	6,037	23,431	74,059	4,600
②後発医薬品	2,146	4,402	0	4,982	38,913	0
③後発医薬品割合(②/①)	8.8%		0.0%	21.3%		0.0%

(注) 備蓄品目数・購入額・廃棄額のすべての項目に回答のあった 383 施設を集計対象とした。前表と同じ対象施設である。

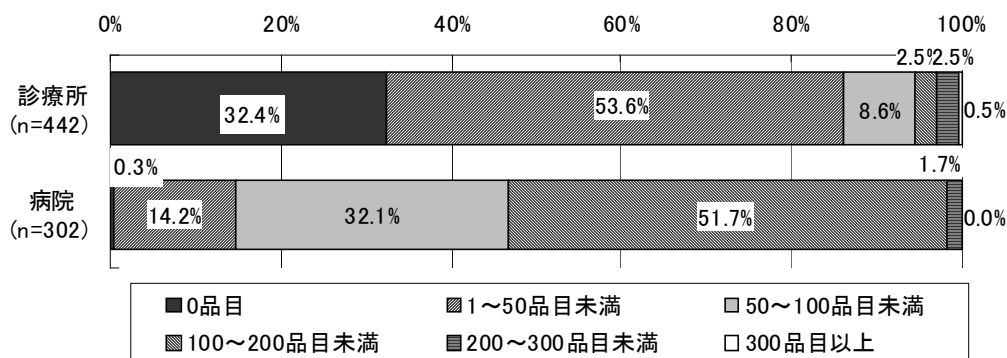
4) 診療所・病院における後発医薬品の備蓄品目数

図表 80 後発医薬品の備蓄品目数



(注) すべての項目に回答のあった施設を集計対象とした。

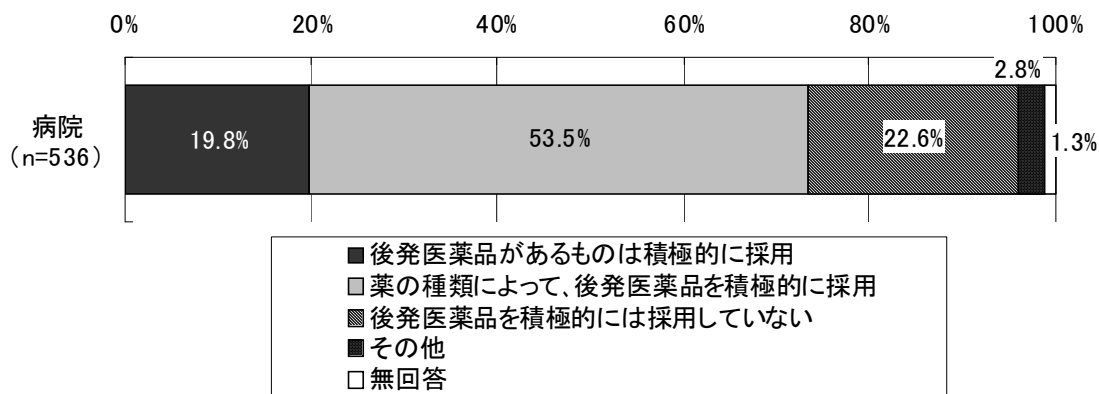
(前回調査)



(注) すべての項目に回答のあった施設を集計対象とした。

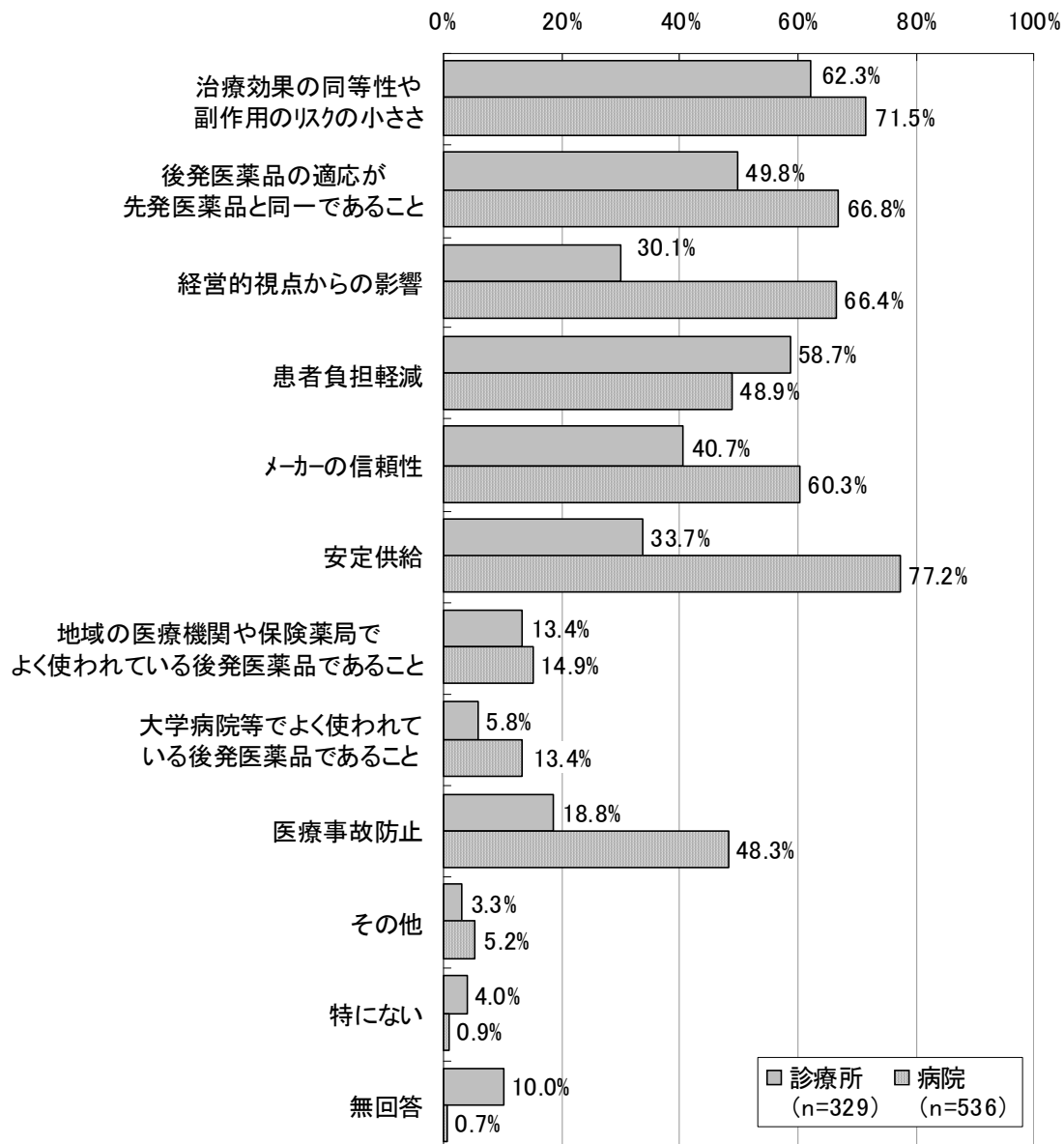
②病院における後発医薬品の採用状況

図表 81 病院における後発医薬品の採用状況

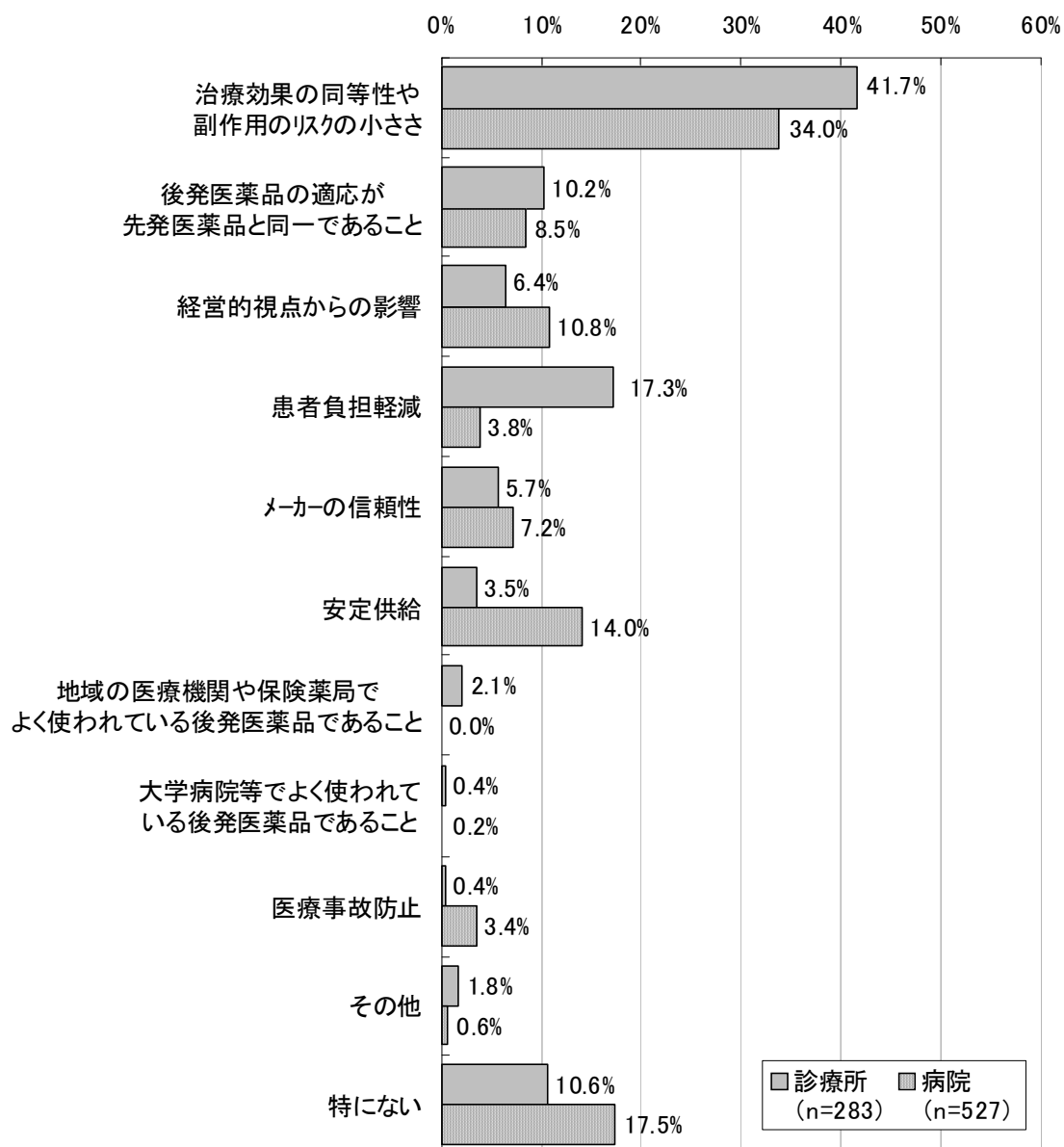


③診療所・病院において、後発医薬品採用する際に重視すること

図表 82 診療所・病院において、後発医薬品採用する際に重視すること（複数回答）



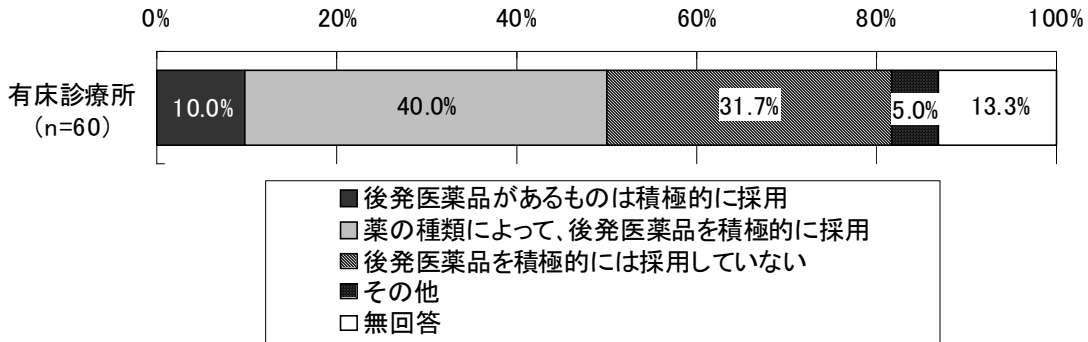
図表 83 診療所・病院において、後発医薬品採用する際に最も重視すること（単数回答）



(5) 入院患者に対する後発医薬品の使用状況等

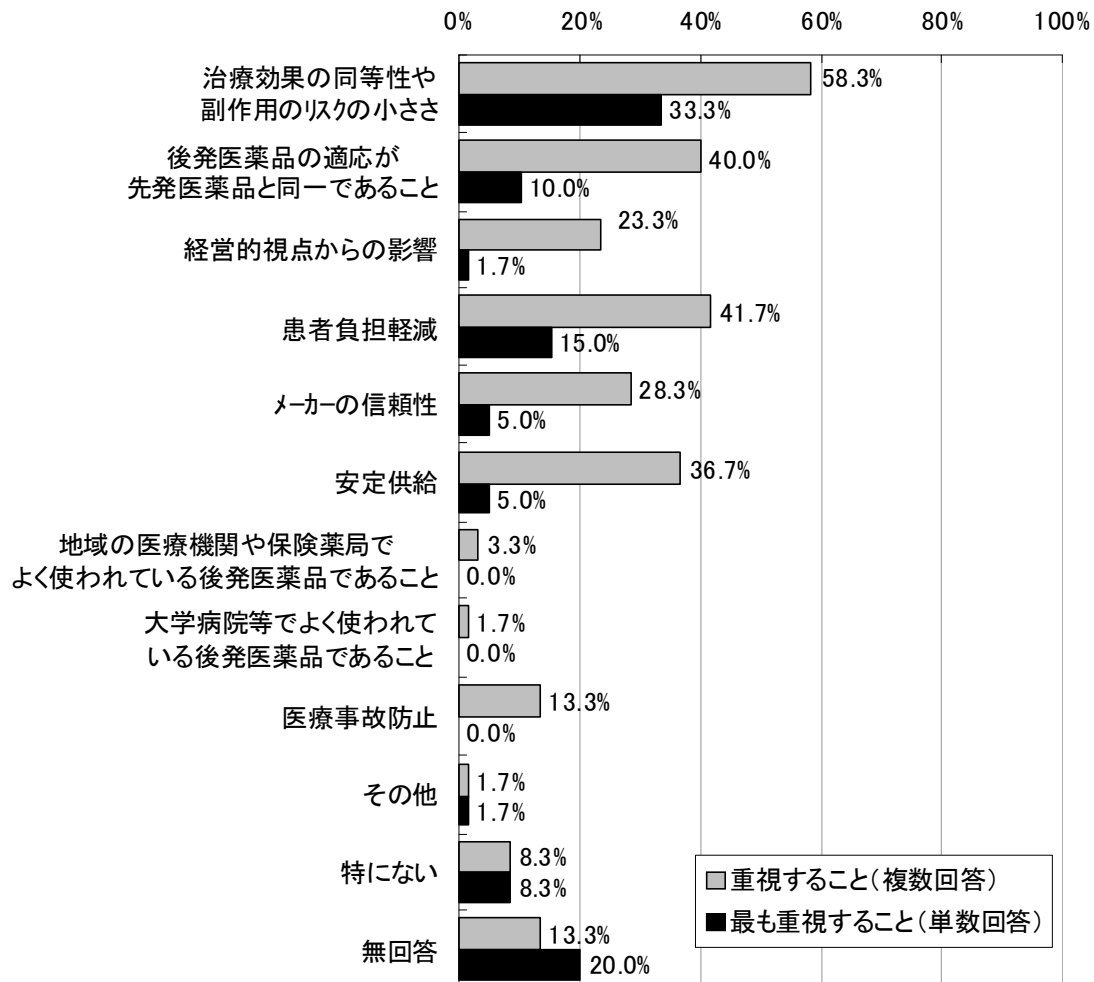
①有床診療所の入院医療における後発医薬品の採用状況

図表 84 有床診療所の入院医療における後発医薬品の採用状況

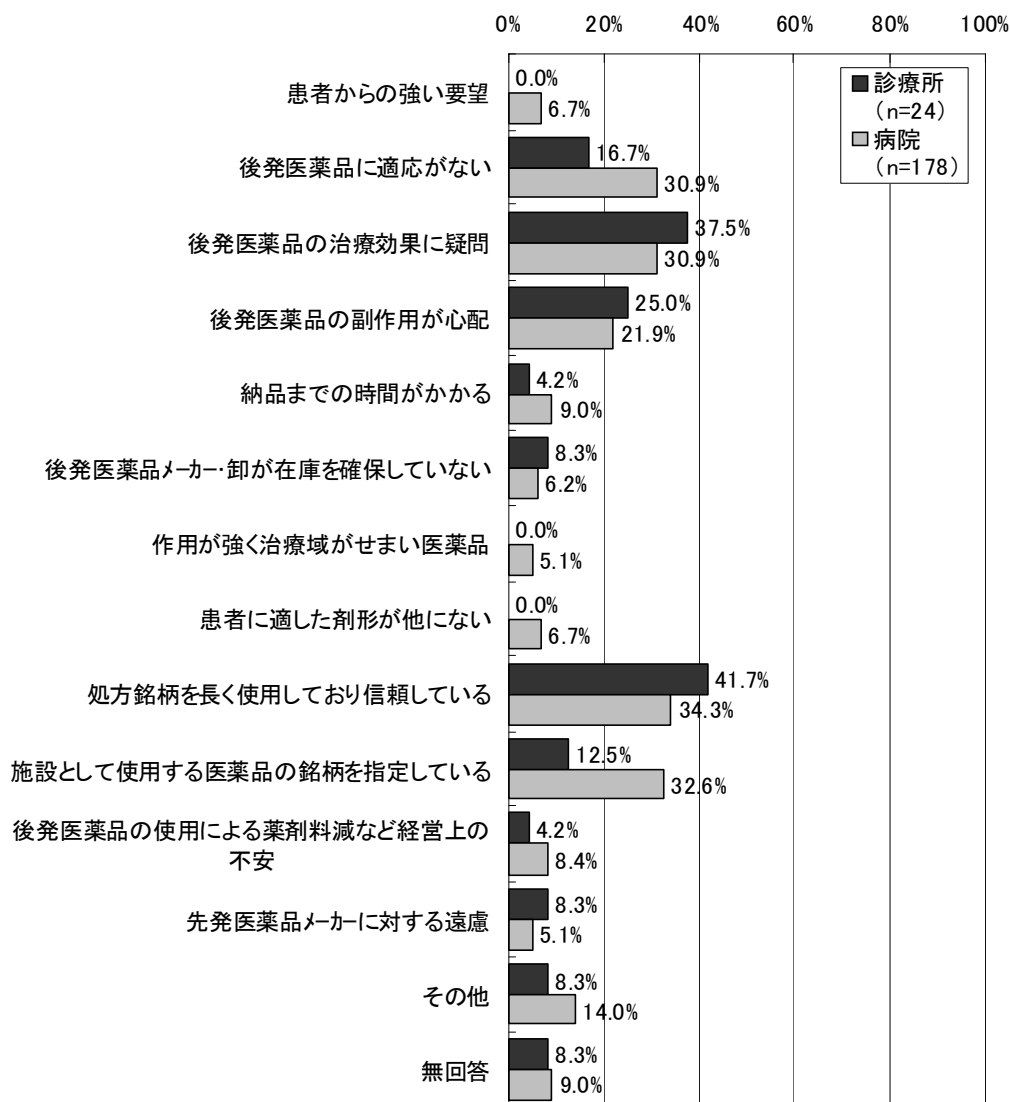


②有床診療所の入院医療における、後発医薬品を採用する際に重視すること

図表 85 有床診療所の入院医療における、後発医薬品を採用する際に重視すること (n=60)

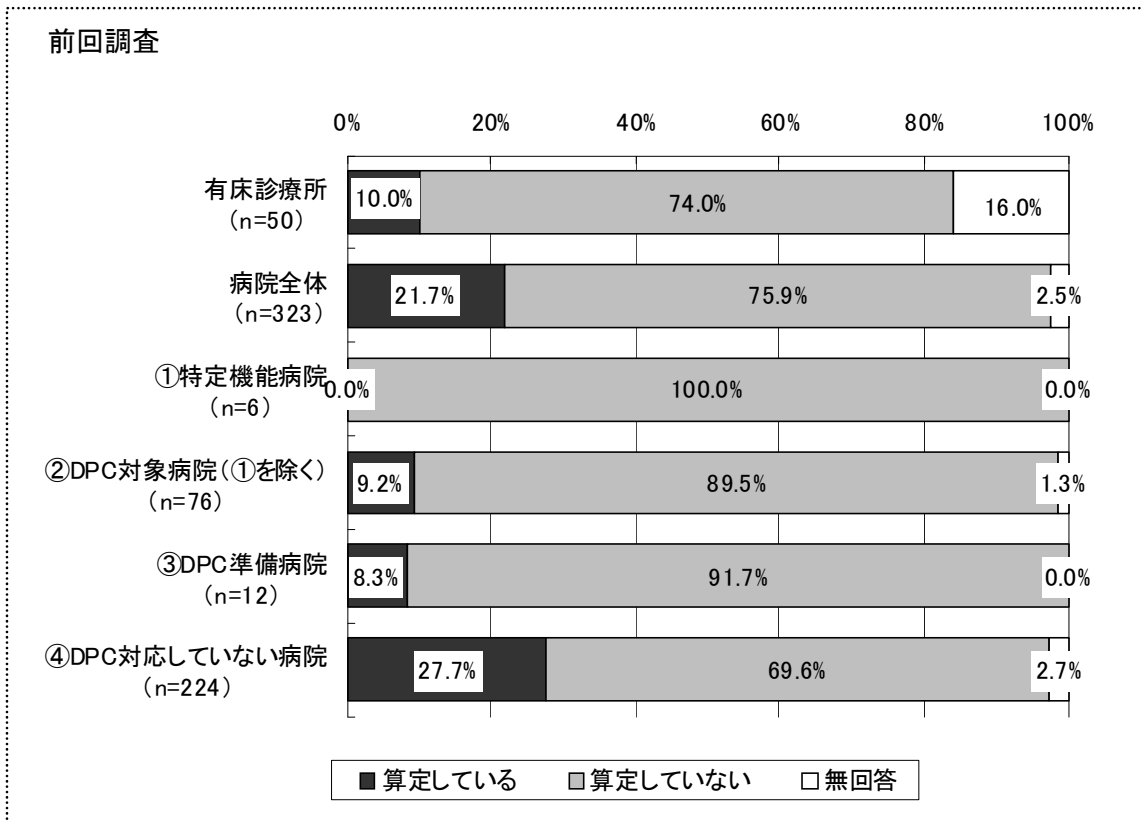
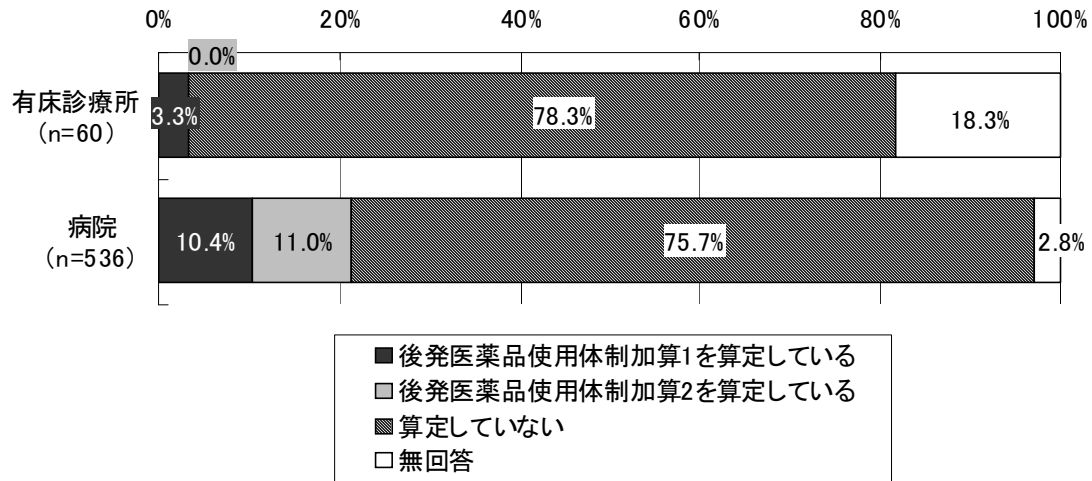


図表 86 入院患者に対して後発医薬品を選択しなかった理由
 (「後発医薬品のあるものの一部を使用」または「後発医薬品をほとんど使用していない」
 と回答した有床診療所・病院、複数回答)



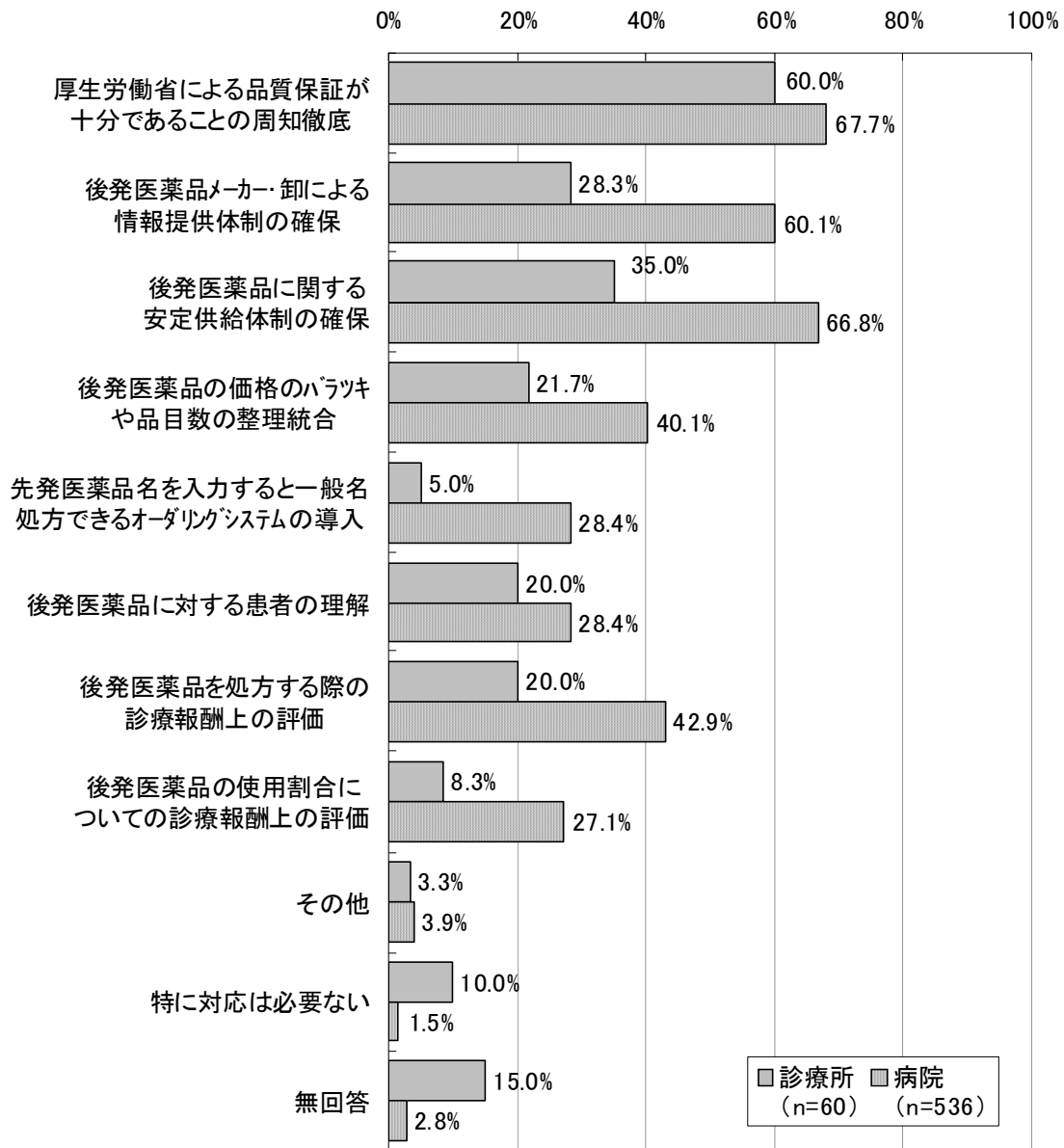
③後発医薬品使用体制加算の状況

図表 87 後発医薬品使用体制加算の状況



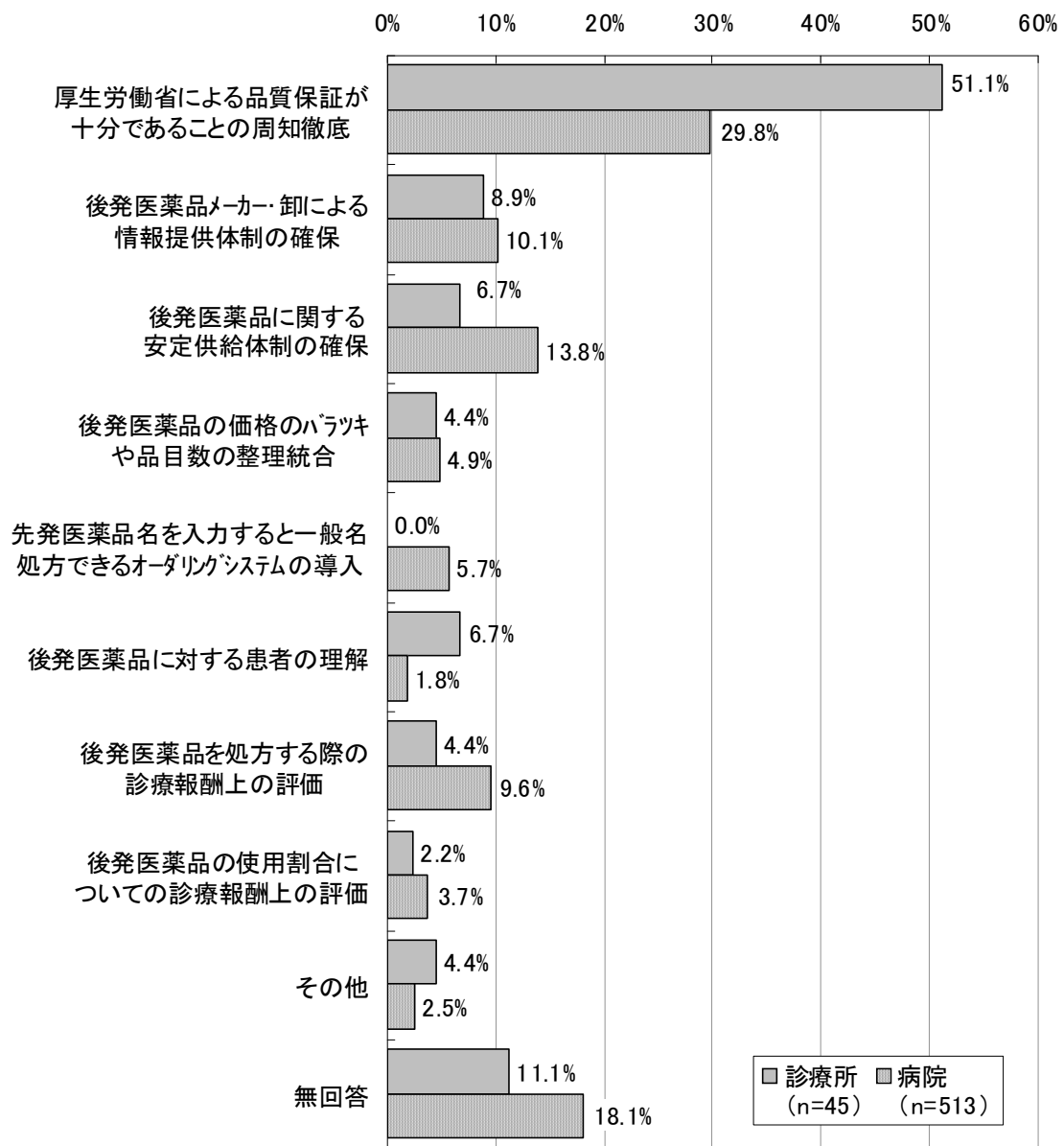
④今後どのような対応が進めば施設として入院患者等*に後発医薬品の使用を進めてもよいか

図表 88 今後どのような対応が進めば施設として入院患者等に後発医薬品の使用を進めてもよいか（複数回答）



(注) ここでは、入院患者への投薬・注射の他、外来患者への院内投薬を含むため、「入院患者等」とした。

図表 89 今後どのような対応が進めば施設として入院患者等に後発医薬品の使用を進め
てもよいと思うか（最も重要なもの、単数回答）



(注) ここでは、入院患者への投薬・注射の他、外来患者への院内投薬を含むため、「入院患者等」とした。

(7) 外来患者に対する後発医薬品の使用状況等（施設ベース）

①処方せん料・一般名処方加算の算定回数（平成25年7月1か月間）

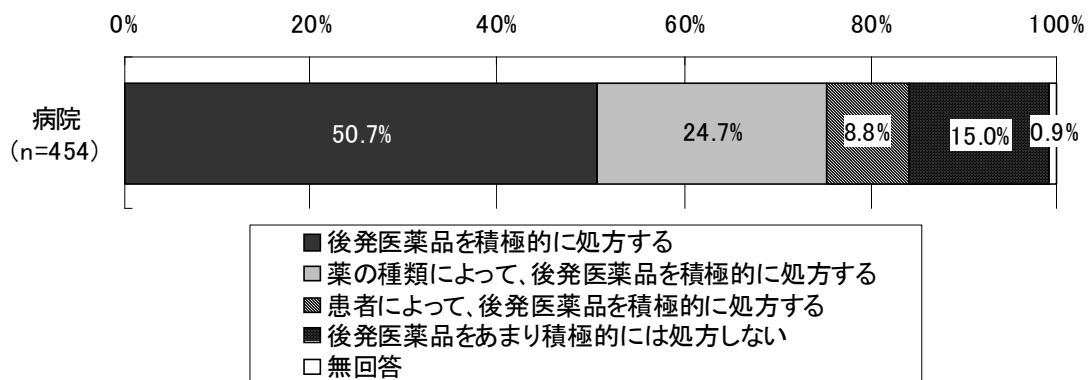
図表 90 処方せん料・一般名処方加算の算定回数（平成25年7月1か月間）

（単位：回）

		平均値	標準偏差	中央値
診療所 (n=448)	処方せん料	762.1	807.7	619.5
	一般名処方加算	311.9	556.9	66.0
病院 (n=456)	処方せん料	3,127.1	5,628.1	1,276.5
	一般名処方加算	296.0	893.9	0.0

②病院における、外来患者に院外処方する場合の施設としての対応方針等

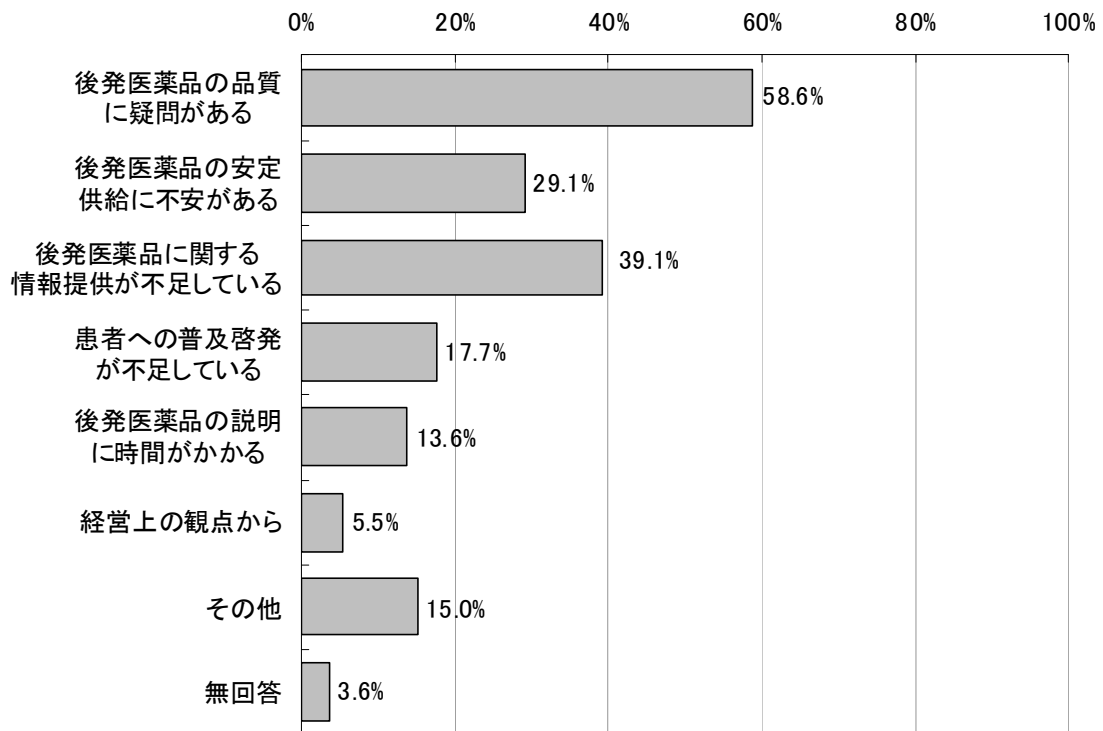
図表 91 外来患者に院外処方する場合の施設としての対応方針



(注)・院外処方を実施している施設を対象として集計した。

・今回調査の「後発医薬品を積極的に使用する」には、後発医薬品の銘柄処方のほか、一般名処方や院外処方せんの後発医薬品への「変更不可」欄にチェック等を行わない場合を含む。

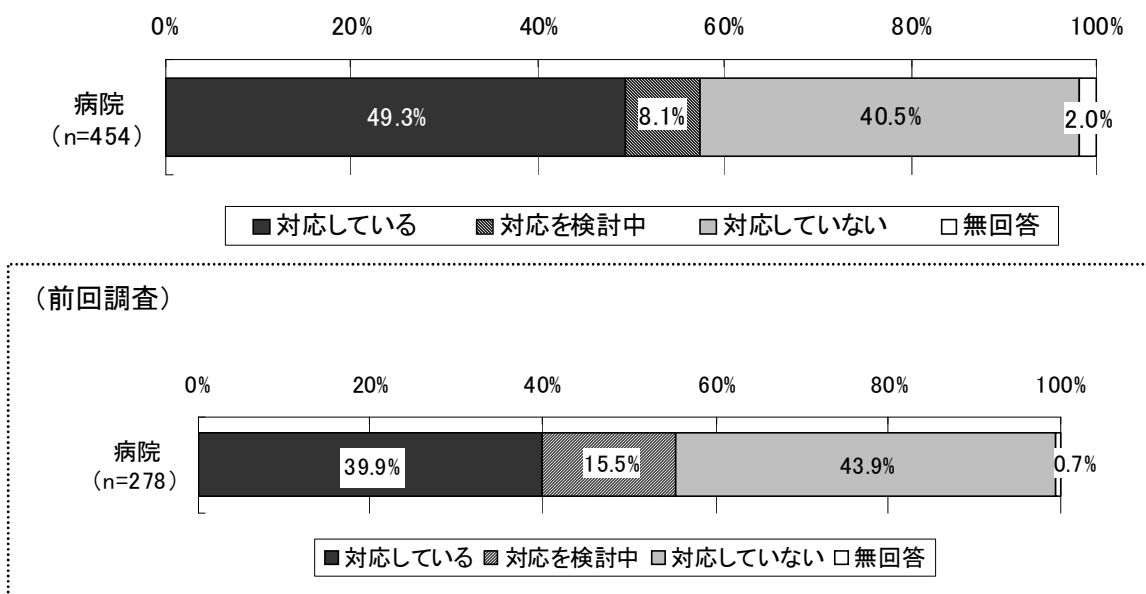
図表 92 外来患者に院外処方する場合に、施設として、後発医薬品を積極的に処方しない場合の理由（「後発医薬品を積極的に処方する」以外の選択した施設、複数回答、n=220）



③病院における一般名処方による処方せん発行への対応状況等

1) 病院における一般名処方による処方せん発行への対応状況

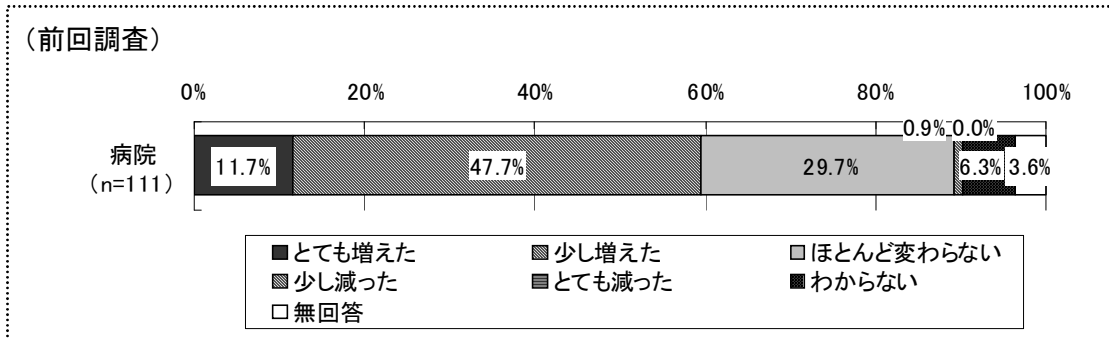
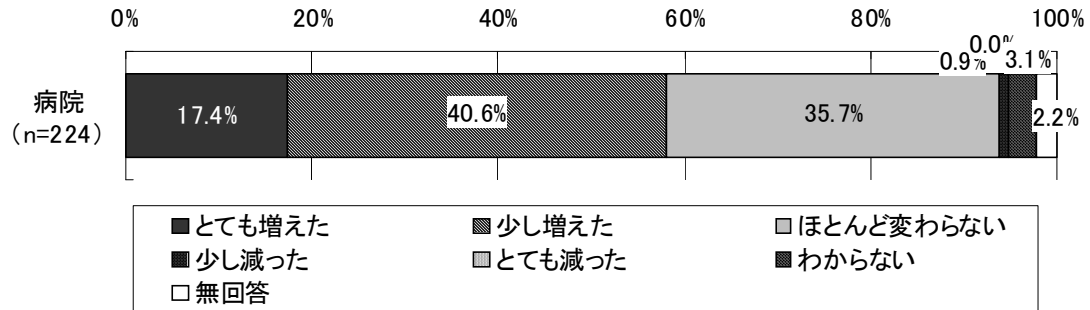
図表 93 病院における一般名処方による処方せん発行への対応状況（平成 25 年 4 月以降）



(注) 院外処方を実施している施設を対象として集計した。

2) 病院における一般名処方による処方せん発行による事務的な負担の変化

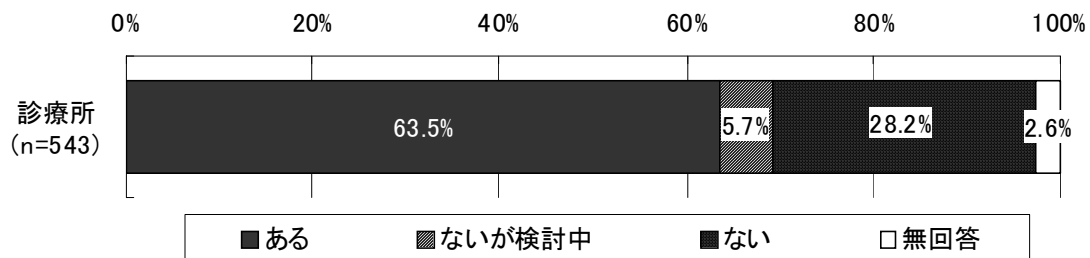
図表 94 一般名処方による処方せんの発行による事務的な負担の変化
 (一般名処方による処方せん発行に対応している病院)



④診療所における一般名処方による処方せん発行への対応状況等

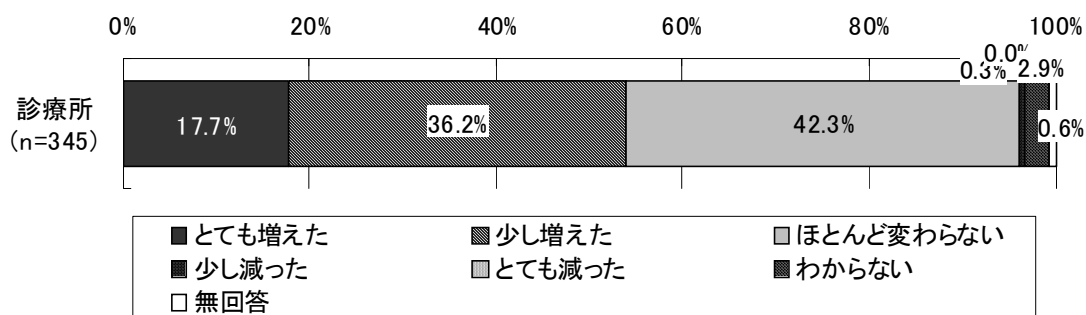
1) 診療所における一般名処方による処方せん発行の有無（平成 25 年 4 月以降）

図表 95 診療所における一般名処方による処方せん発行の有無（平成 25 年 4 月以降）



2) 診療所における一般名処方による処方せん発行による事務的な負担の変化

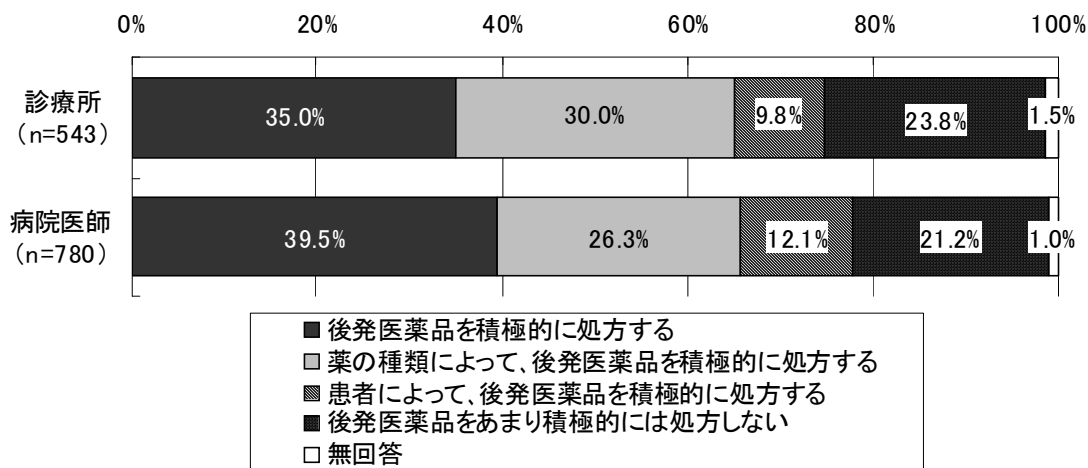
図表 96 一般名処方による処方せんの発行による事務的な負担の変化
（一般名処方による処方せん発行に対応している診療所）



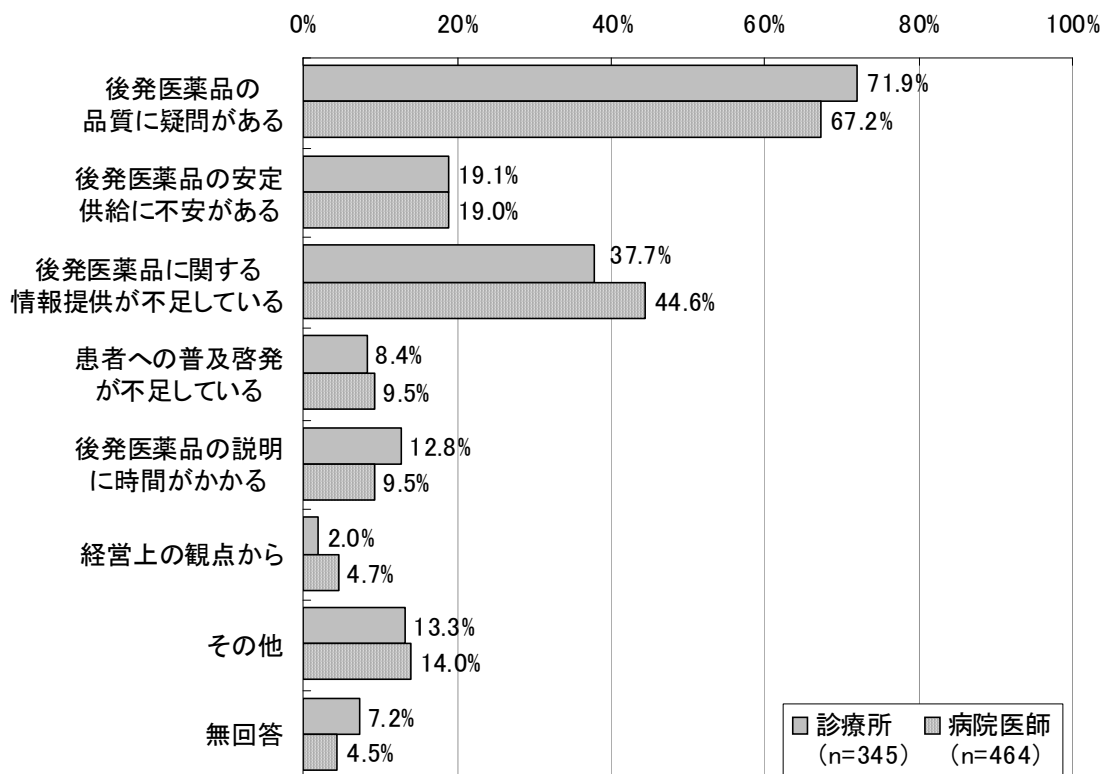
(8) 外来診療における院外処方せん発行時や後発医薬品の処方に関する医師の考え等
(医師ベース)

①外来診療における後発医薬品の処方に関する考え

図表 97 外来診療における後発医薬品の処方に関する考え (医師ベース)

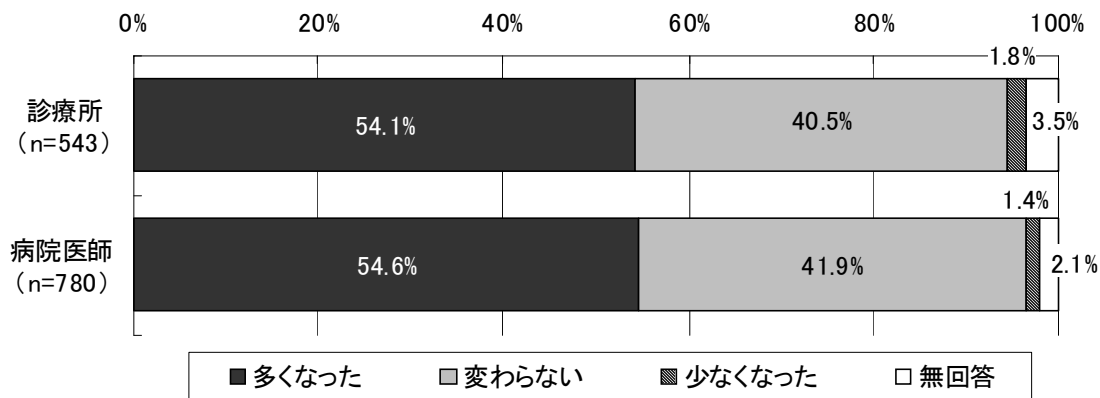


図表 98 外来診療において後発医薬品を基本的には処方しない理由
(「後発医薬品を積極的に処方する」以外を選択した医師、複数回答、医師ベース)



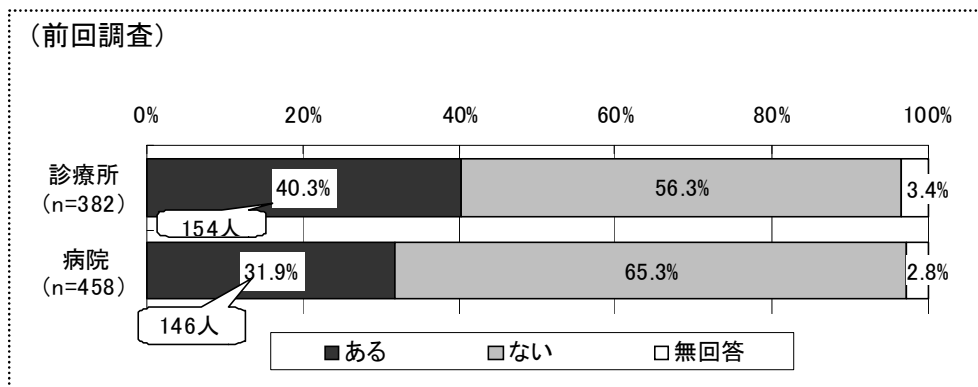
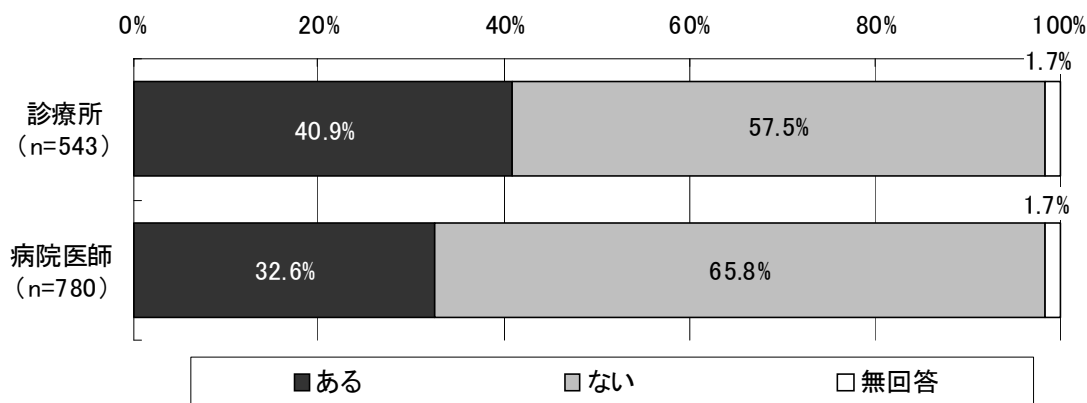
②外来診療における後発医薬品の処方の変化（1年前と比較して）

図表 99 外来診療における後発医薬品の処方の変化（1年前と比較して）（医師ベース）

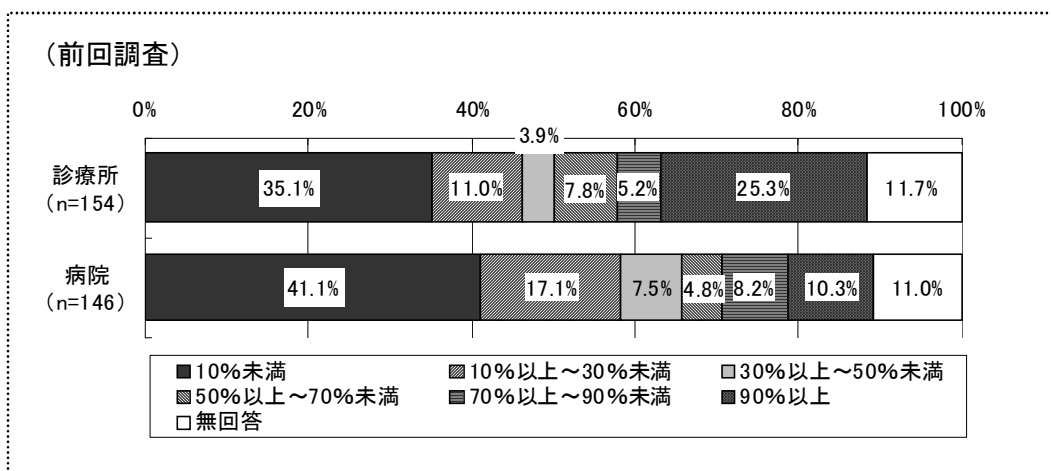
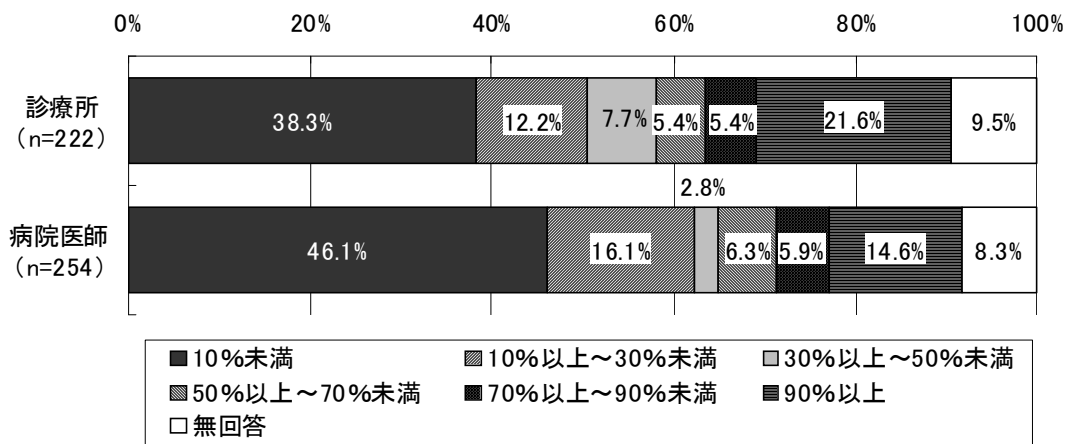


③後発医薬品への「変更不可」欄にチェックした処方せんの発行経験等（平成25年4月以降）

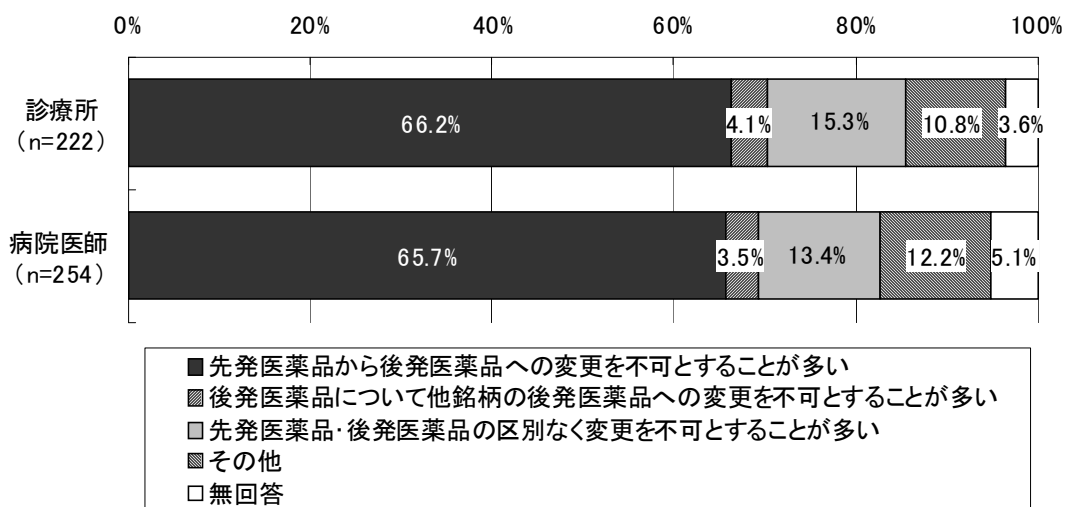
図表 100 後発医薬品への「変更不可」欄にチェックした処方せんの発行経験の有無（平成25年4月以降、医師ベース）



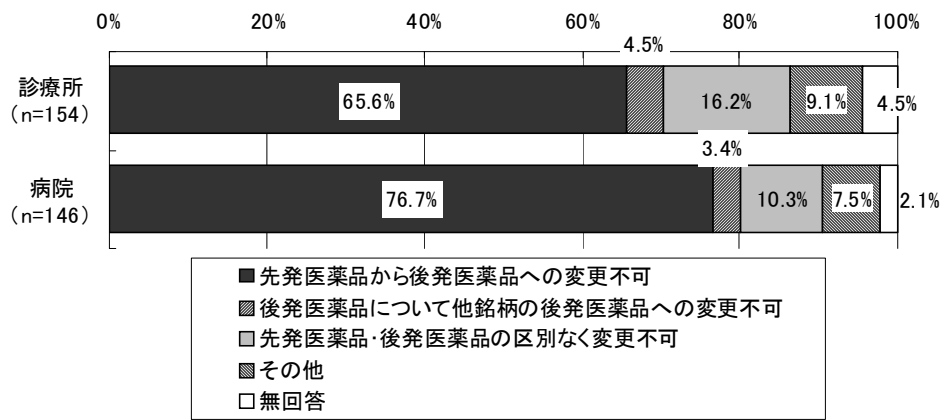
図表 101 院外処方せん枚数全体に占める、「変更不可」欄にチェックした処方せんの割合（医師ベース）



図表 102 一部の医薬品について「変更不可」とするケースとして最も多いもの（平成 25 年 4 月以降、医師ベース）



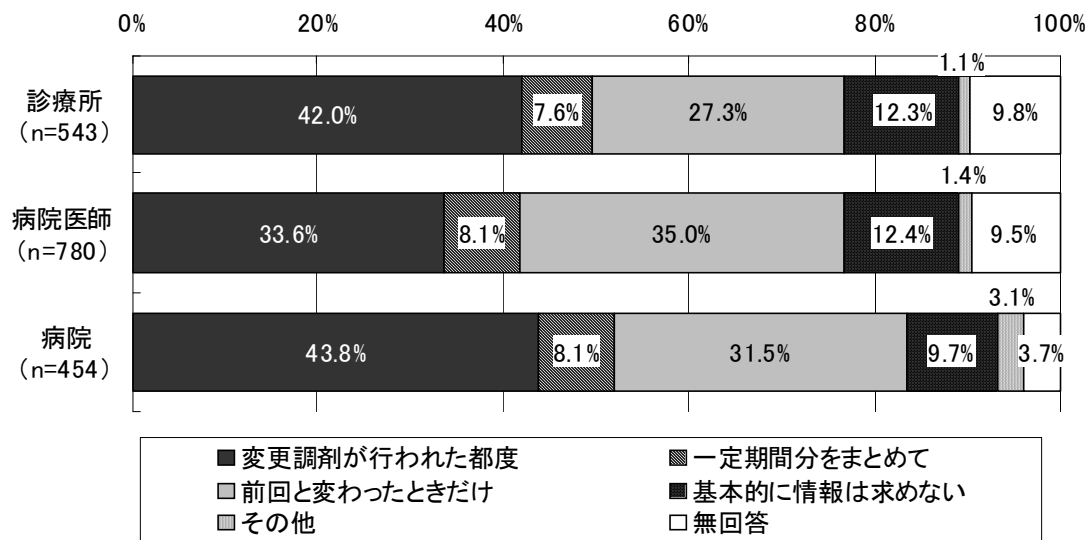
(前回調査)



(9) 保険薬局・患者との関係

①調剤時の保険薬局からの情報提供に関する意向

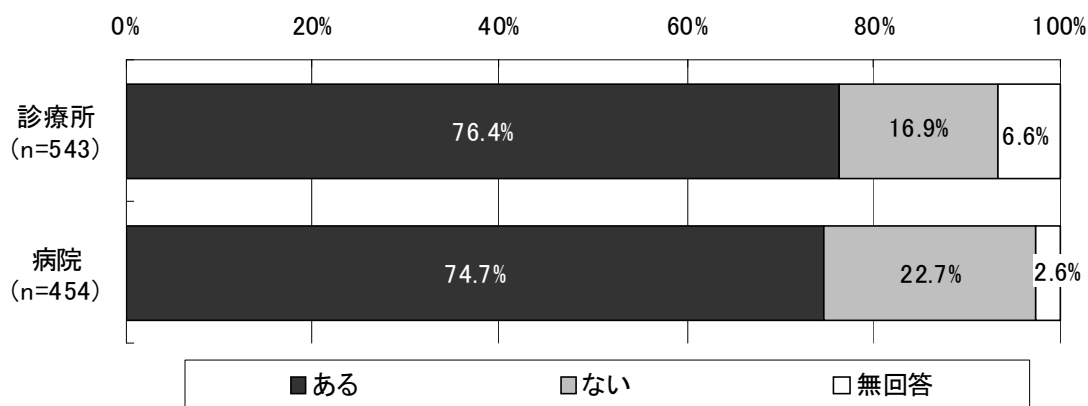
図表 103 保険薬局で調剤した医薬品に関する情報についての望ましい提供のタイミング



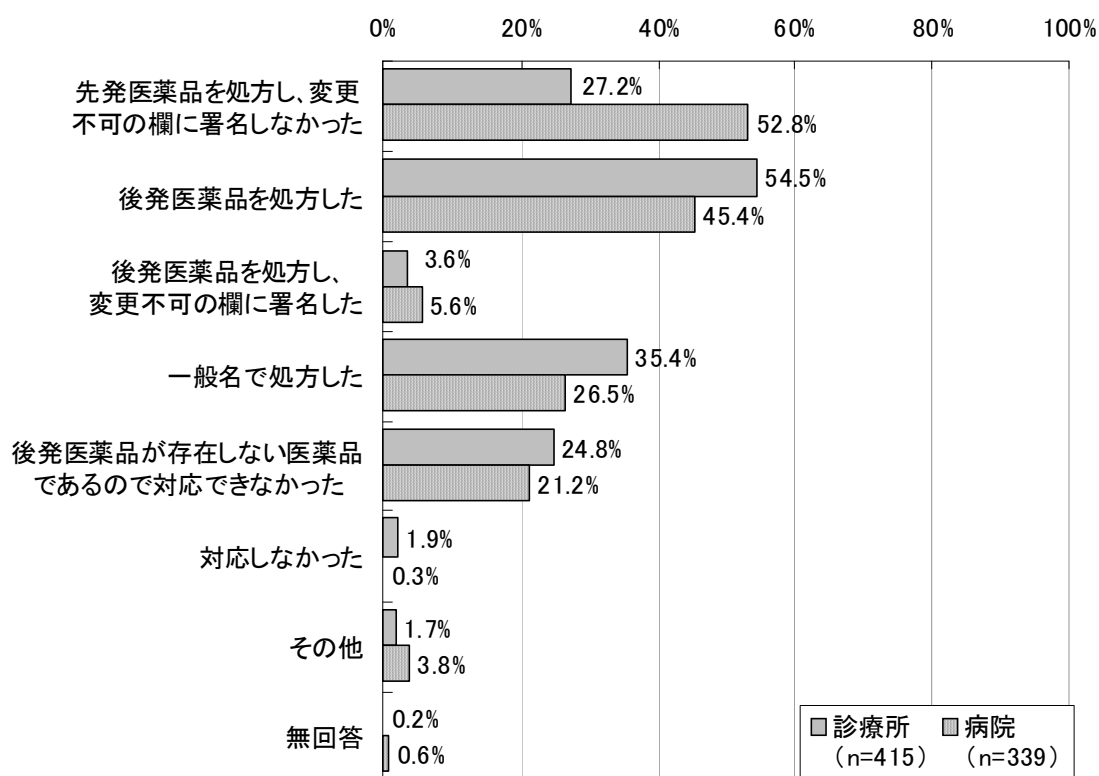
(注) 先発医薬品を後発医薬品に変更した場合や一般名処方について調剤した場合の望ましい情報提供のタイミング。

②患者から後発医薬品の処方を求められた経験の有無と対応

図表 104 患者から後発医薬品の処方を求められた経験の有無



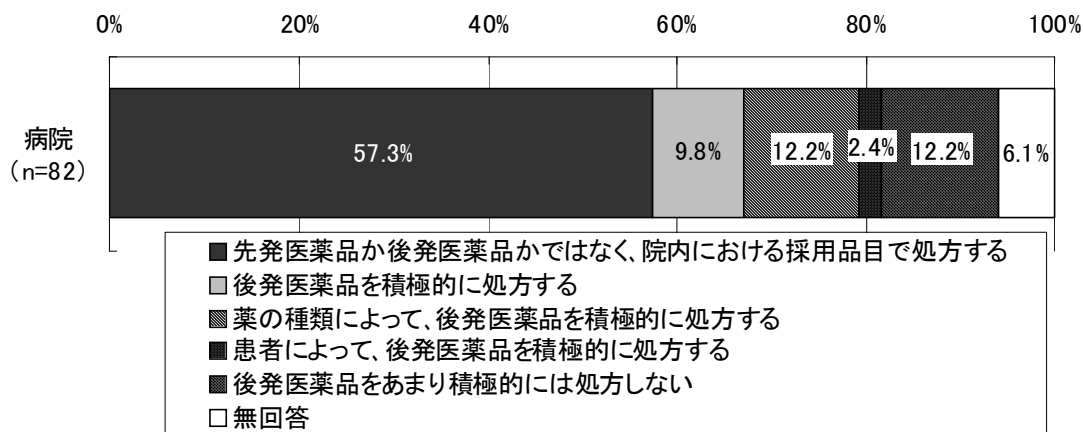
図表 105 患者から後発医薬品の処方を求められた時の対応
 (患者から後発医薬品の処方を求められたことがあると回答した施設、複数回答)



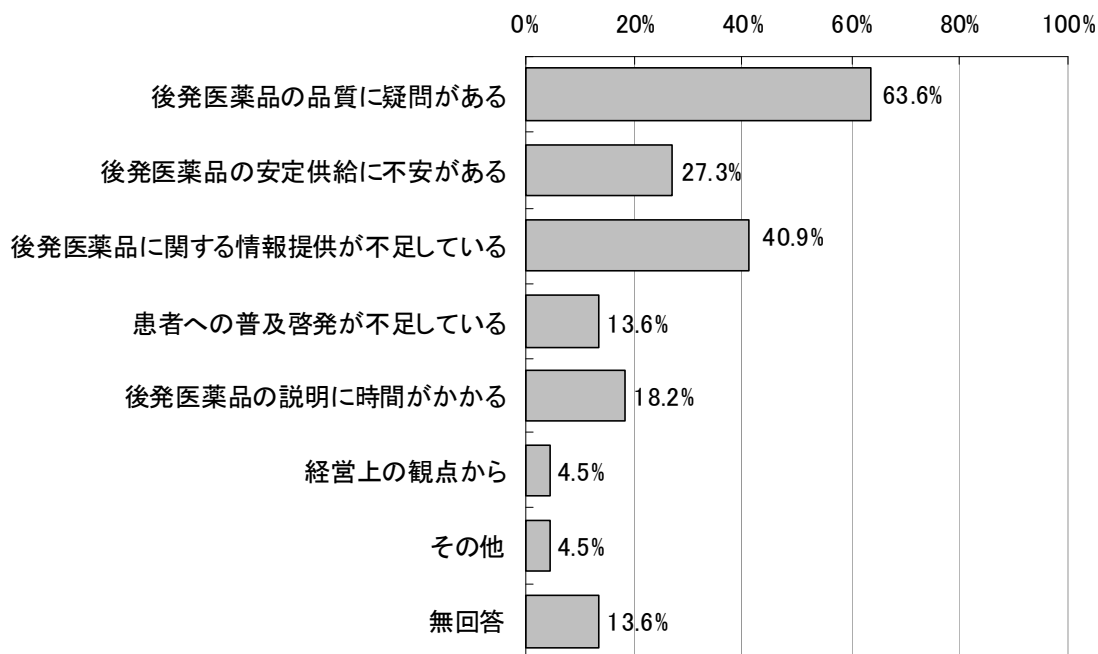
(10) 院外処方せんを発行していない施設における、外来患者に対する院内投薬の状況や後発医薬品の使用に関する考え

①院外処方せんを発行していない病院における、外来患者に院内投薬する際の後発医薬品の処方に関する考え

図表 106 院外処方せんを発行していない病院における、外来患者に院内投薬する際の後発医薬品の処方に関する考え

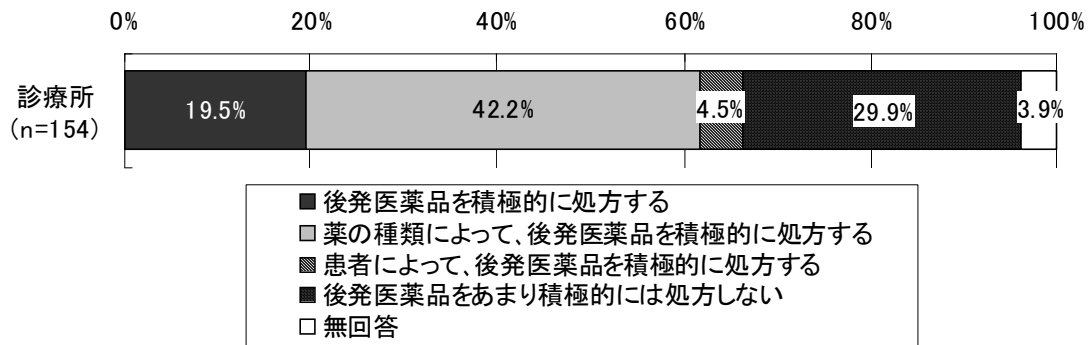


図表 107 院外処方せんを発行していない病院における、後発医薬品を積極的には処方しない理由（積極的には処方していない施設、n=22、複数回答）

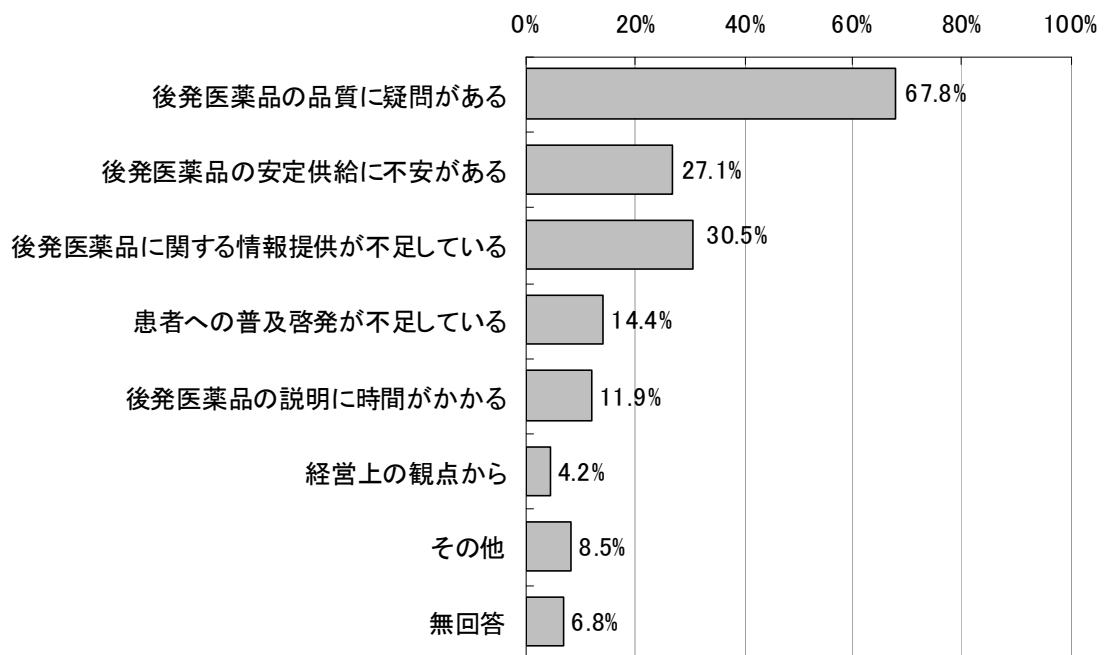


②院外処方せんを発行していない診療所における、外来患者に院内投薬する際の後発医薬品の処方に関する考え

図表 108 院外処方せんを発行していない診療所における
後発医薬品の処方に関する考え

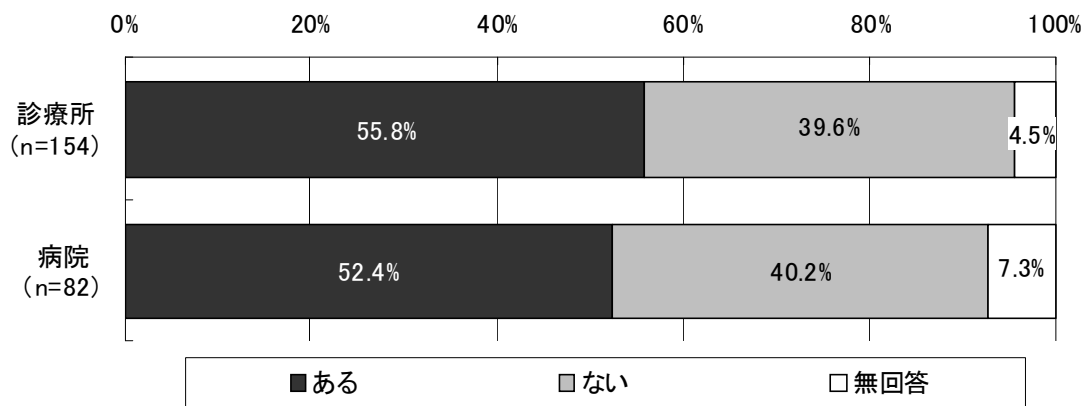


図表 109 後発医薬品を基本的には処方しない理由
(院外処方せんを発行していない施設、複数回答、n=118)

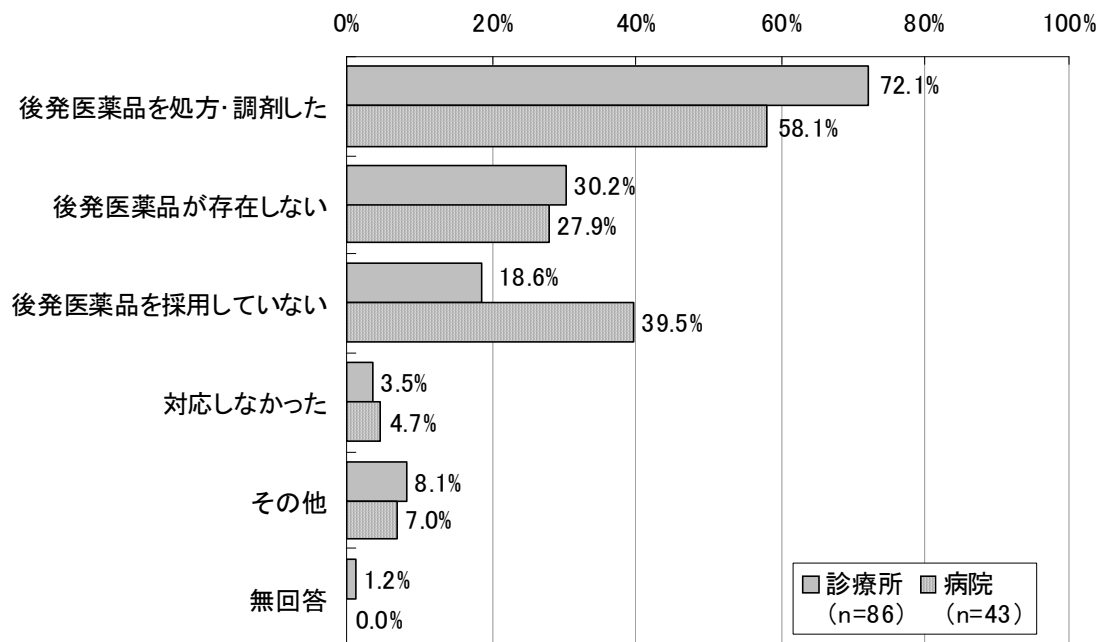


③院外処方せんを発行していない施設における、患者から後発医薬品の処方求められた経験の有無と対応

図表 110 患者から後発医薬品の処方を求められた経験の有無
(院外処方せんを発行していない施設)



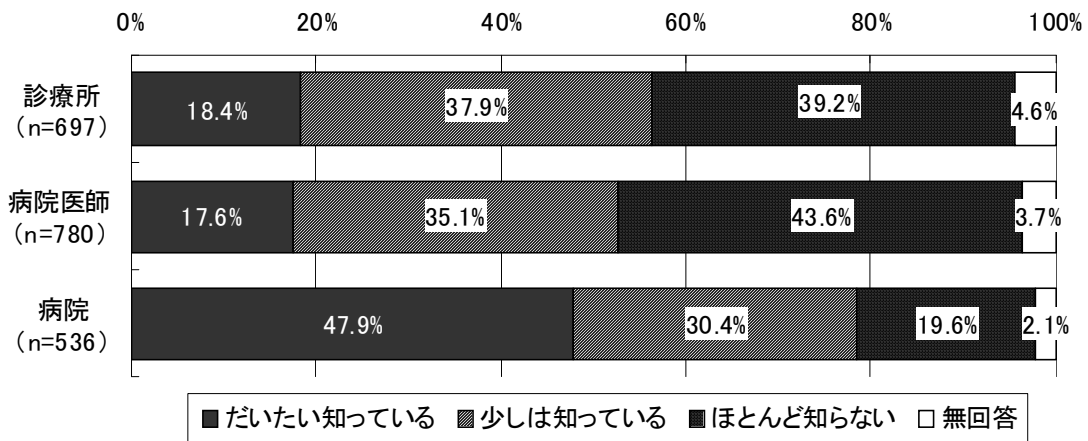
図表 111 患者から後発医薬品の処方を求められた時の対応
(患者から後発医薬品の処方を求められたことがあると回答した施設、複数回答)



(11) 医療機関・医師における後発医薬品使用に関する意識等

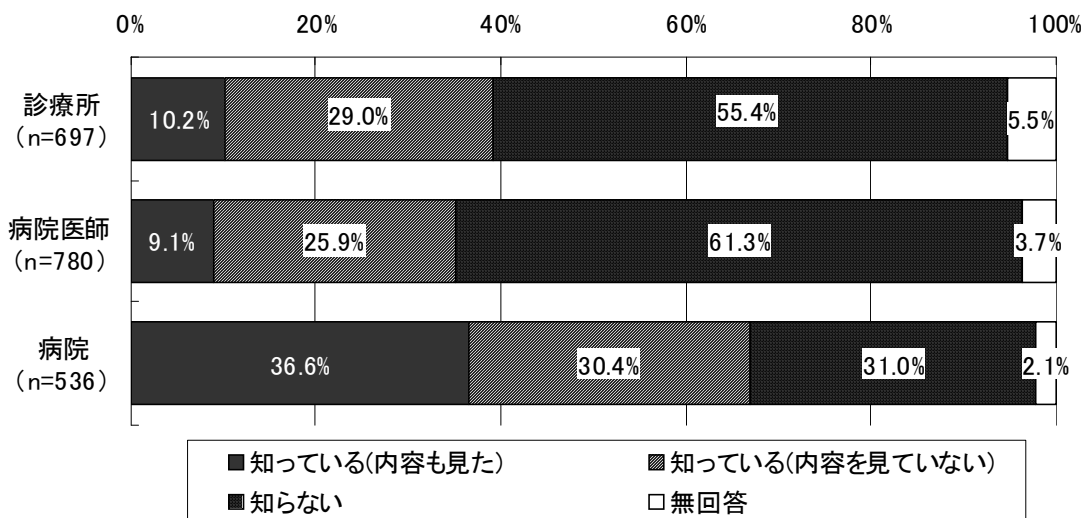
①医療機関・医師における、後発医薬品が薬事法に基づく厚生労働大臣の承認を得るために必要なデータの内容に関する認知状況

図表 112 医療機関・医師における、後発医薬品が薬事法に基づく厚生労働大臣の承認を得るために必要なデータの内容に関する認知状況



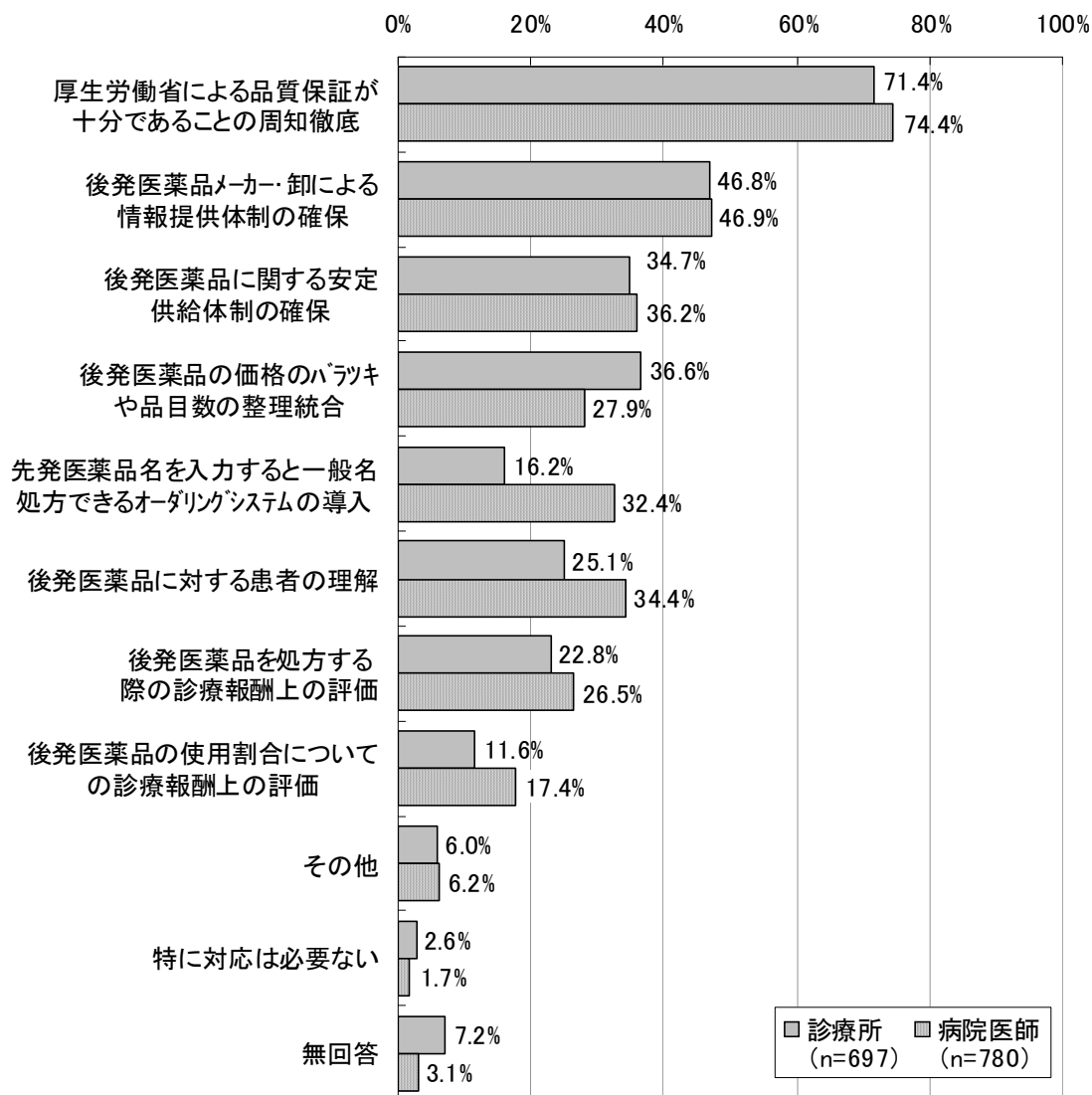
②医療機関・医師における、『ジェネリック医薬品への疑問に答えます～ジェネリック医薬品Q & A～』に関する認知状況

図表 113 医療機関・医師における、『ジェネリック医薬品への疑問に答えます～ジェネリック医薬品Q & A～』に関する認知状況

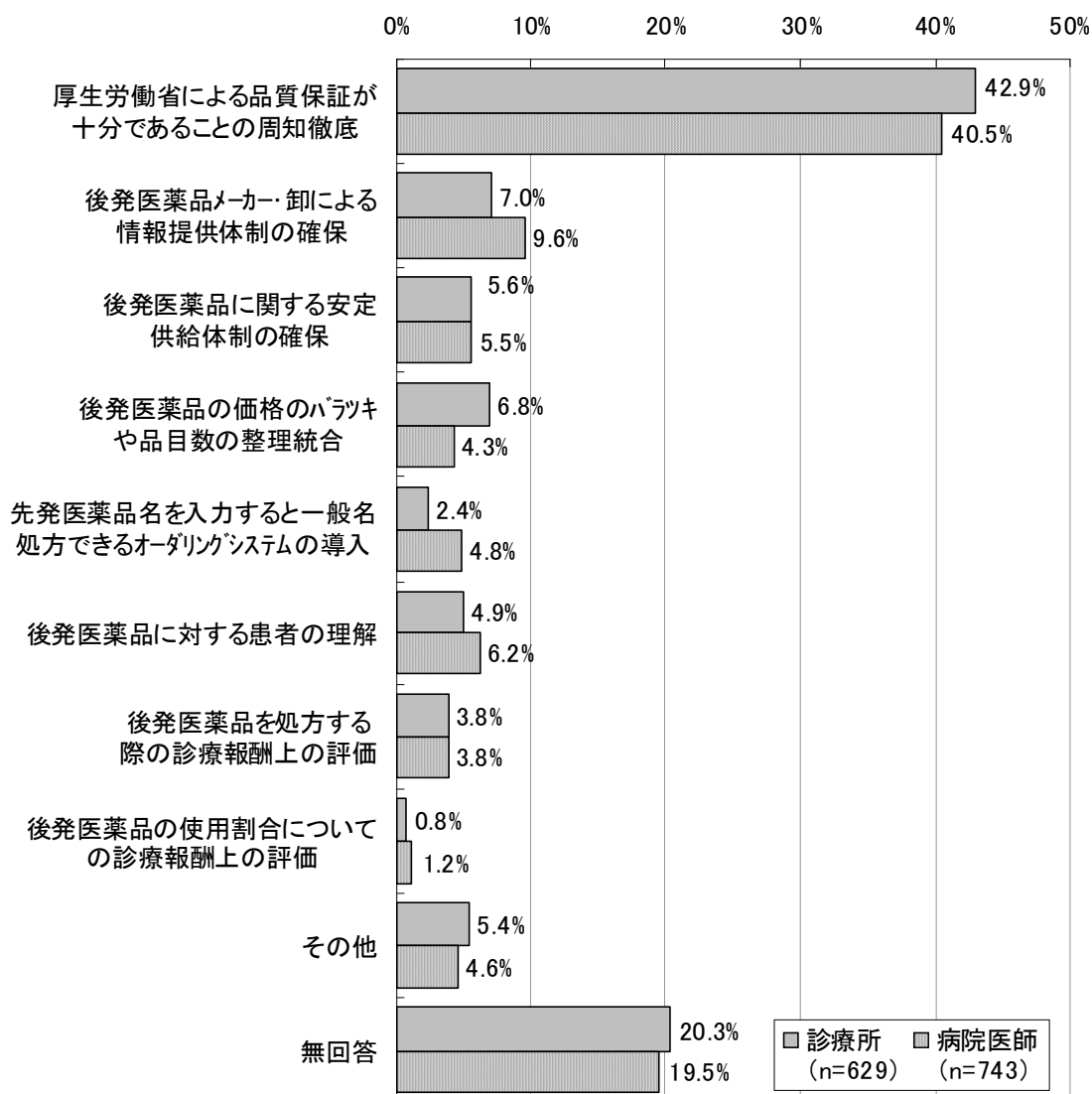


③後発医薬品の処方を進めるための環境

図表 114 どのような対応がなされれば、医師の立場として後発医薬品の処方を進めても良いか（医師ベース、複数回答）



図表 115 どのような対応がなされれば、医師の立場として後発医薬品の処方を進めても良いか（最も重要なもの、医師ベース、単数回答）



4. 患者調査の結果

【調査対象等】

調査対象：「保険薬局調査」の対象施設に調査日に処方せんを持って来局した患者。
ただし、1施設につき最大2名の患者を対象とした。

回答数：1,003人

回答者：患者本人または家族

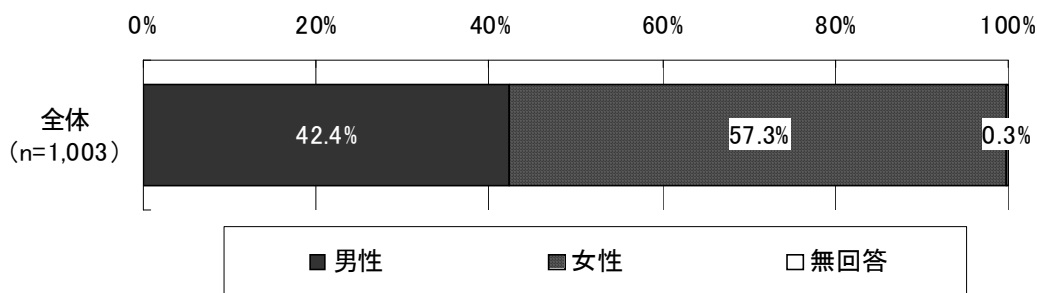
調査方法：調査対象薬局を通じて配布。回収は各患者から調査事務局宛の返信用封筒にて直接回収

(1) 患者の属性等

①患者の基本属性

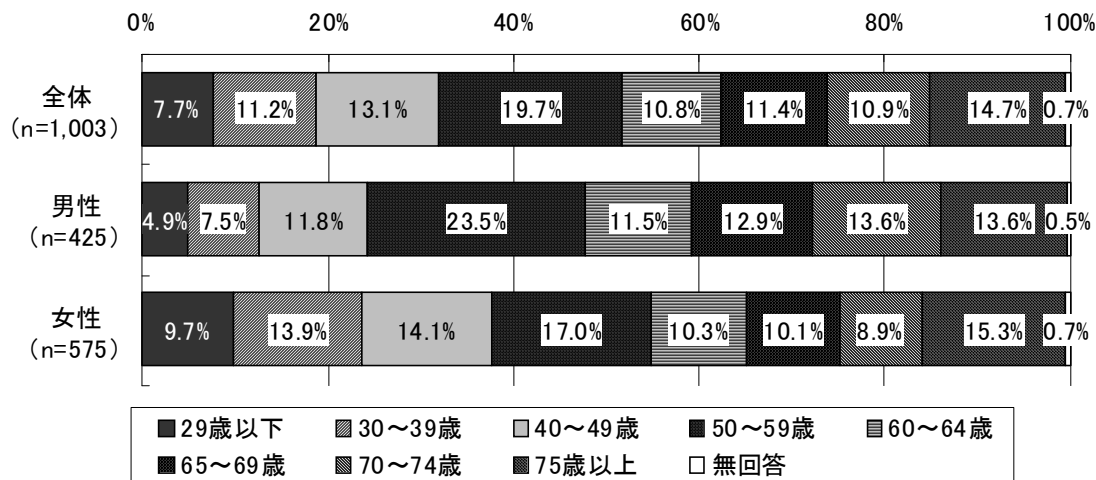
1) 性別

図表 116 性別



2) 年齢

図表 117 年齢分布 (男女別)



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

図表 118 平均年齢

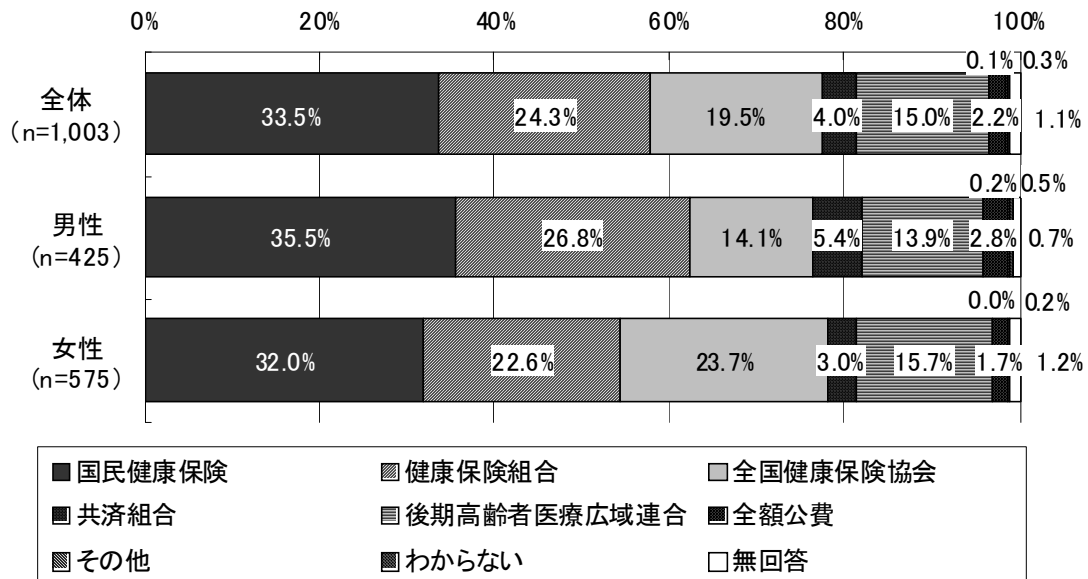
(単位：歳)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	996	56.3	17.6	59.0
男性	423	58.5	15.8	60.0
女性	571	54.6	18.7	57.0

(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

②公的医療保険の種類

図表 119 公的医療保険の種類（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

図表 120 公的医療保険の種類（年齢階級別）

（単位：上段「人」、下段「%」）

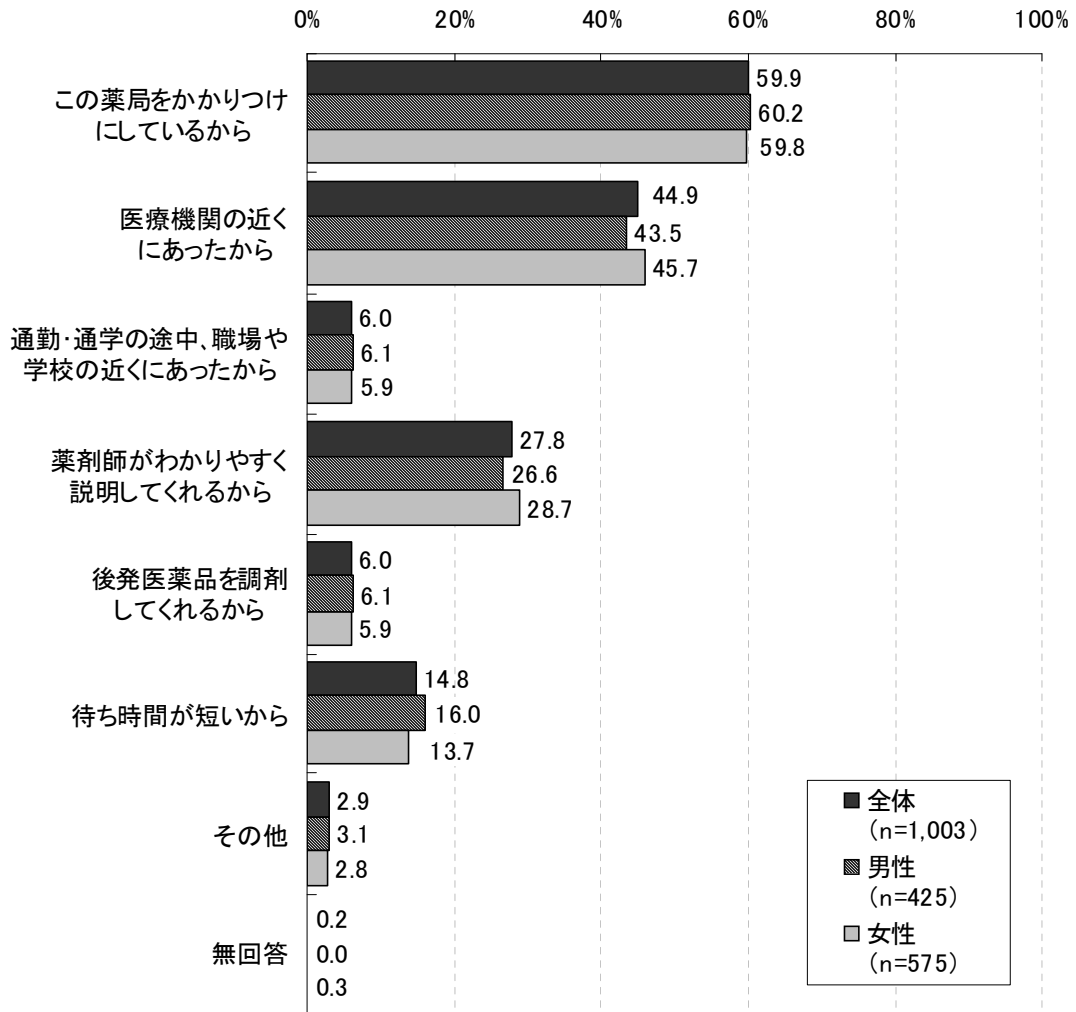
	総数	国民健康保険	健康保険組合	協会 全国健康保険	共済組合	後期高齢者 医療広域連合	全額公費	その他	わからない	無回答
全体	1,003 100.0	336 33.5	244 24.3	196 19.5	40 4.0	150 15.0	22 2.2	1 0.1	3 0.3	11 1.1
29歳以下	77 100.0	11 14.3	18 23.4	34 44.2	7 9.1	0 0.0	6 7.8	0 0.0	1 1.3	0 0.0
30～39歳	112 100.0	20 17.9	37 33.0	45 40.2	5 4.5	0 0.0	1 0.9	0 0.0	1 0.9	3 2.7
40～49歳	131 100.0	28 21.4	56 42.7	35 26.7	7 5.3	0 0.0	4 3.1	0 0.0	1 0.8	0 0.0
50～59歳	198 100.0	46 23.2	85 42.9	43 21.7	16 8.1	0 0.0	6 3.0	0 0.0	0 0.0	2 1.0
60～64歳	108 100.0	60 55.6	23 21.3	21 19.4	2 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.9
65～69歳	114 100.0	82 71.9	15 13.2	10 8.8	1 0.9	1 0.9	2 1.8	1 0.9	0 0.0	2 1.8
70～74歳	109 100.0	87 79.8	7 6.4	8 7.3	1 0.9	4 3.7	1 0.9	0 0.0	0 0.0	1 0.9
75歳以上	147 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	145 98.6	2 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0

（注）「全体」には、「年齢」について無回答の7人が含まれる。

(2) 調査日における受診・調剤状況等

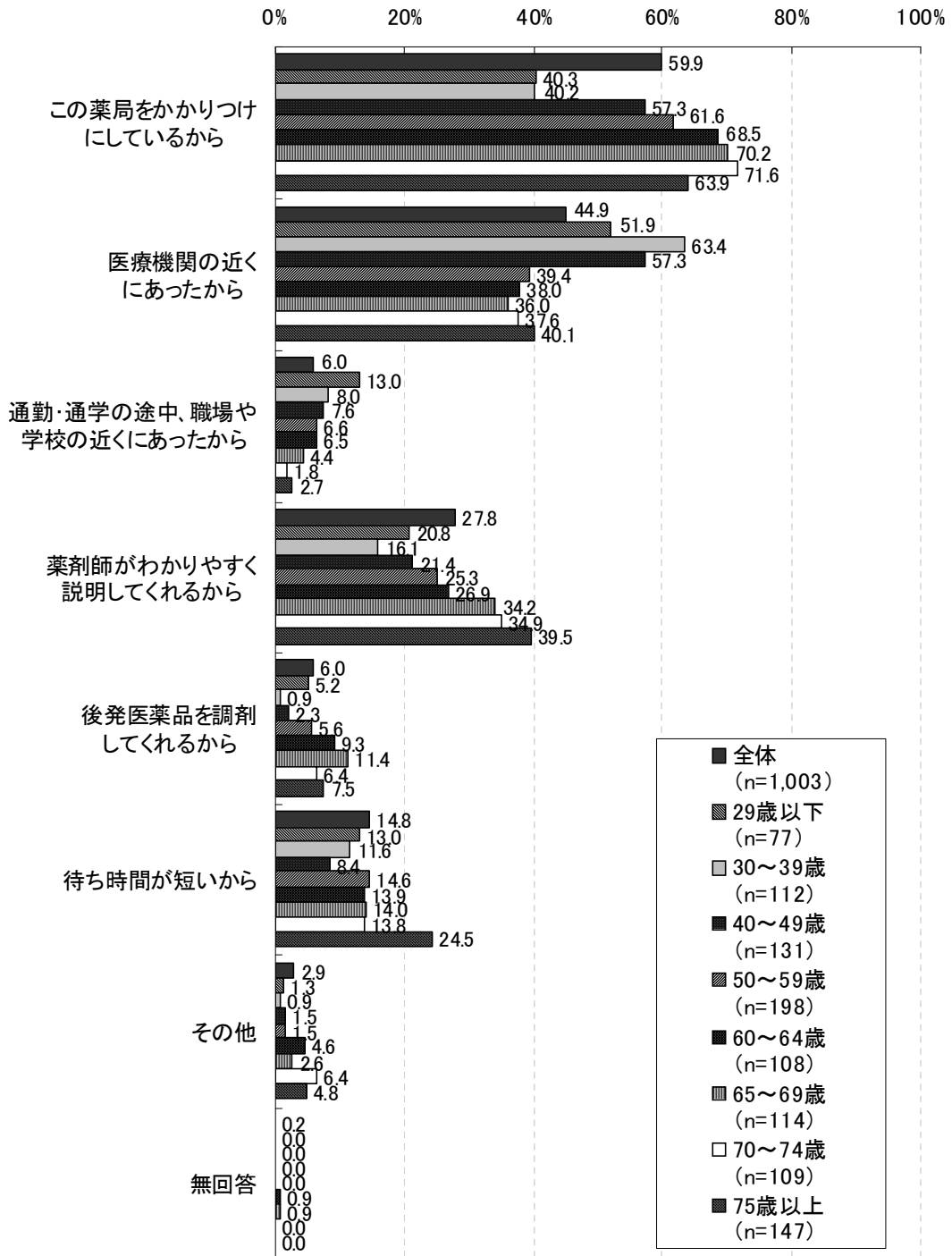
① 薬局を選んだ理由

図表 121 薬局を選んだ理由（男女別、複数回答）



(注) 「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

図表 122 薬局を選んだ理由（年齢階級別、複数回答）



(注) 「全体」には、「年齢」について無回答の7人が含まれる。

②処方状況等

1) 薬局窓口での自己負担額

図表 123 薬局窓口での自己負担額（男女別）

(単位：円)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	964	2,286.0	2,735.4	1,460.0
男性	407	2,542.8	2,727.5	1,640.0
女性	555	2,096.9	2,732.9	1,280.0

(注)・「全体」には、「性別」について無回答の2人が含まれる。
 ・自己負担額について記入のあったものを集計対象とした。

図表 124 薬局窓口での自己負担額（年齢階級別）

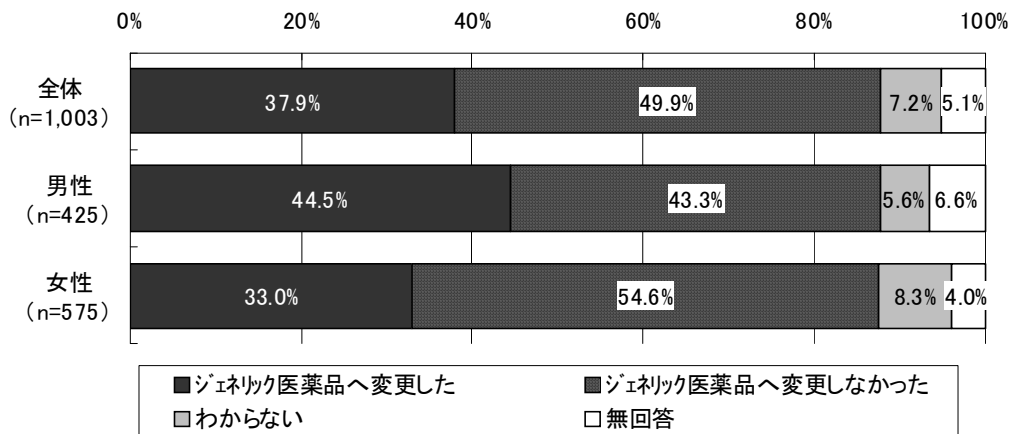
(単位：円)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	964	2,286.0	2,735.4	1,460.0
29歳以下	76	1,020.5	1,344.9	740.0
30～39歳	107	1,833.3	3,247.2	1,090.0
40～49歳	125	2,200.7	3,284.0	1,200.0
50～59歳	194	2,788.0	2,465.5	2,120.0
60～64歳	102	3,208.4	2,738.3	2,085.0
65～69歳	111	3,557.8	3,420.0	2,540.0
70～74歳	103	1,677.0	2,129.9	1,140.0
75歳以上	142	1,474.6	1,511.4	1,070.0

(注)「全体」には、「年齢」について無回答の4人が含まれる。

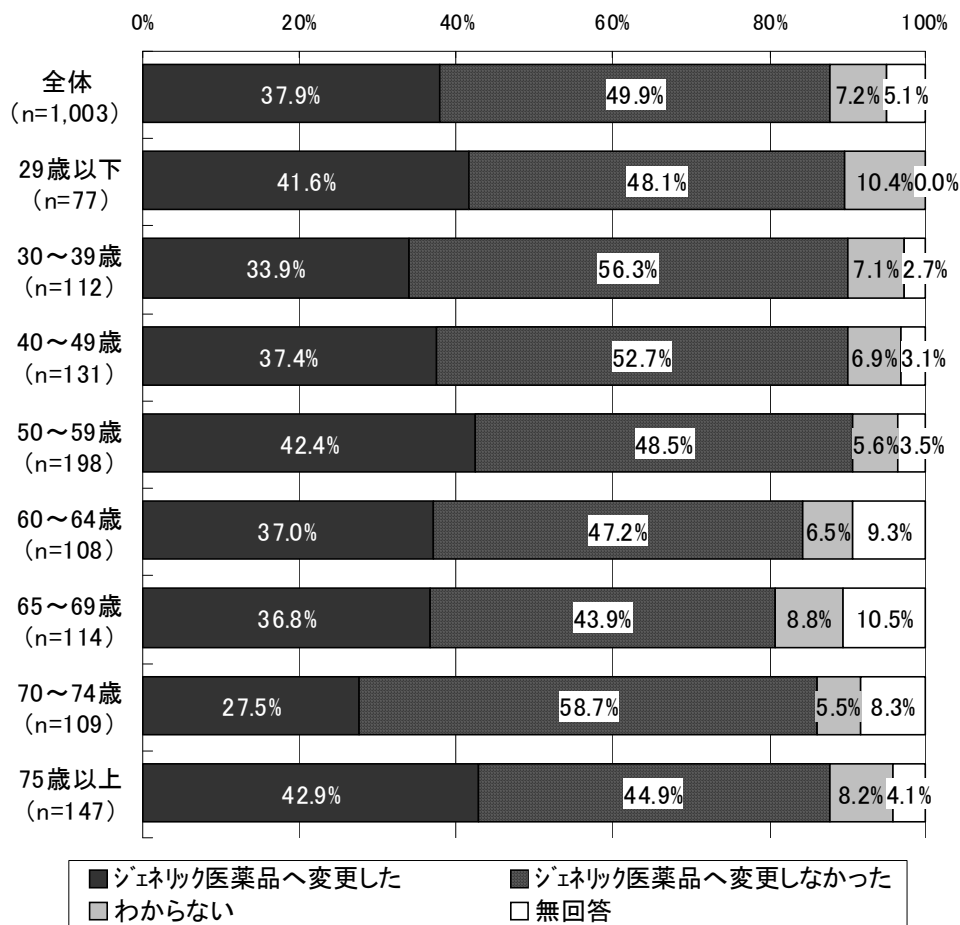
2) 薬局における、先発医薬品からジェネリック医薬品への変更の有無

図表 125 薬局における、先発医薬品からジェネリック医薬品への変更の有無（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

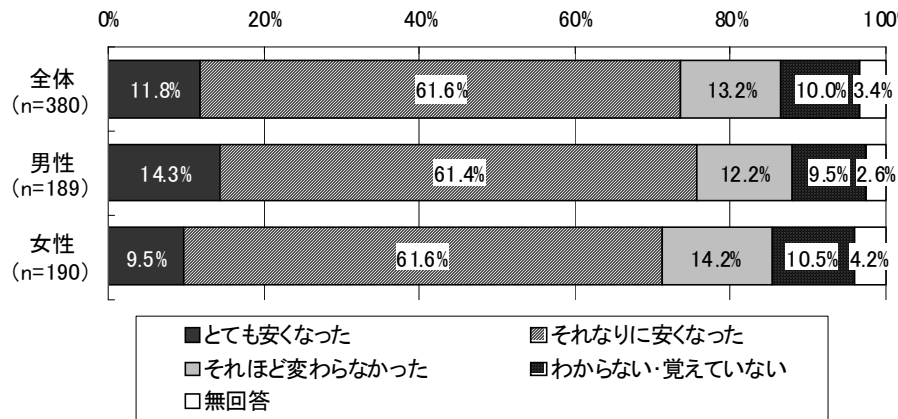
図表 126 薬局における、先発医薬品からジェネリック医薬品への変更の有無（年齢階級別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の7人が含まれる。

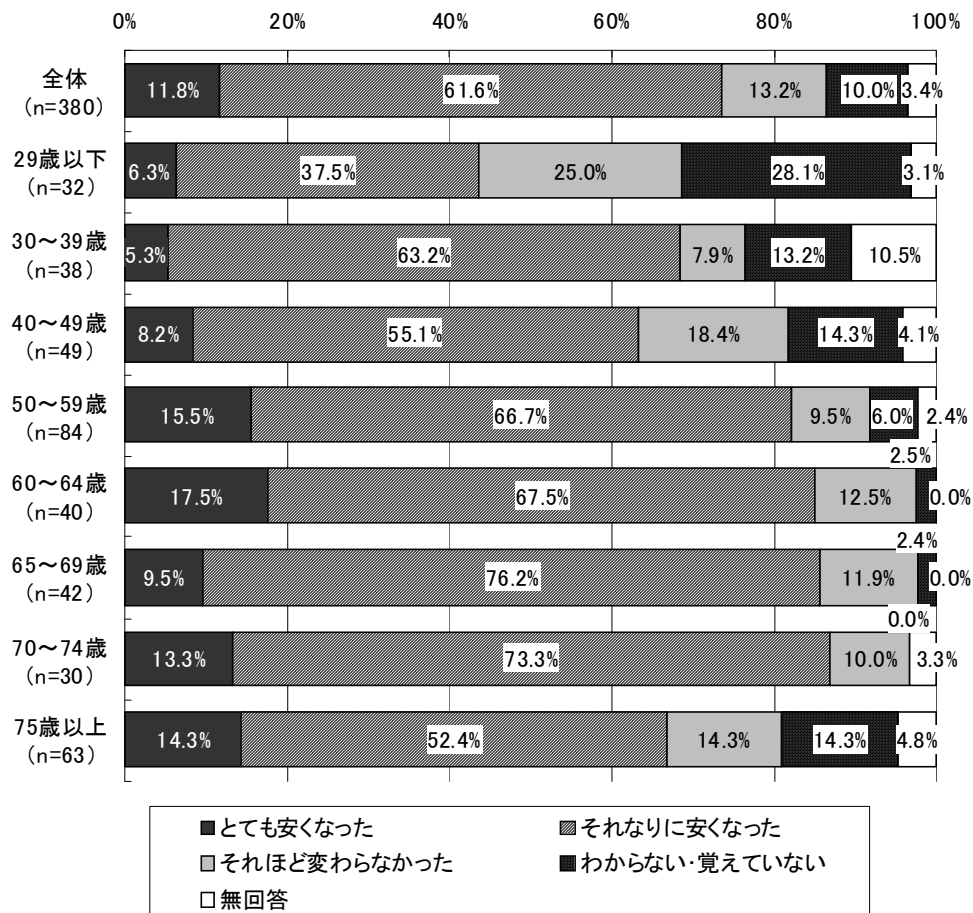
3) ジェネリック医薬品への変更による薬局窓口での薬代の負担感

図表 127 ジェネリック医薬品への変更による薬局窓口での薬代の負担感
(変更した人、男女別)



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

図表 128 ジェネリック医薬品への変更による薬局窓口での薬代の負担感
(変更した人、年齢階級別)

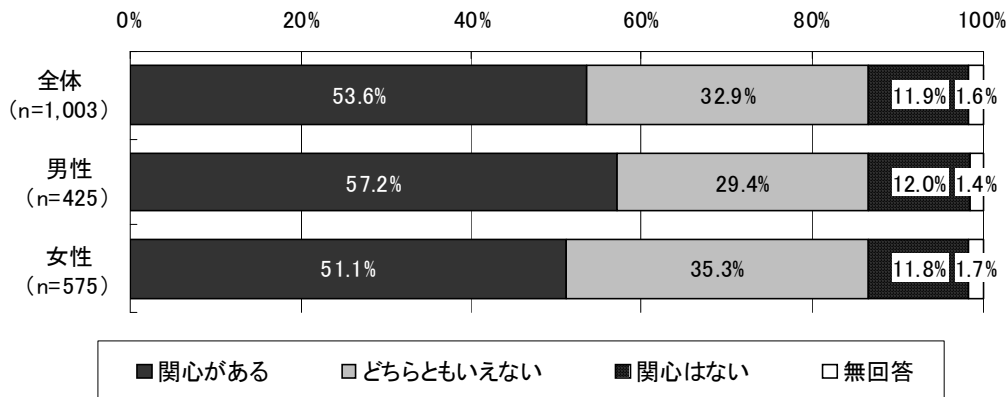


(注)「全体」には、「年齢」について無回答の7人が含まれる。

(3) ジェネリック使用に関する経験等

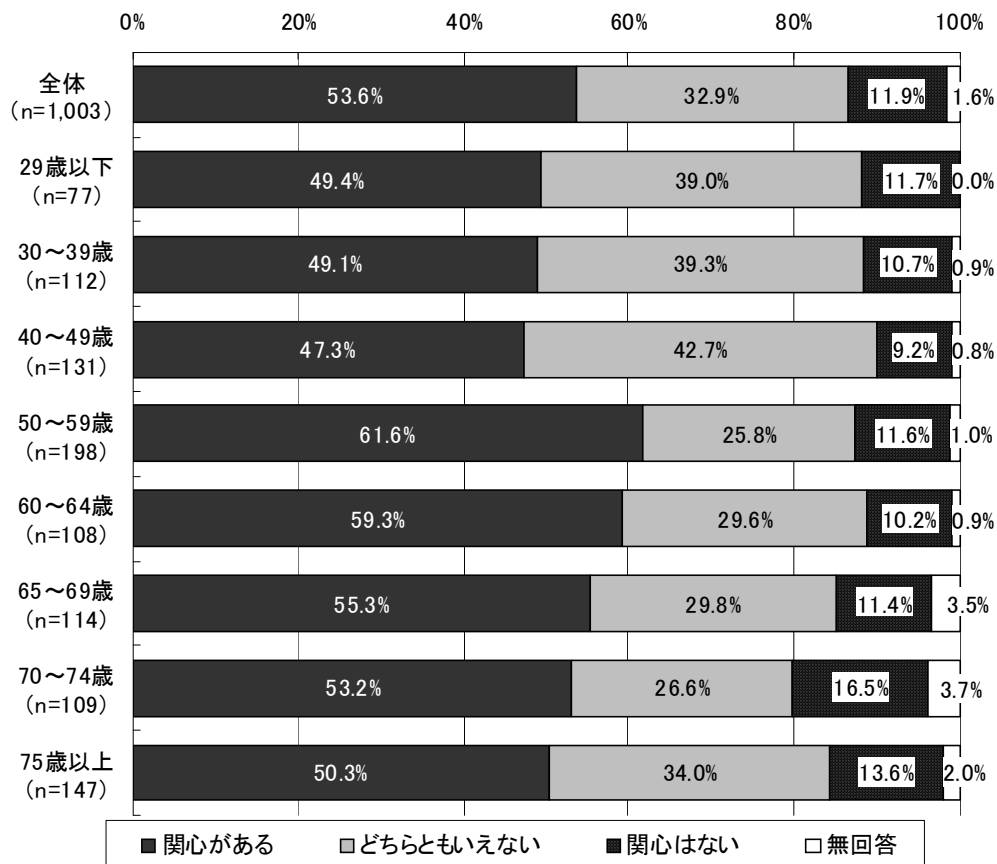
①ジェネリック医薬品に対する関心の有無

図表 129 ジェネリック医薬品に対する関心の有無（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

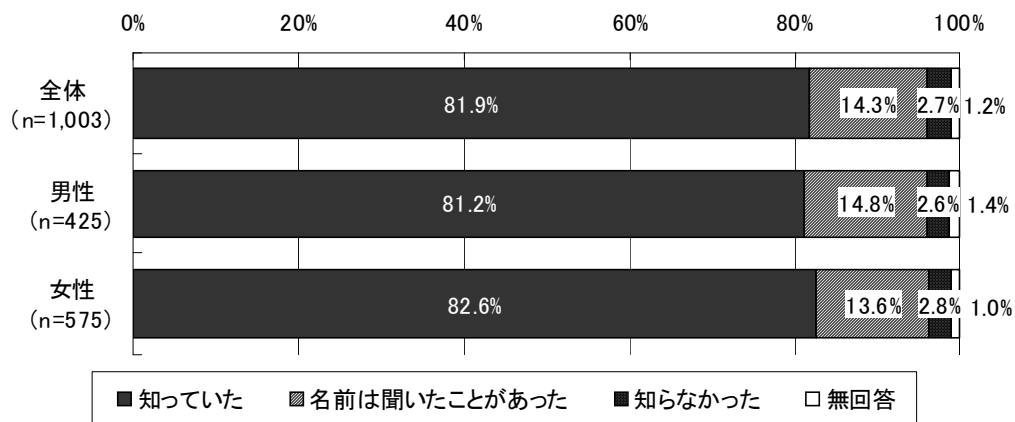
図表 130 ジェネリック医薬品に対する関心の有無（年齢階級別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の7人が含まれる。

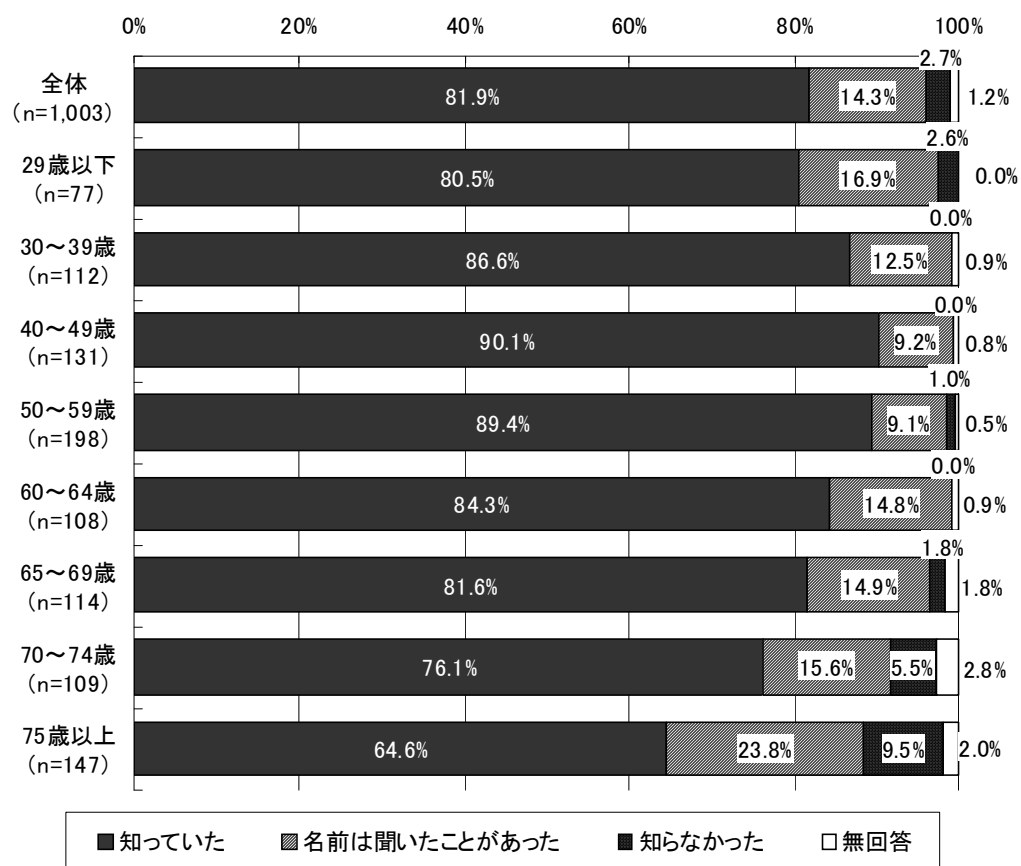
②ジェネリック医薬品に対する認知度

図表 131 ジェネリック医薬品に対する認知度（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

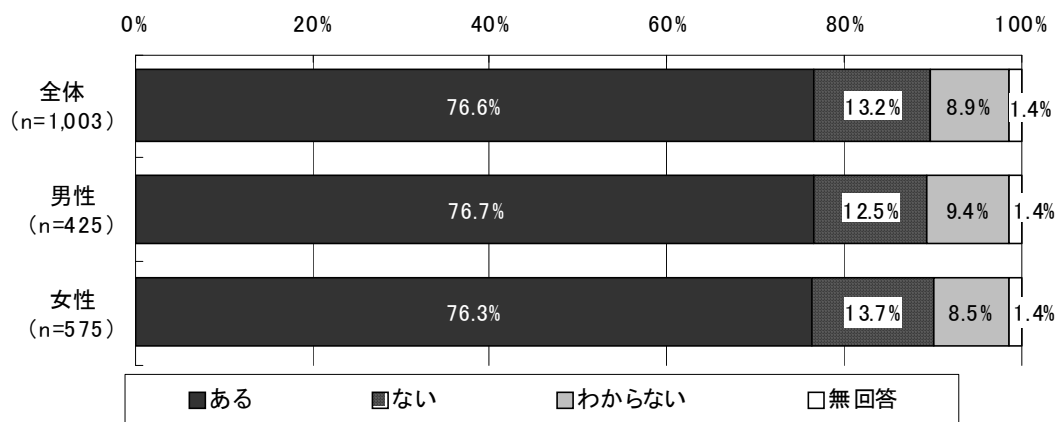
図表 132 ジェネリック医薬品に対する認知度（年齢階級別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の7人が含まれる。

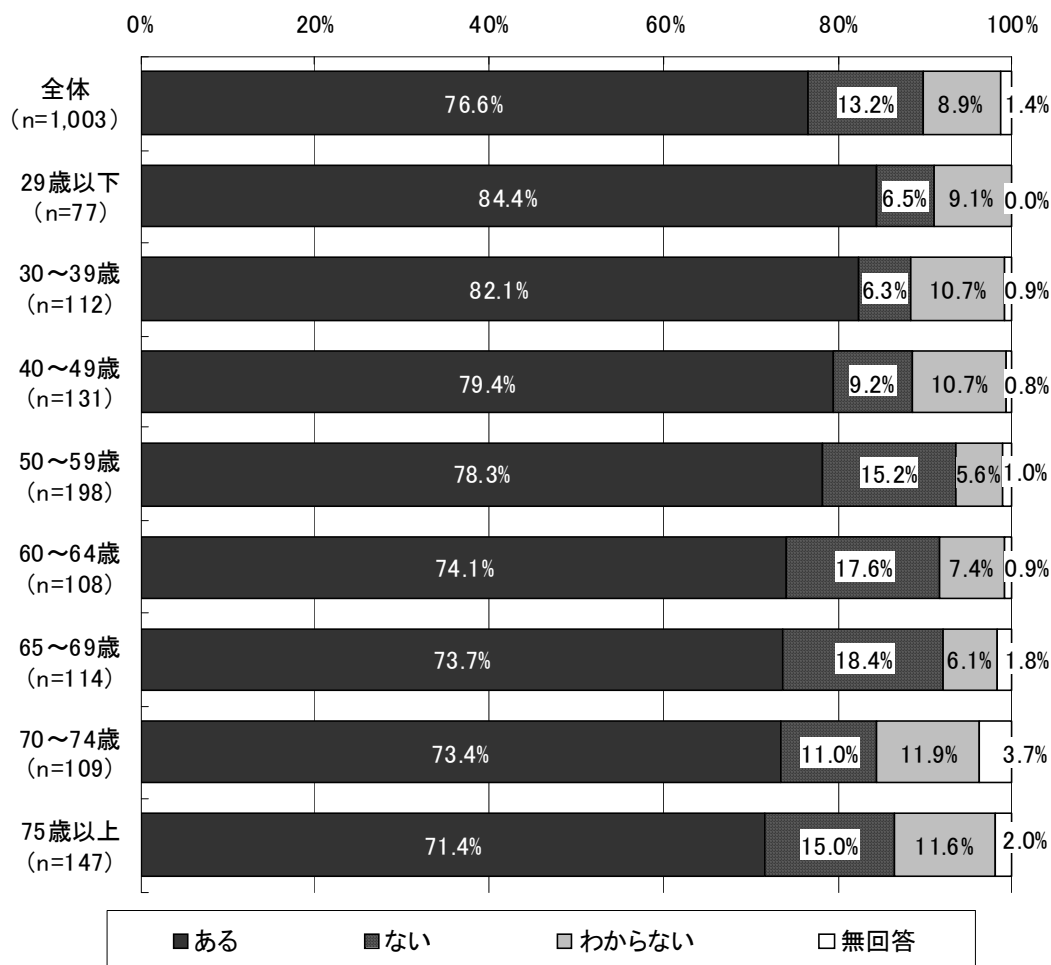
③ジェネリック医薬品の使用経験の有無

図表 133 ジェネリック医薬品の使用経験の有無（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

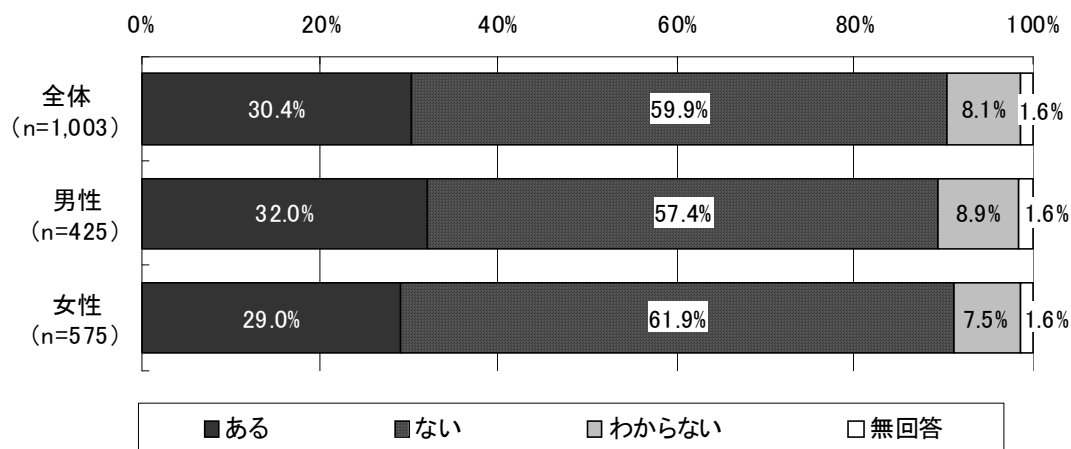
図表 134 ジェネリック医薬品の使用経験の有無（年齢階級別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の7人が含まれる。

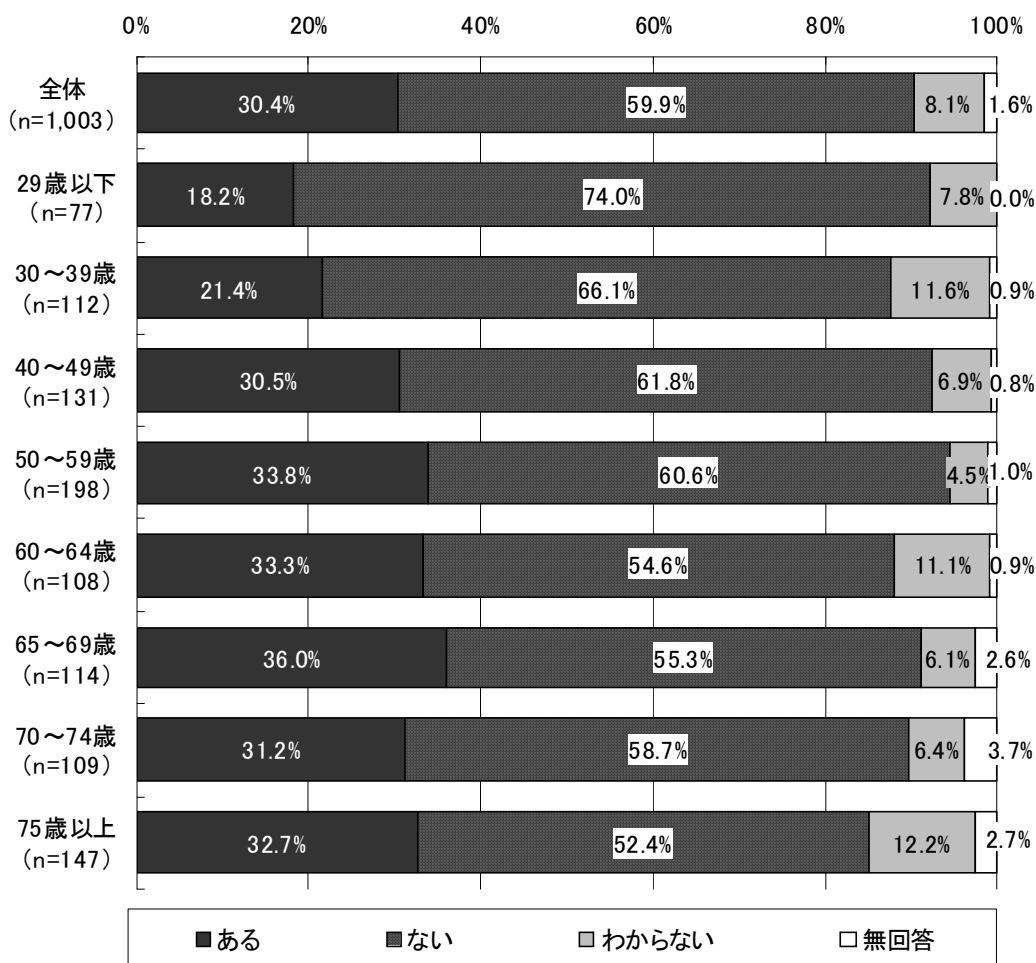
④ジェネリック医薬品について医師から説明を受けた経験の有無

図表 135 ジェネリック医薬品について医師から説明を受けた経験の有無（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

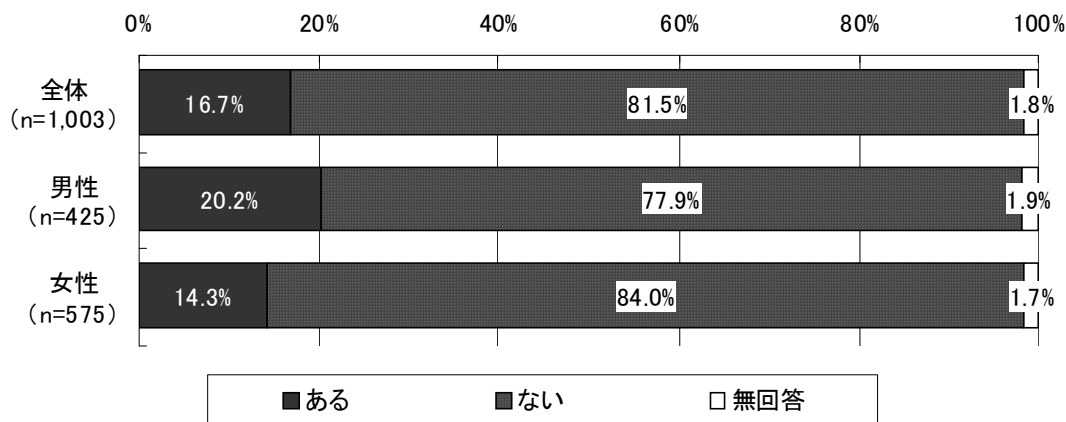
図表 136 ジェネリック医薬品について医師から説明を受けた経験の有無（年齢階級別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の7人が含まれる。

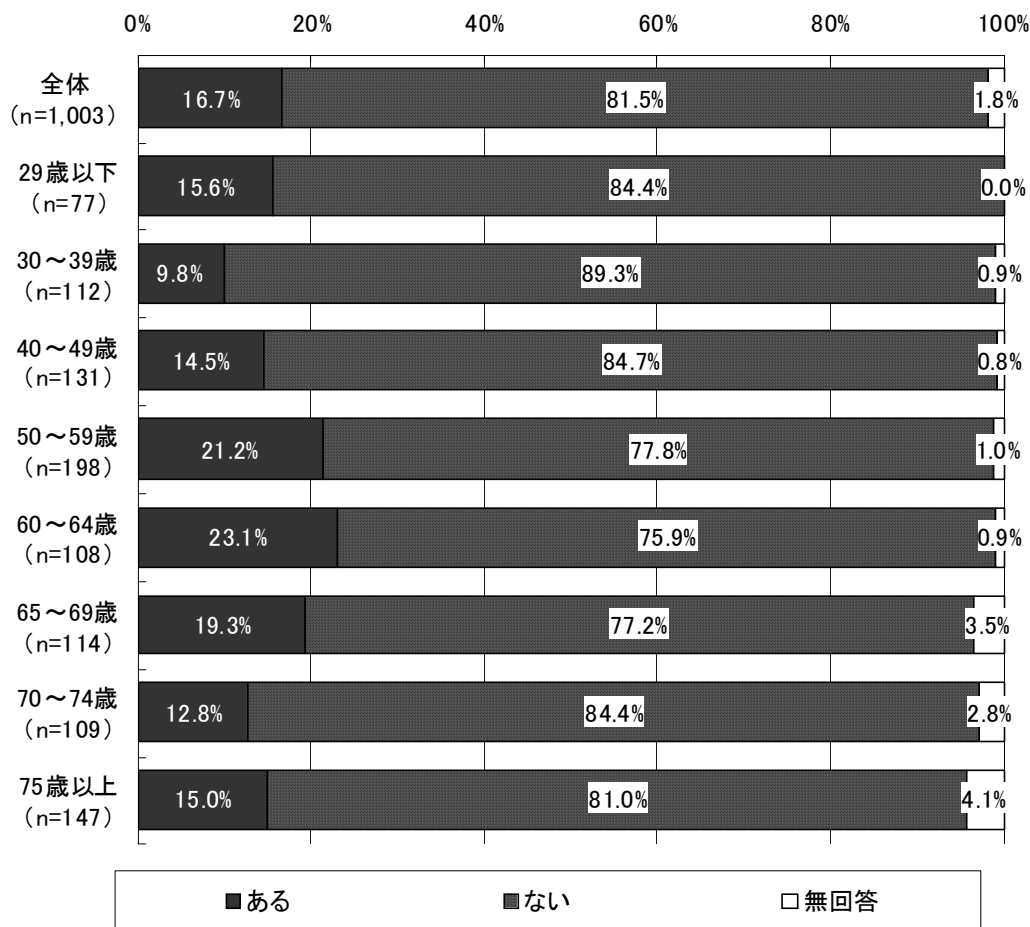
⑤ジェネリック医薬品の処方を医師に頼んだ経験の有無

図表 137 ジェネリック医薬品の処方を医師に頼んだ経験の有無（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

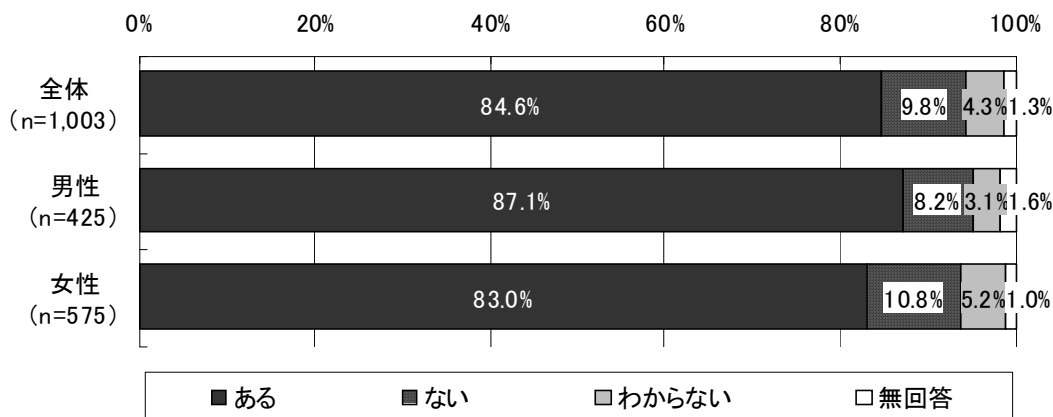
図表 138 ジェネリック医薬品の処方を医師に頼んだ経験の有無（年齢階級別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の7人が含まれる。

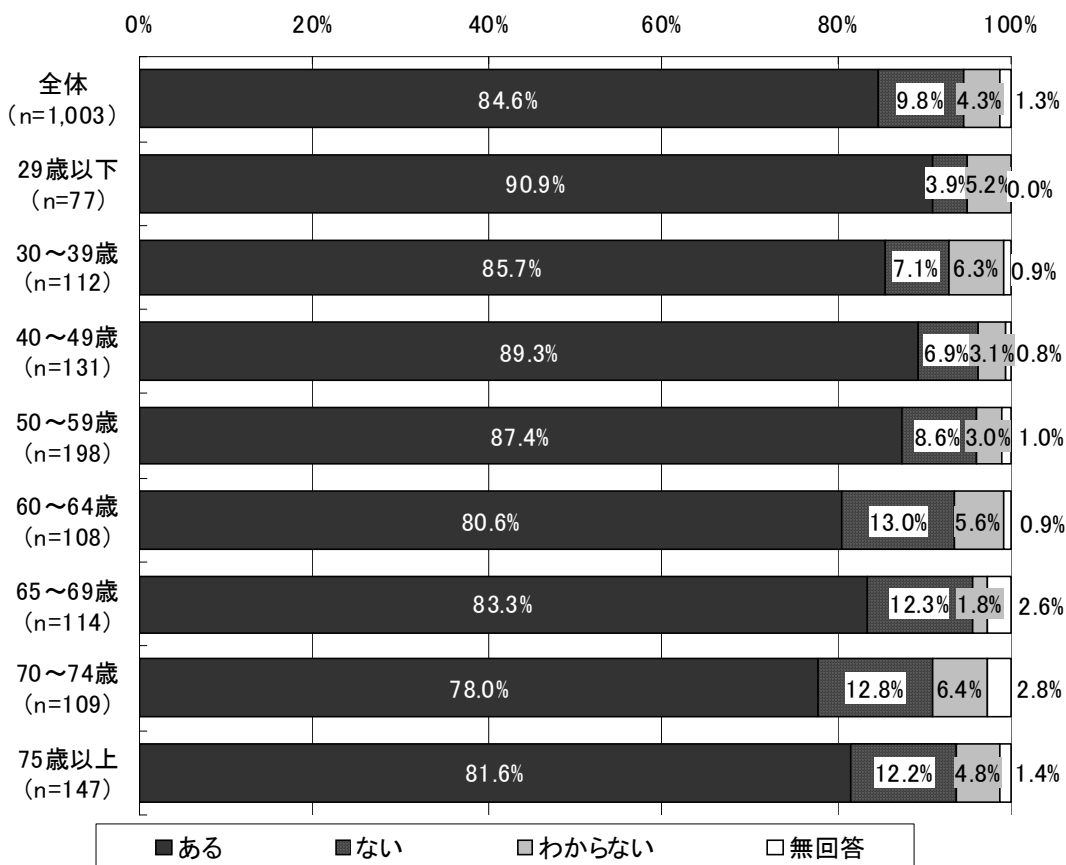
⑥ジェネリック医薬品について薬剤師から説明を受けた経験の有無

図表 139 ジェネリック医薬品について薬剤師から説明を受けた経験の有無（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

図表 140 ジェネリック医薬品について薬剤師から説明を受けた経験の有無（年齢階級別）

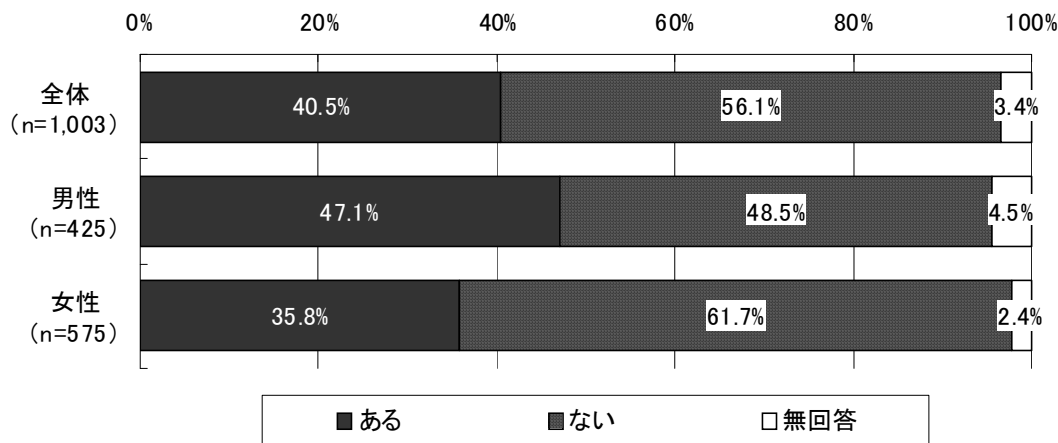


(注)「全体」には、「年齢」について無回答の7人が含まれる。

⑦ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだ経験等

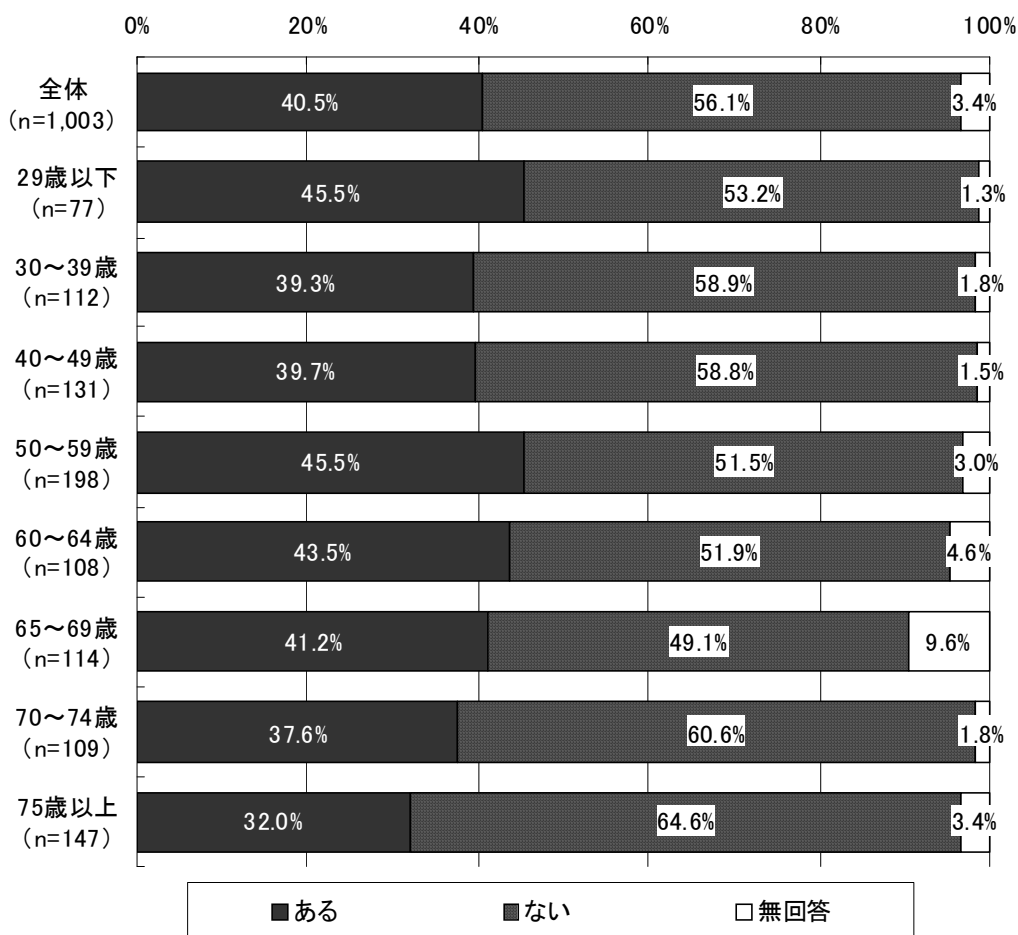
1) ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだ経験の有無

図表 141 ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだ経験の有無（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

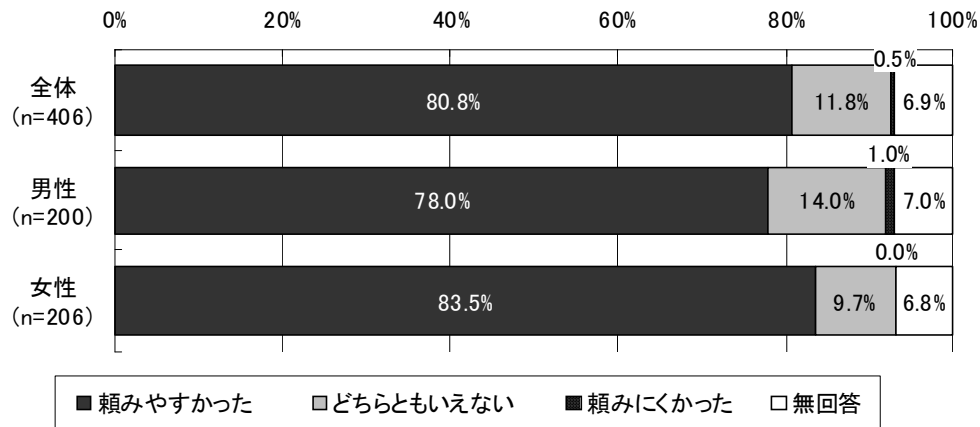
図表 142 ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだ経験の有無（年齢階級別）



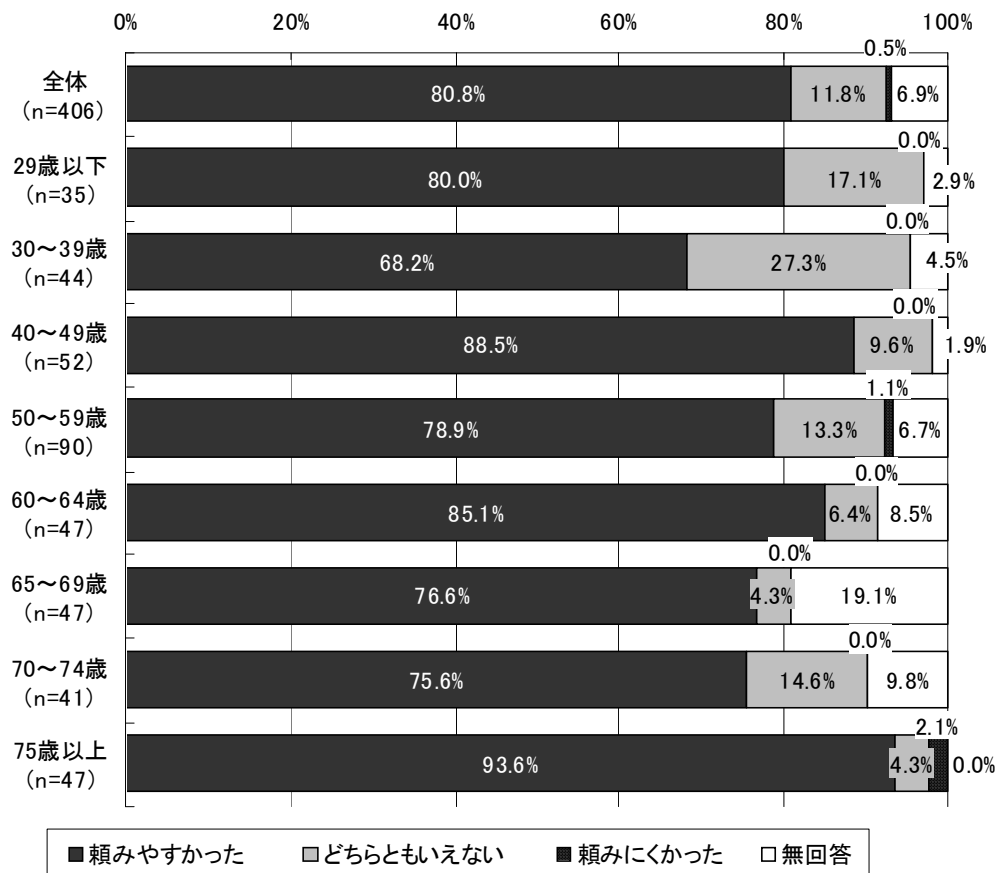
(注)「全体」には、「年齢」について無回答の7人が含まれる。

2) ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだ時の頼みやすさ

図表 143 ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだ時の頼みやすさ
(頼んだ経験のある人、男女別)



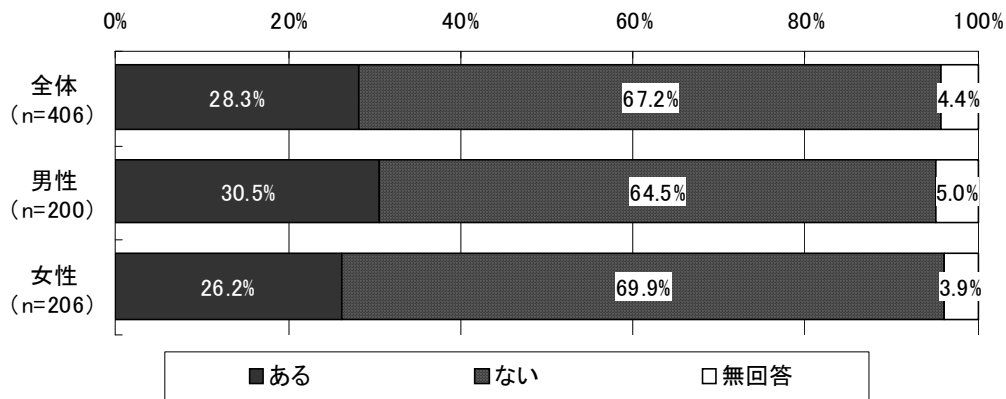
図表 144 ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだ時の頼みやすさ
(頼んだ経験のある人、男女別)



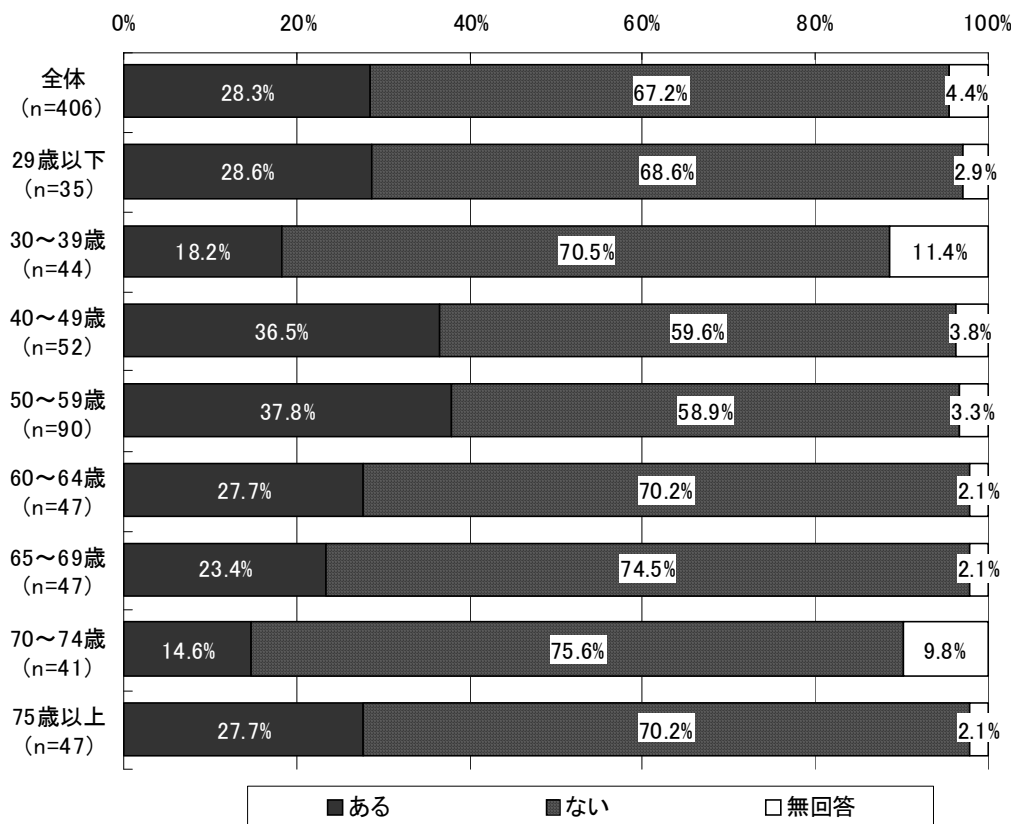
(注)「全体」には、「年齢」について無回答の3人が含まれる。

3) ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだが調剤してもらえなかった経験の有無
 (平成 25 年 4 月以降)

図表 145 ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだが調剤してもらえなかった経験の有無
 (平成 25 年 4 月以降) (頼んだ経験のある人、男女別)



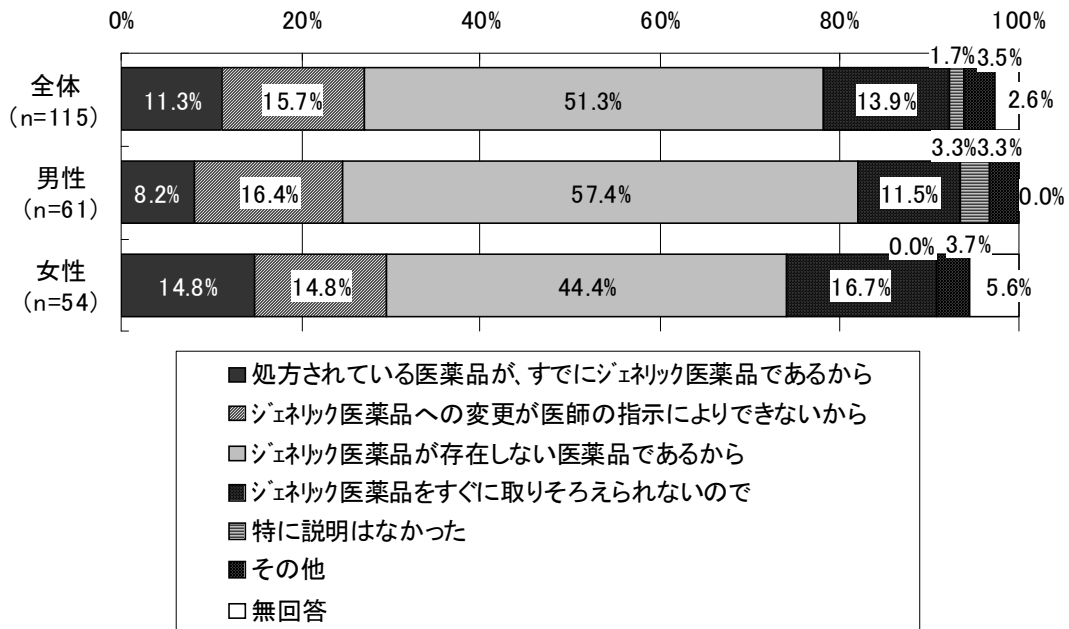
図表 146 ジェネリック医薬品の調剤を薬剤師に頼んだが調剤してもらえなかった経験の有無
 (平成 25 年 4 月以降) (頼んだ経験のある人、年齢階級別)



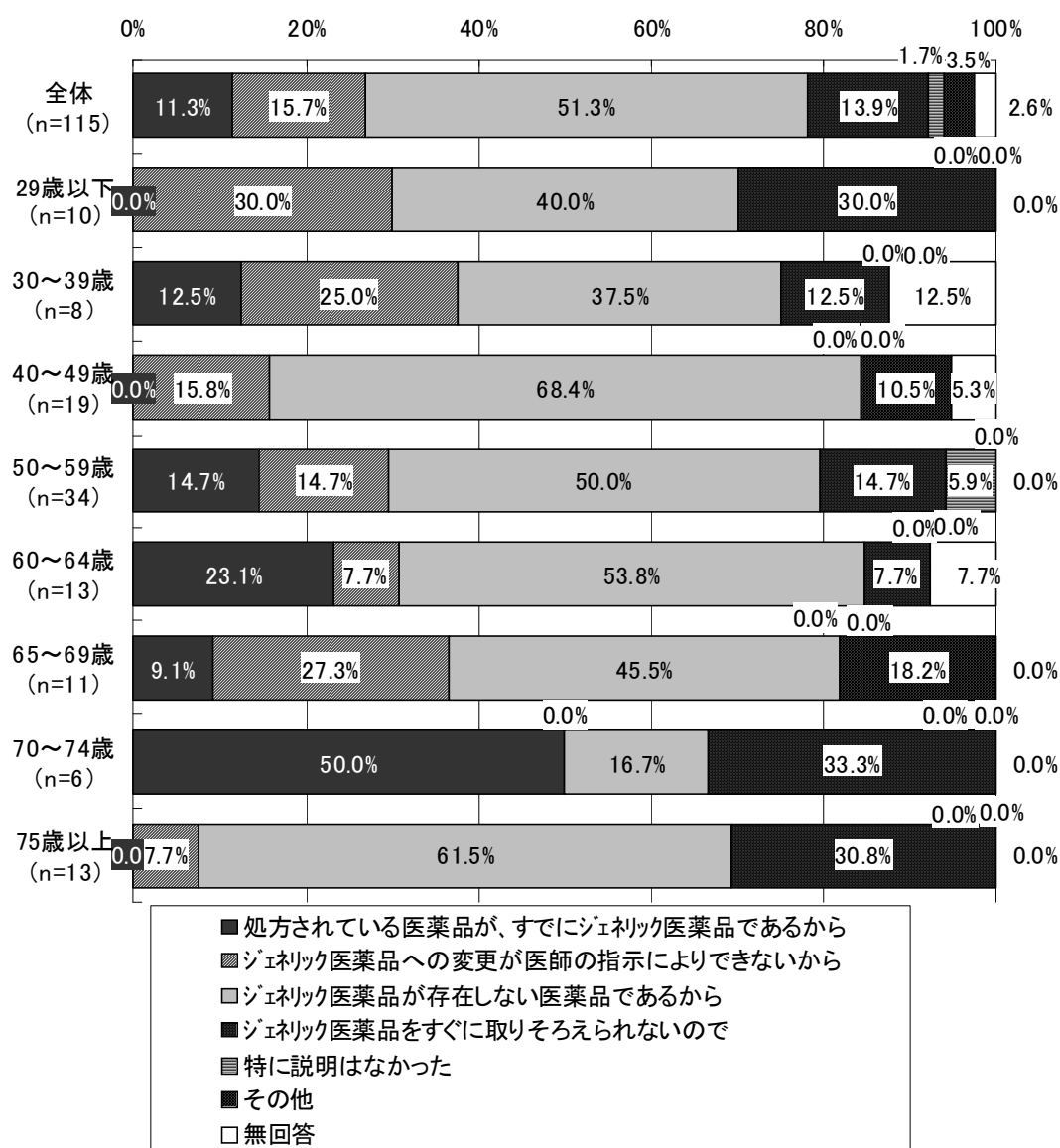
(注) 「全体」には、「年齢」について無回答の3人が含まれる。

4) ジェネリック医薬品の調剤をしてもらえなかった時に薬局から説明を受けた内容

図表 147 ジェネリック医薬品の調剤をしてもらえなかった時に薬局から説明を受けた内容（頼んだが調剤してもらえなかった経験のある人、男女別）



図表 148 ジェネリック医薬品の調剤をしてもらえなかった時に薬局から説明を受けた内容（頼んだが調剤してもらえなかった経験のある人、年齢階級別）

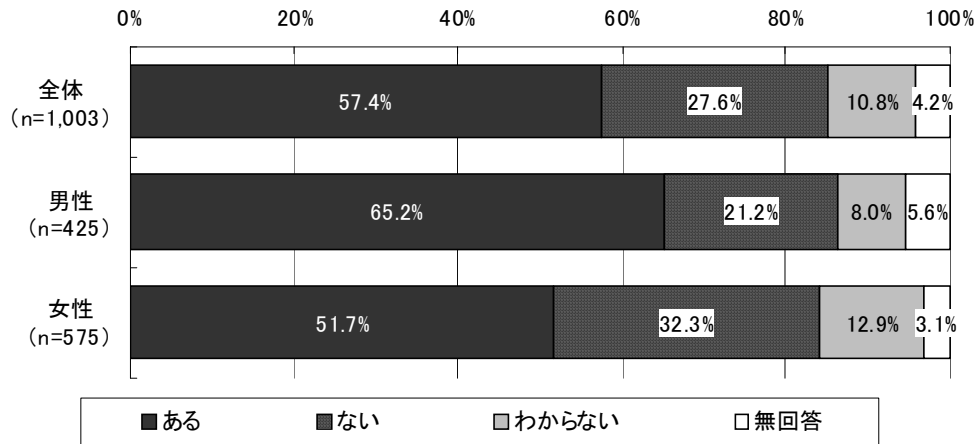


(注) 「全体」には、「年齢」について無回答の1人が含まれる。

⑧今までに先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した薬の有無等

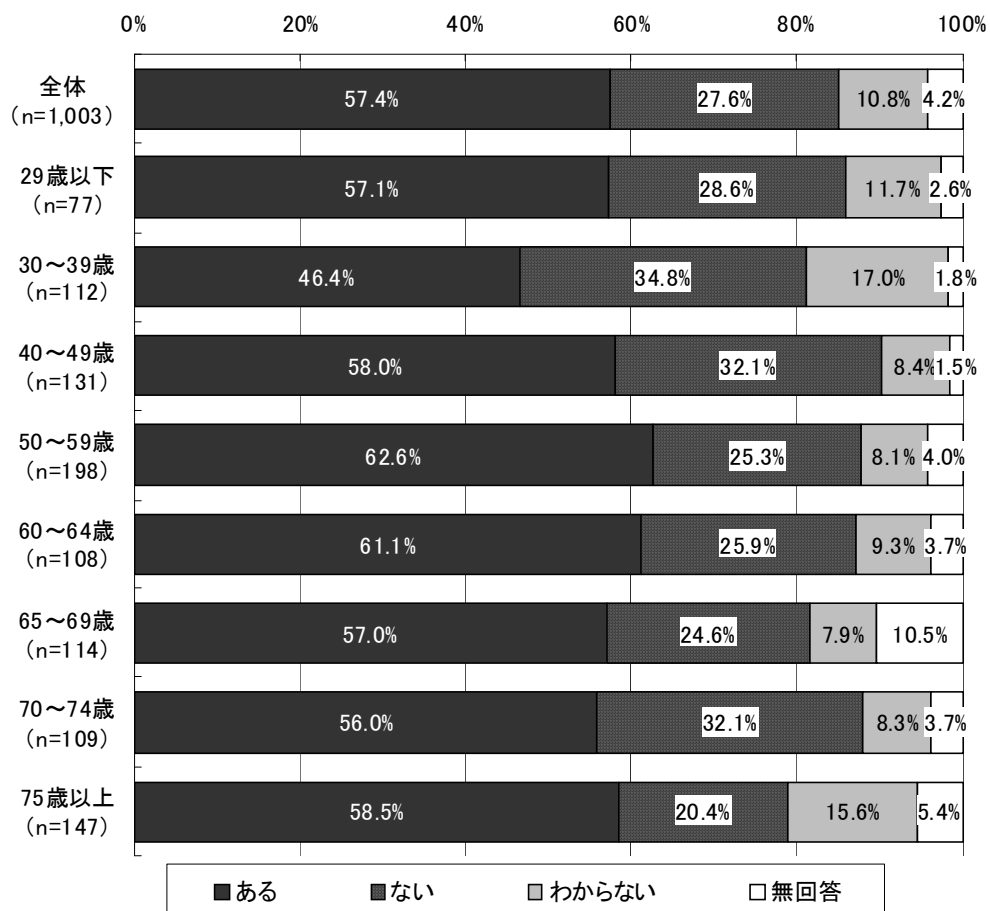
1) 今までに先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した薬の有無

図表 149 今までに先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した薬の有無（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

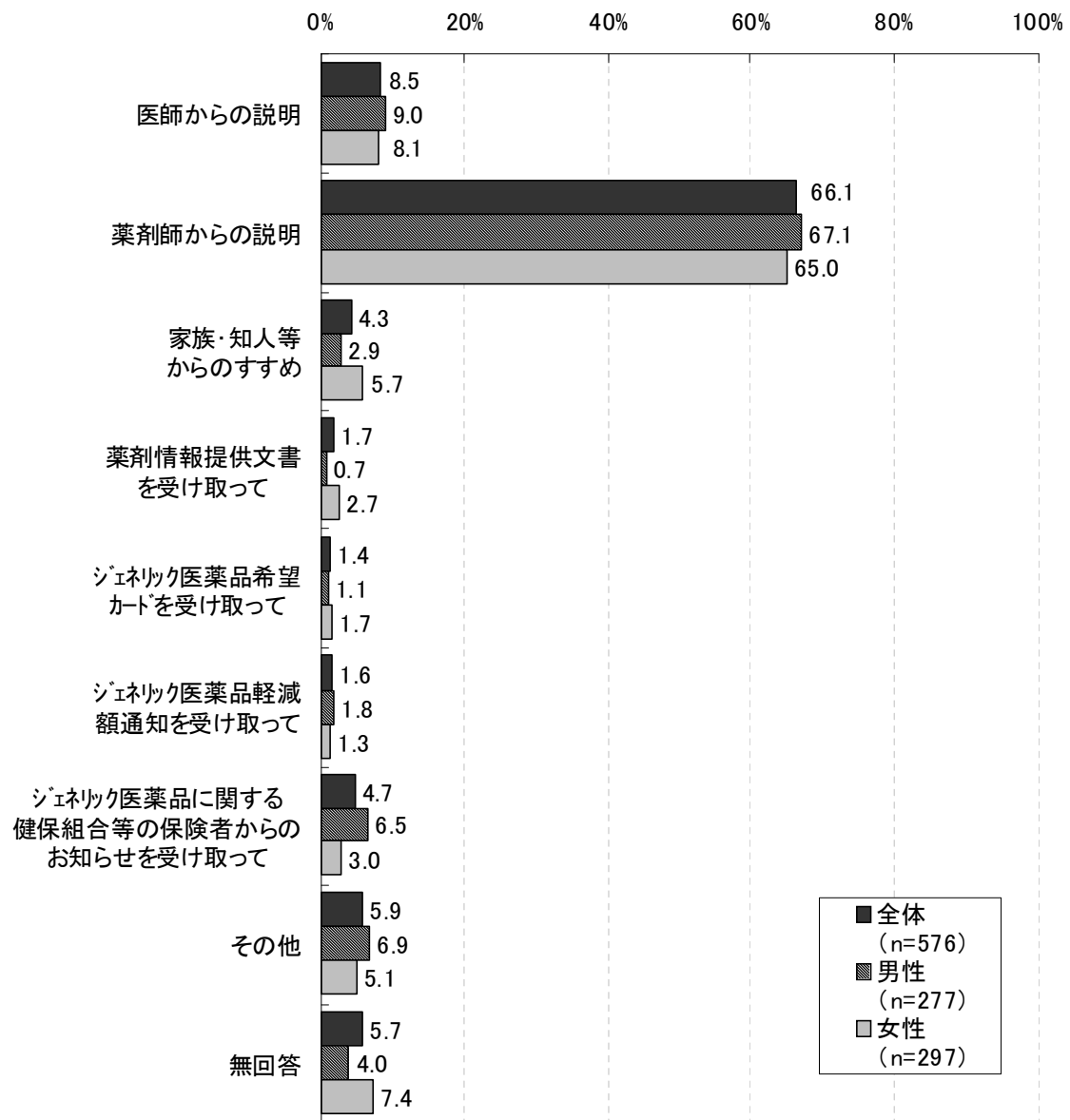
図表 150 今までに先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した薬の有無（年齢階級別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の7人が含まれる。

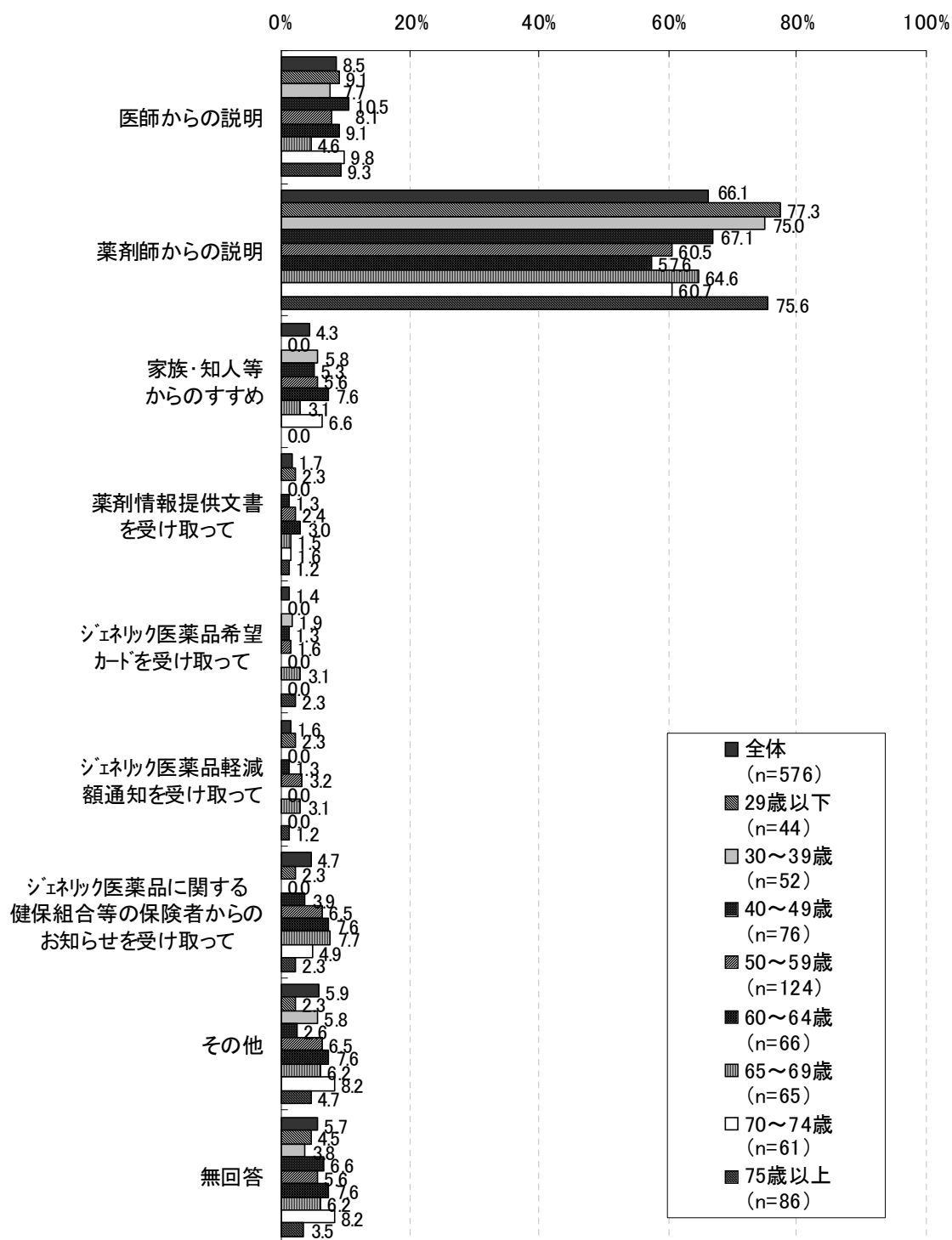
2) 先発医薬品からジェネリック医薬品に変更したきっかけ

図表 151 先発医薬品からジェネリック医薬品に変更したきっかけ
 (今までに先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した薬がある人、男女別、単数回答)



(注)「全体」には、「性別」について無回答の2人が含まれる。

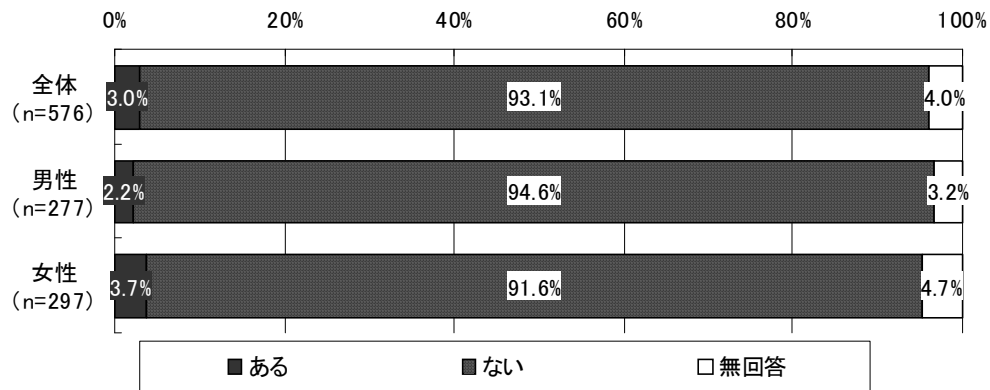
図表 152 先発医薬品からジェネリック医薬品に変更したきっかけ（今までに先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した薬がある人、年齢階級別、単数回答）



(注) 「全体」には、「年齢」について無回答の2人が含まれる。

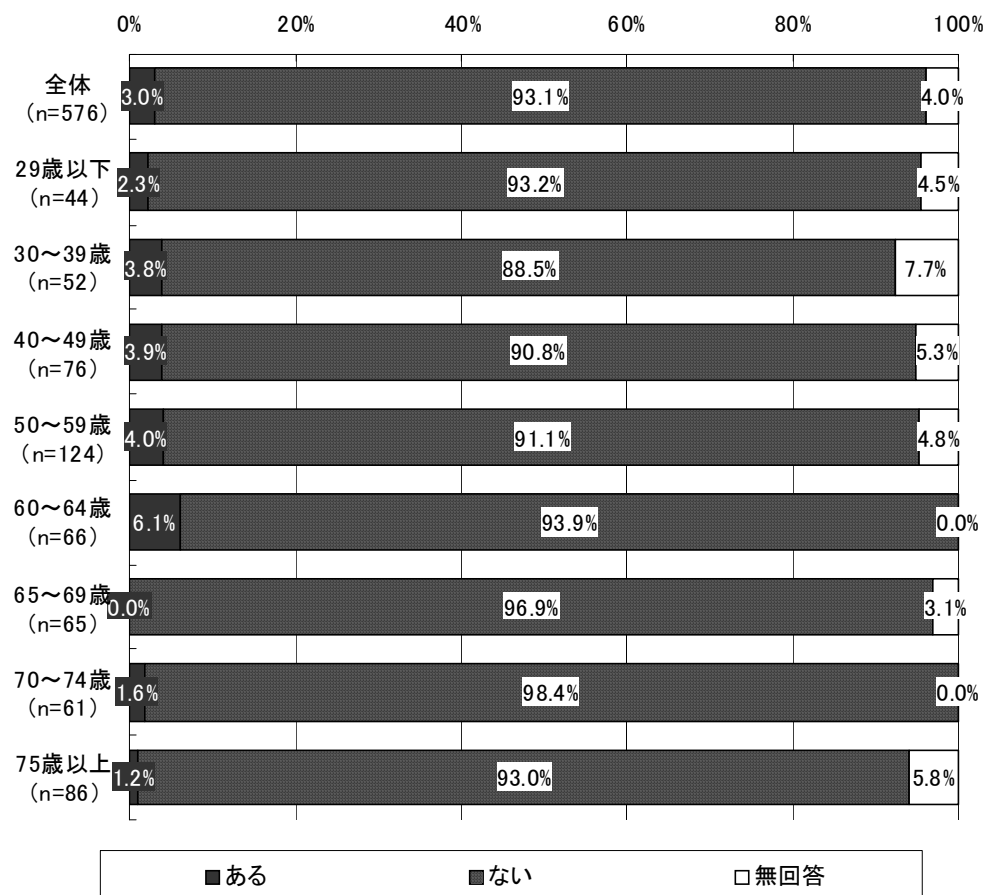
3) 先発医薬品からジェネリック医薬品変更時における体調不良の経験の有無

図表 153 先発医薬品からジェネリック医薬品変更時における体調不良の経験の有無
(今までに先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した薬がある人、男女別)



(注)「全体」には、「性別」について無回答の2人が含まれる。

図表 154 先発医薬品からジェネリック医薬品変更時における体調不良の経験の有無
(今までに先発医薬品からジェネリック医薬品に変更した薬がある人、年齢階級別)



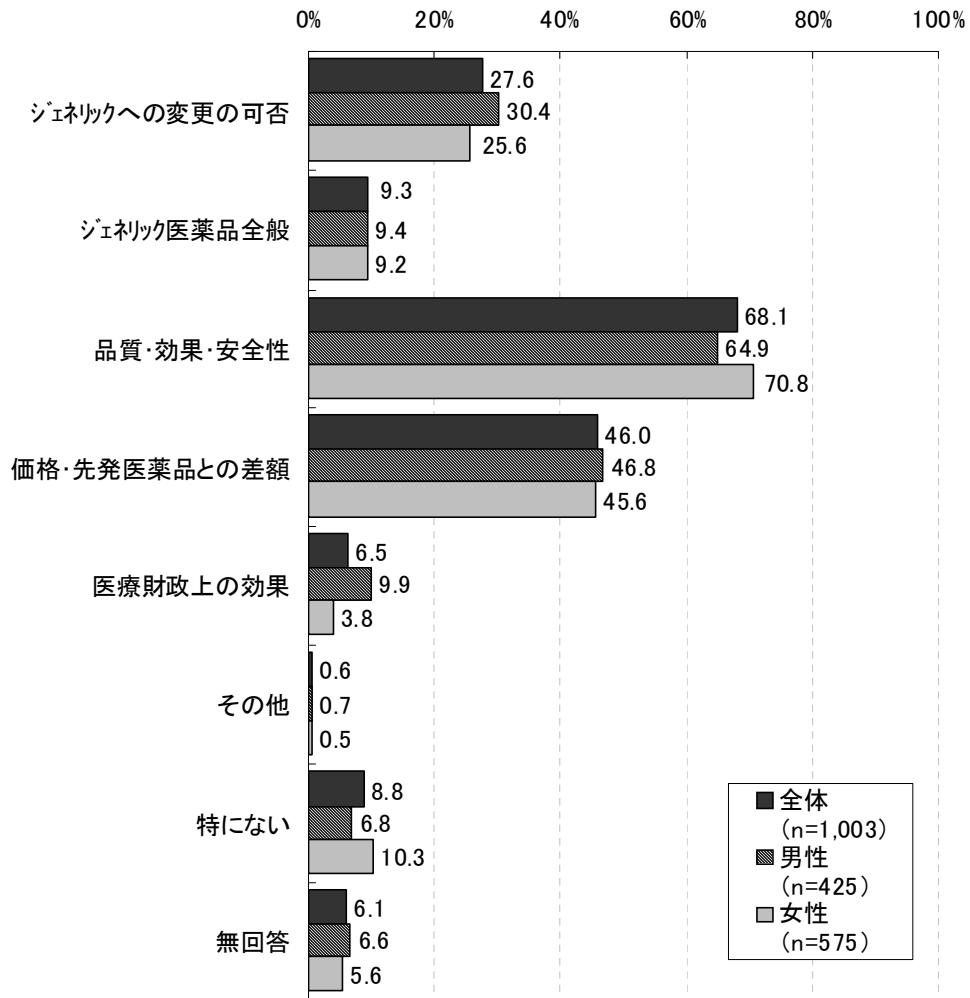
(注)「全体」には、「年齢」について無回答の2人が含まれる。

(4) ジェネリック使用に関する意向等

①薬局で聞きたいジェネリック医薬品に関する情報等

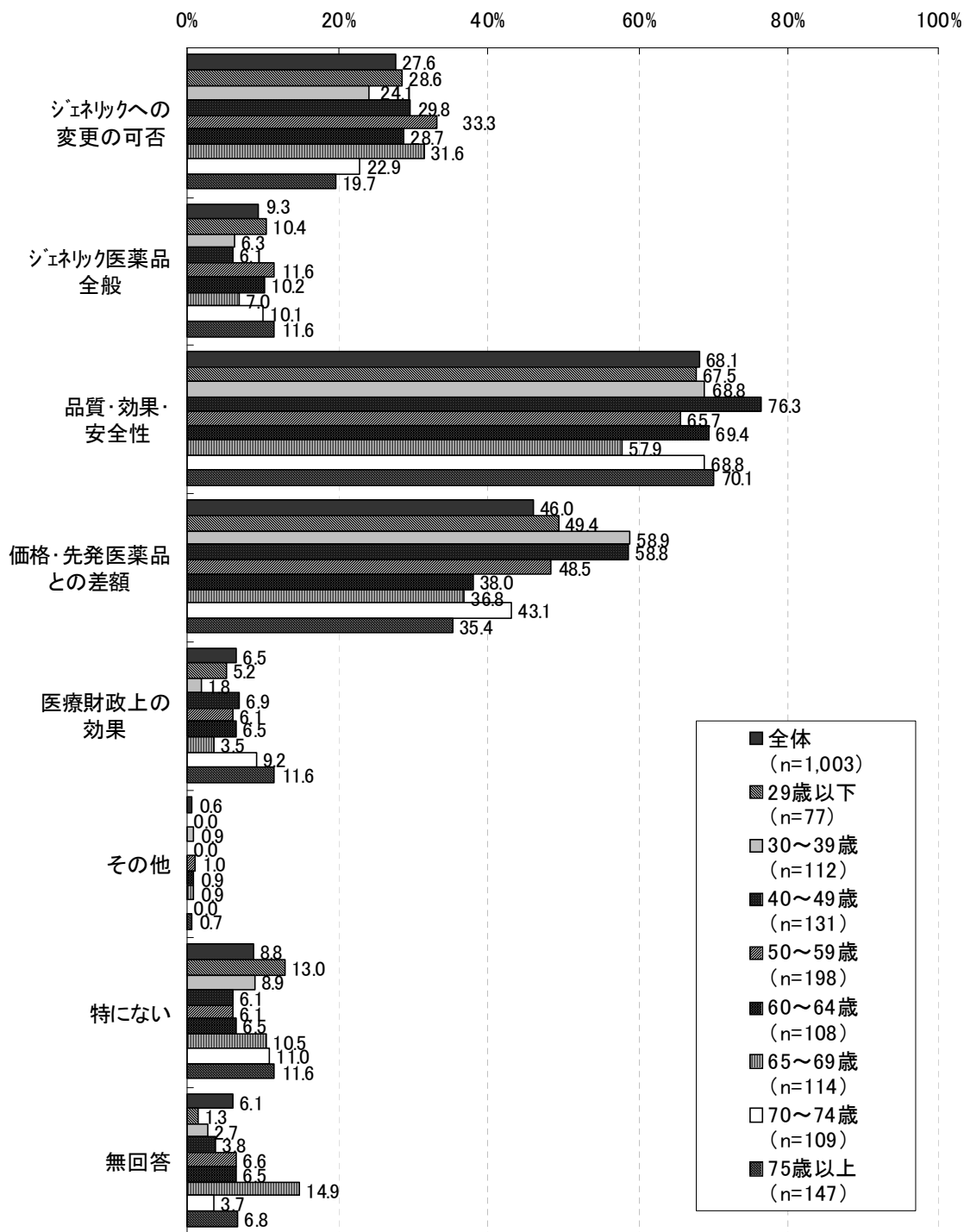
1) 薬局で聞きたいジェネリック医薬品に関する情報

図表 155 薬局で聞きたいジェネリック医薬品に関する情報（男女別、複数回答）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

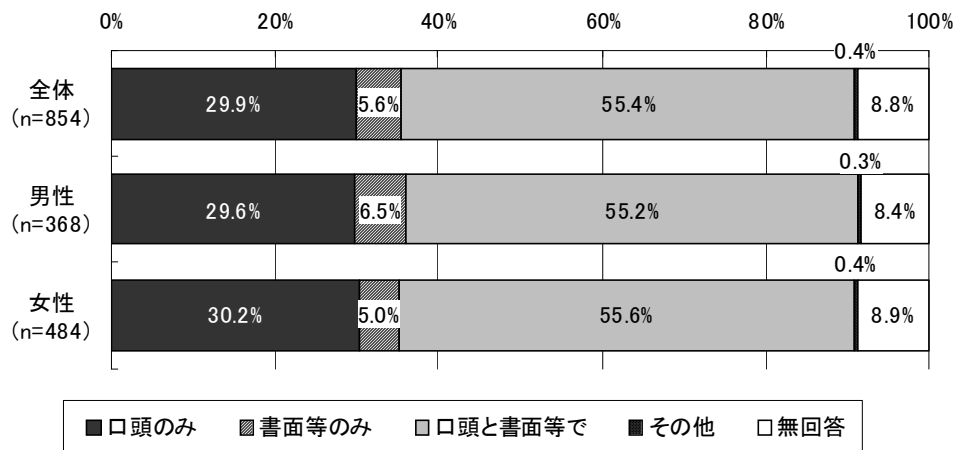
図表 156 薬局で聞きたいジェネリック医薬品に関する情報（年齢階級別、複数回答）



(注) 「全体」には、「年齢」について無回答の7人が含まれる。

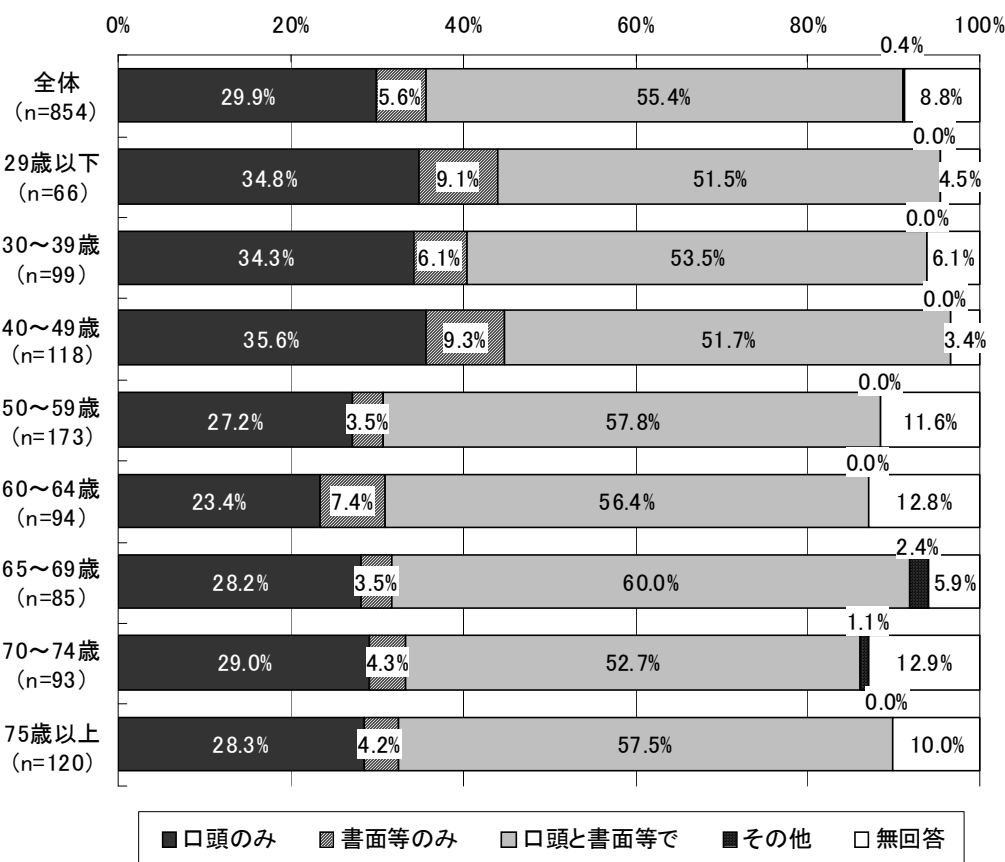
2) ジェネリック医薬品に関する情報を薬局で入手するための望ましい方法

図表 157 ジェネリック医薬品に関する情報を薬局で入手するための望ましい方法
(欲しい情報がある人、男女別)



(注)「全体」には、「性別」について無回答の2人が含まれる。

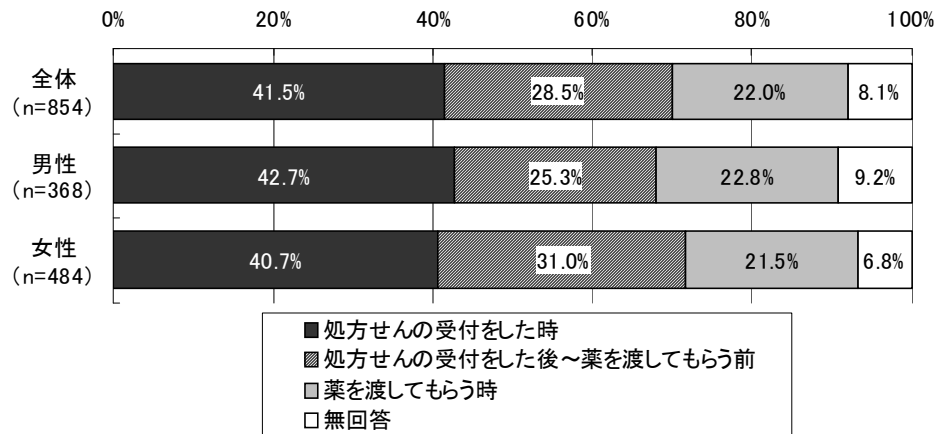
図表 158 ジェネリック医薬品に関する情報を薬局で入手するための望ましい方法
(欲しい情報がある人、年齢階級別)



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の6人が含まれる。

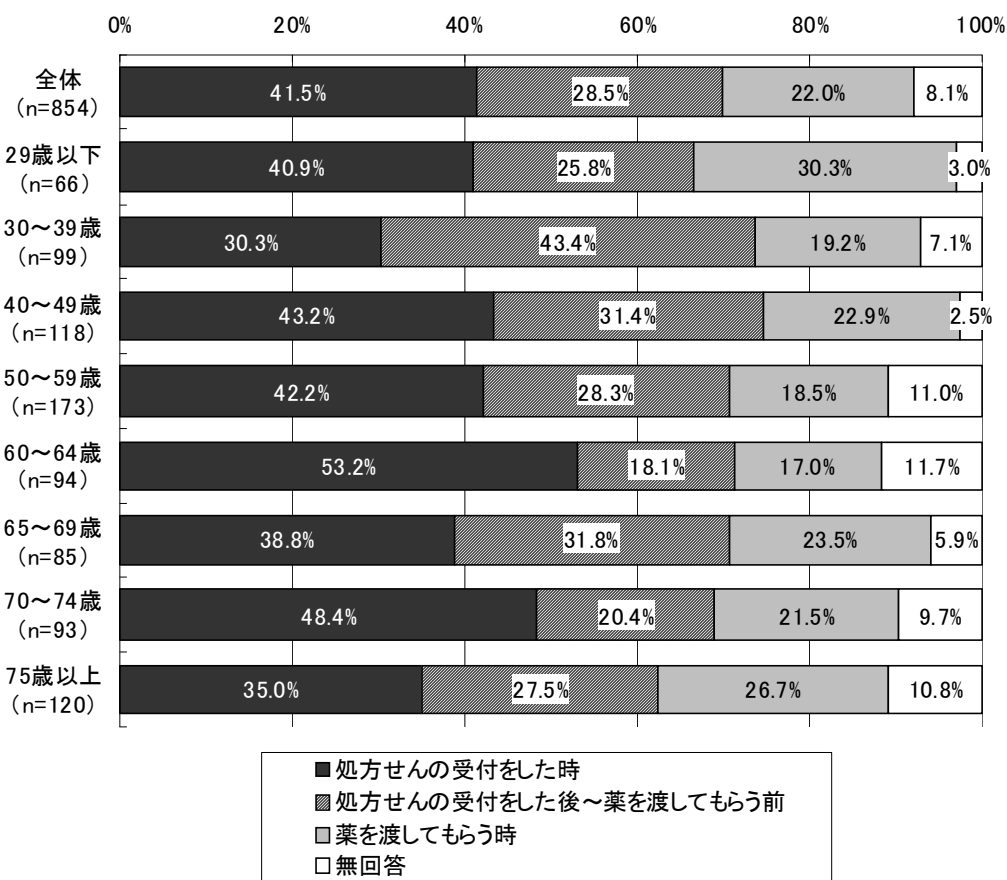
3) ジェネリック医薬品に関する情報を薬局から提供してほしいタイミング

図表 159 ジェネリック医薬品に関する情報を薬局から提供してほしいタイミング
(欲しい情報がある人、男女別)



(注)「全体」には、「性別」について無回答の2人が含まれる。

図表 160 ジェネリック医薬品に関する情報を薬局から提供してほしいタイミング
(欲しい情報がある人、年齢階級別)

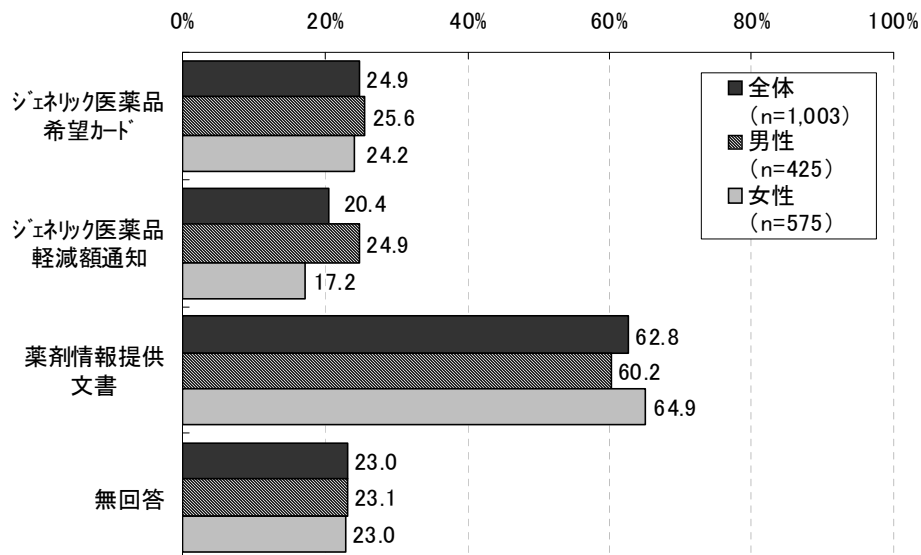


(注)「全体」には、「年齢」について無回答の6人が含まれる。

②ジェネリック医薬品に関する文書等に関する経験・意向等

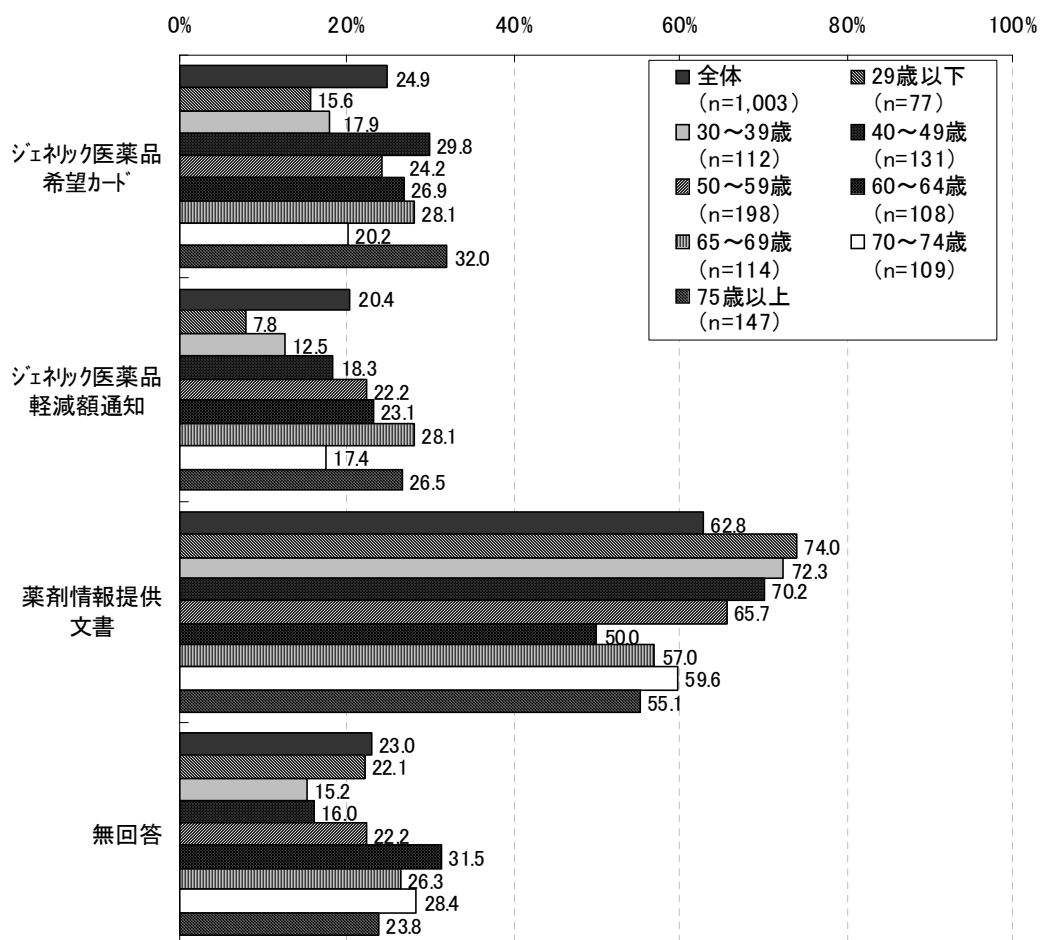
1) 今までに受け取ったことがあるジェネリック医薬品に関する文書等

図表 161 ジェネリック医薬品に関する文書等の受取り経験の有無（男女別、複数回答）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

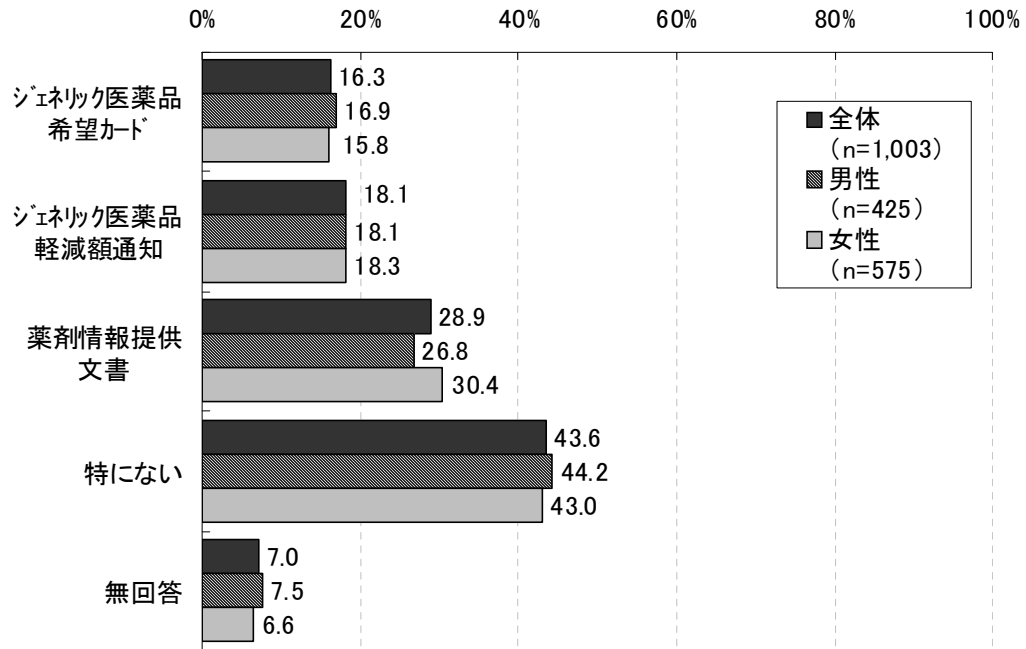
図表 162 ジェネリック医薬品に関する文書等の受取り経験の有無
(年齢階級別、複数回答)



(注) 「全体」には、「年齢」について無回答の7人が含まれる。

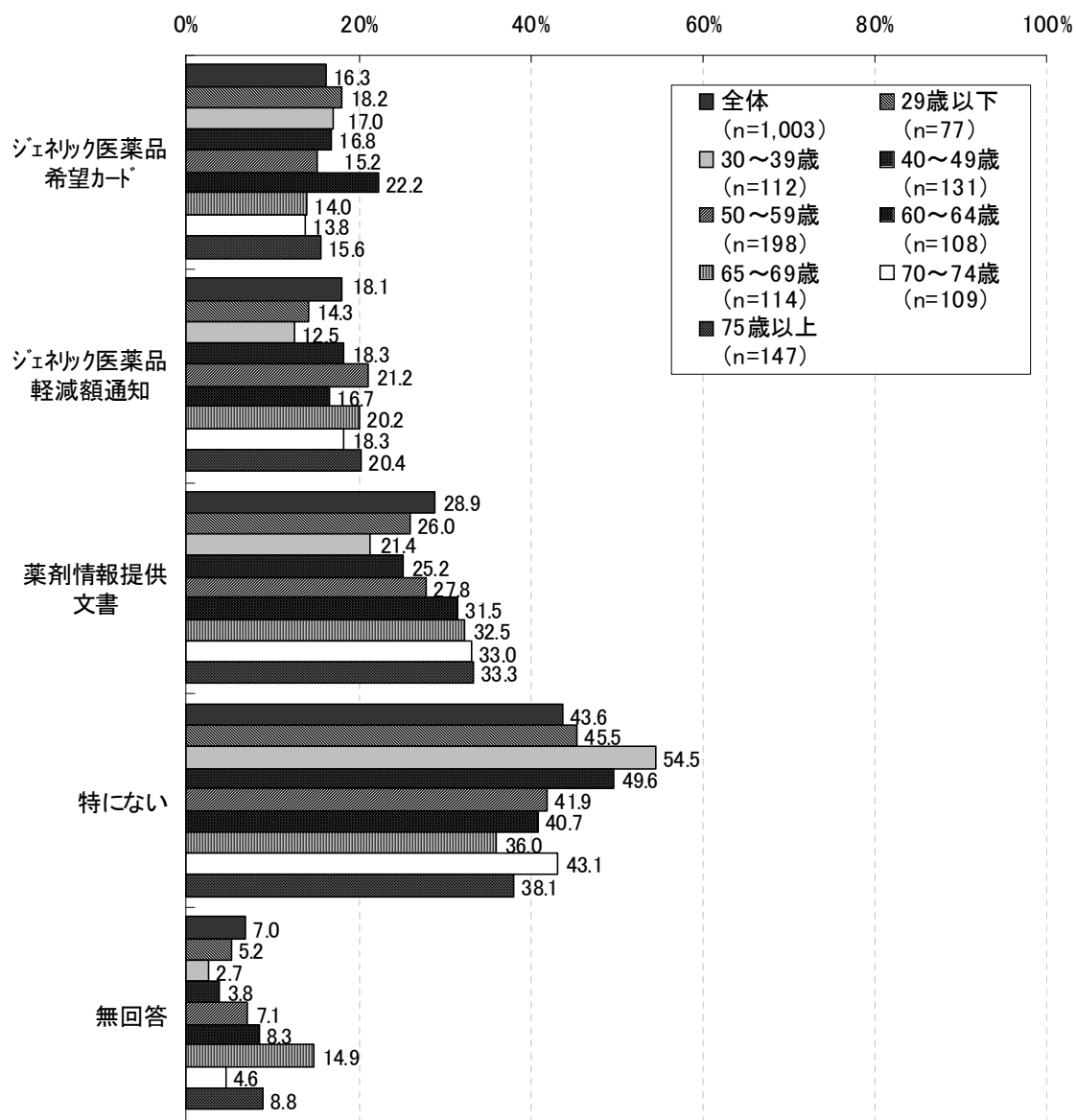
2) 今後活用してみたいジェネリック医薬品に関する文書等

図表 163 今後活用してみたいジェネリック医薬品に関する文書等（男女別、複数回答）



(注) 「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

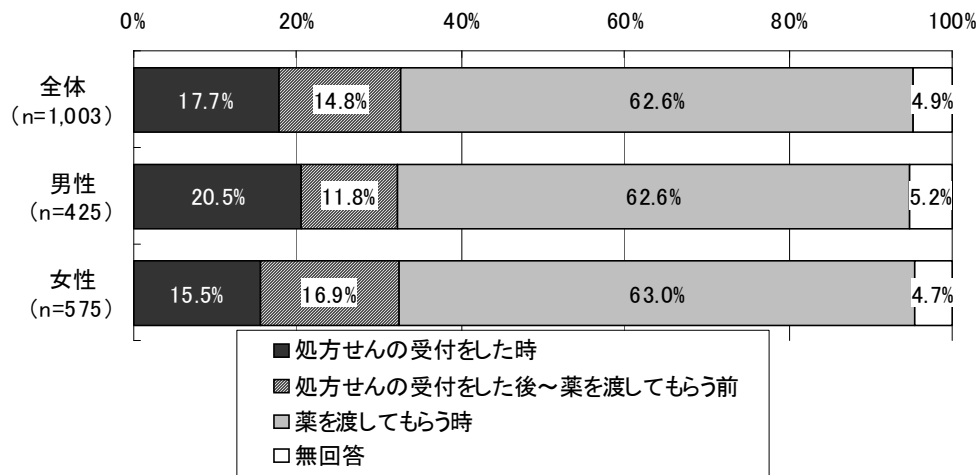
図表 164 今後活用してみたいジェネリック医薬品に関する文書等
(年齢階級別、複数回答)



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の7人が含まれる。

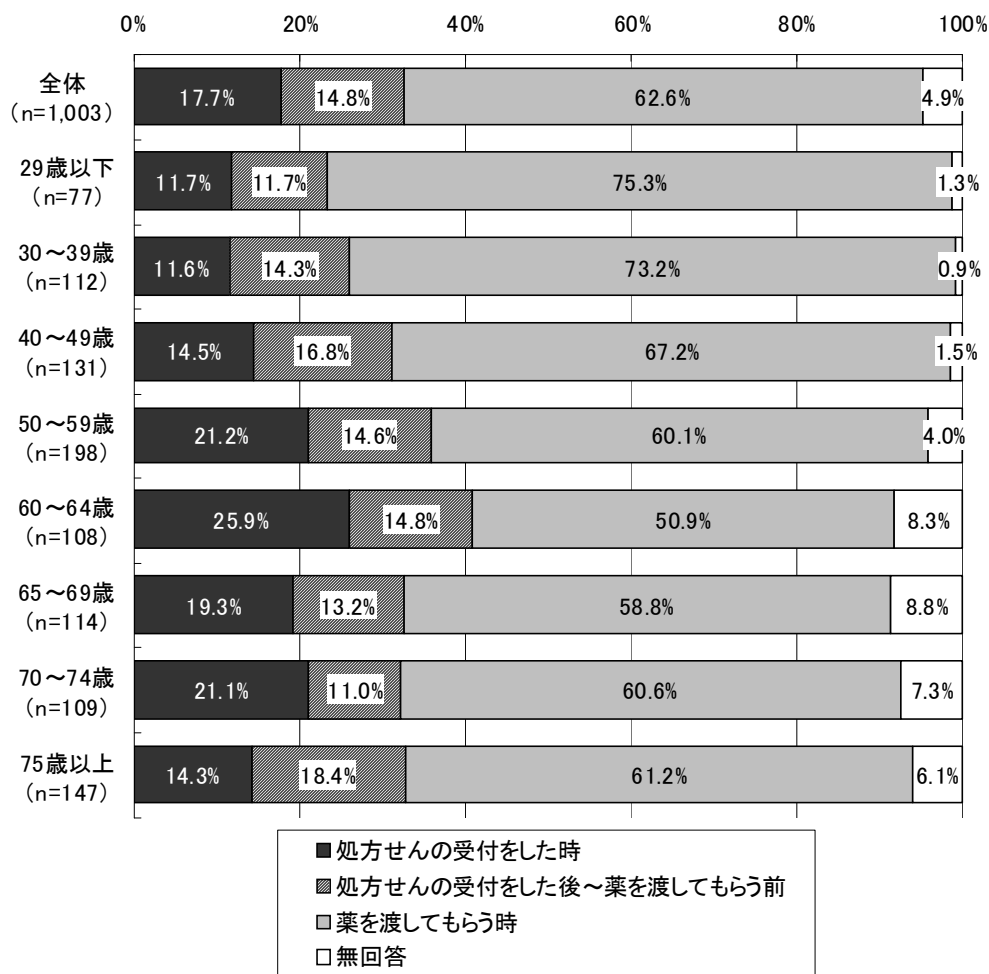
3) 薬剤情報提供文書を受け取る際の望ましいタイミング

図表 165 薬剤情報提供文書を受け取る際の望ましいタイミング（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

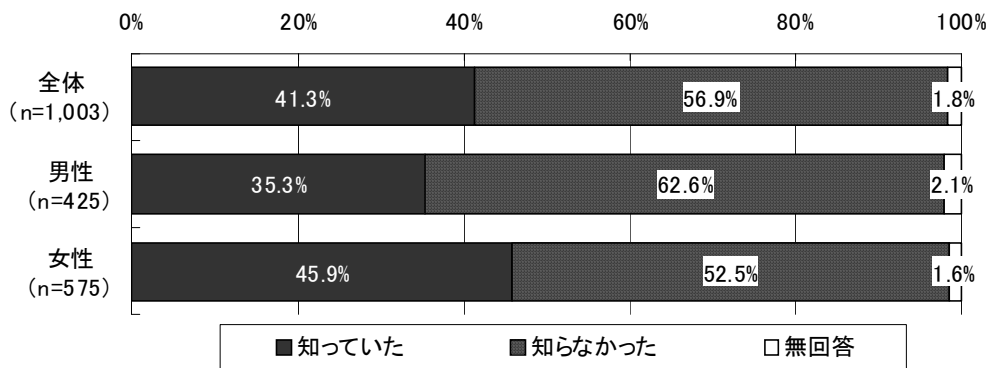
図表 166 薬剤情報提供文書を受け取る際の望ましいタイミング（年齢階級別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の7人が含まれる。

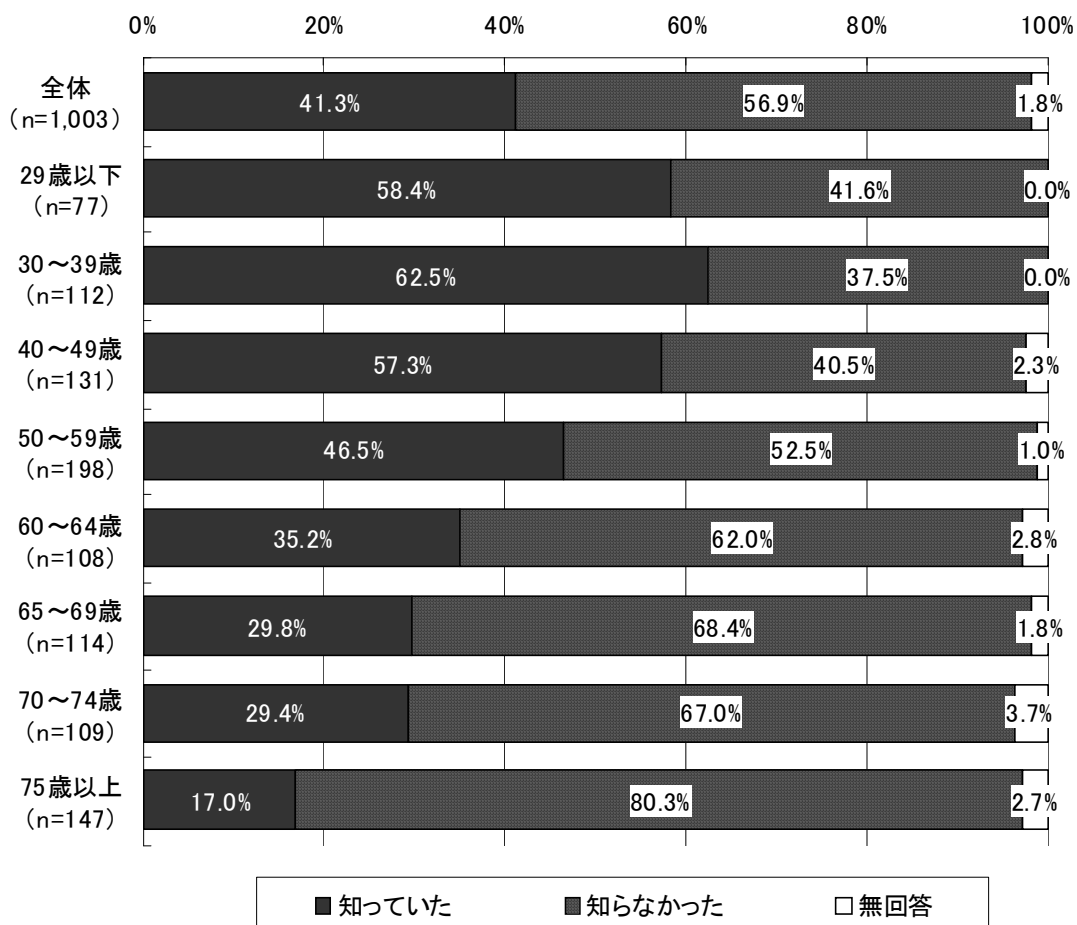
③一般名処方の認知度

図表 167 一般名処方の認知度（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

図表 168 一般名処方の認知度（年齢階級別）

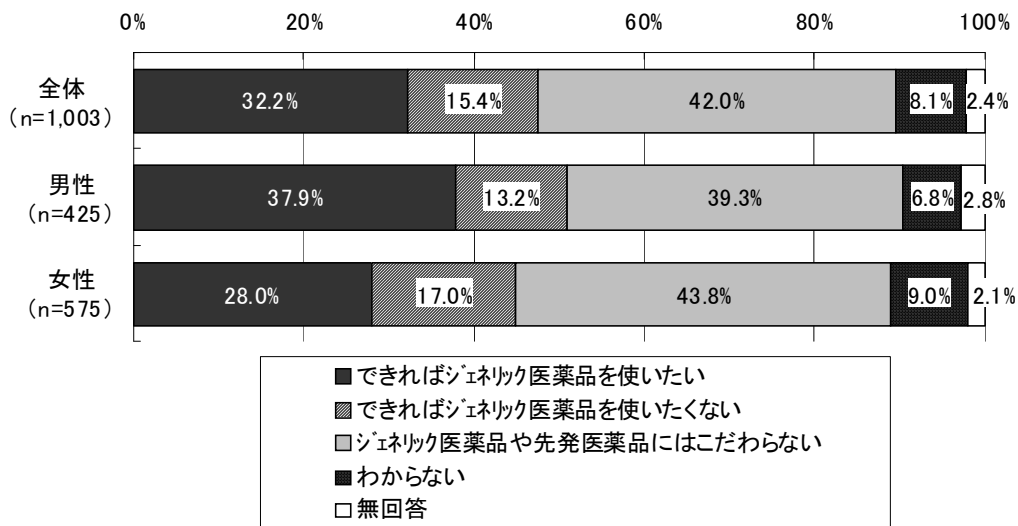


(注)「全体」には、「年齢」について無回答の7人が含まれる。

④ジェネリック医薬品に関する使用意向等

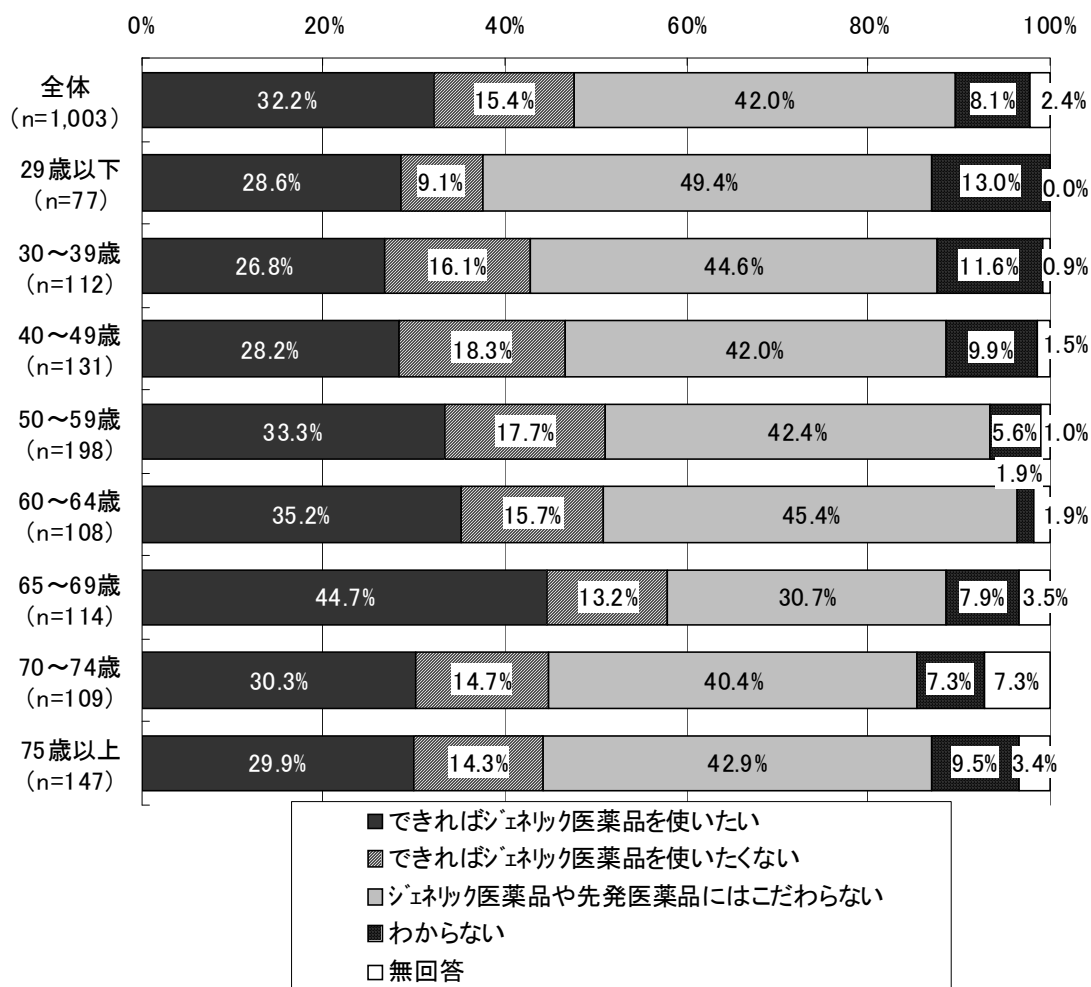
1) ジェネリック医薬品の使用に関する考え

図表 169 ジェネリック医薬品の使用に関する考え（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

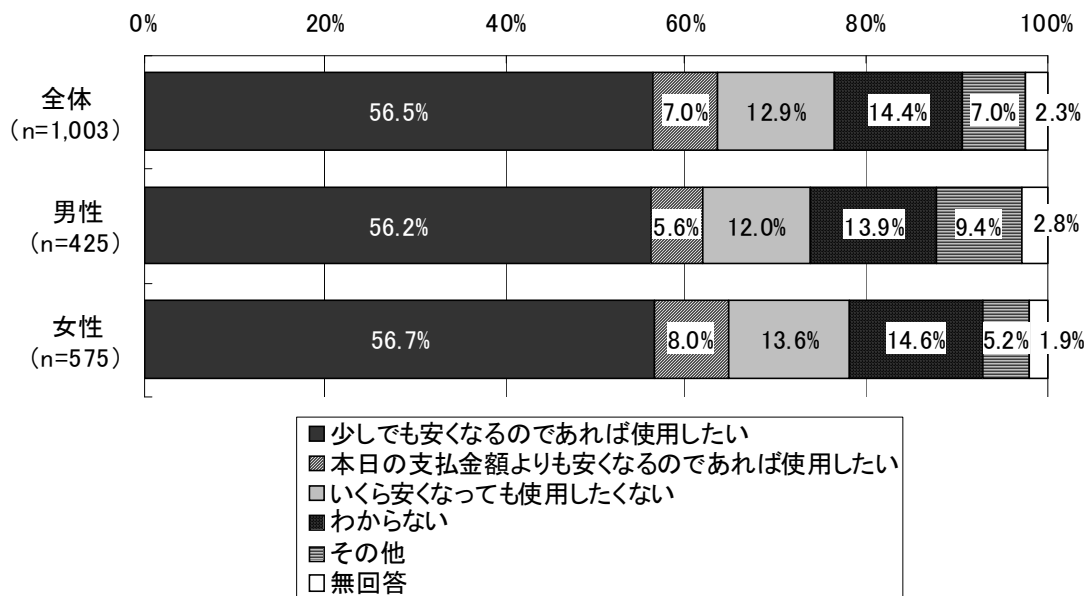
図表 170 ジェネリック医薬品の使用に関する考え（年齢階級別）



(注) 「全体」には、「年齢」について無回答の7人が含まれる。

2) ジェネリック医薬品に関する使用意向（自己負担との関係）

図表 171 ジェネリック医薬品に関する使用意向（自己負担との関係）（男女別）



(注)・「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。
 ・「本日の支払金額よりも安くなるのであれば使用したい」は、調査票では「() 円くらい安くなるのであれば使用したい」という記載である。

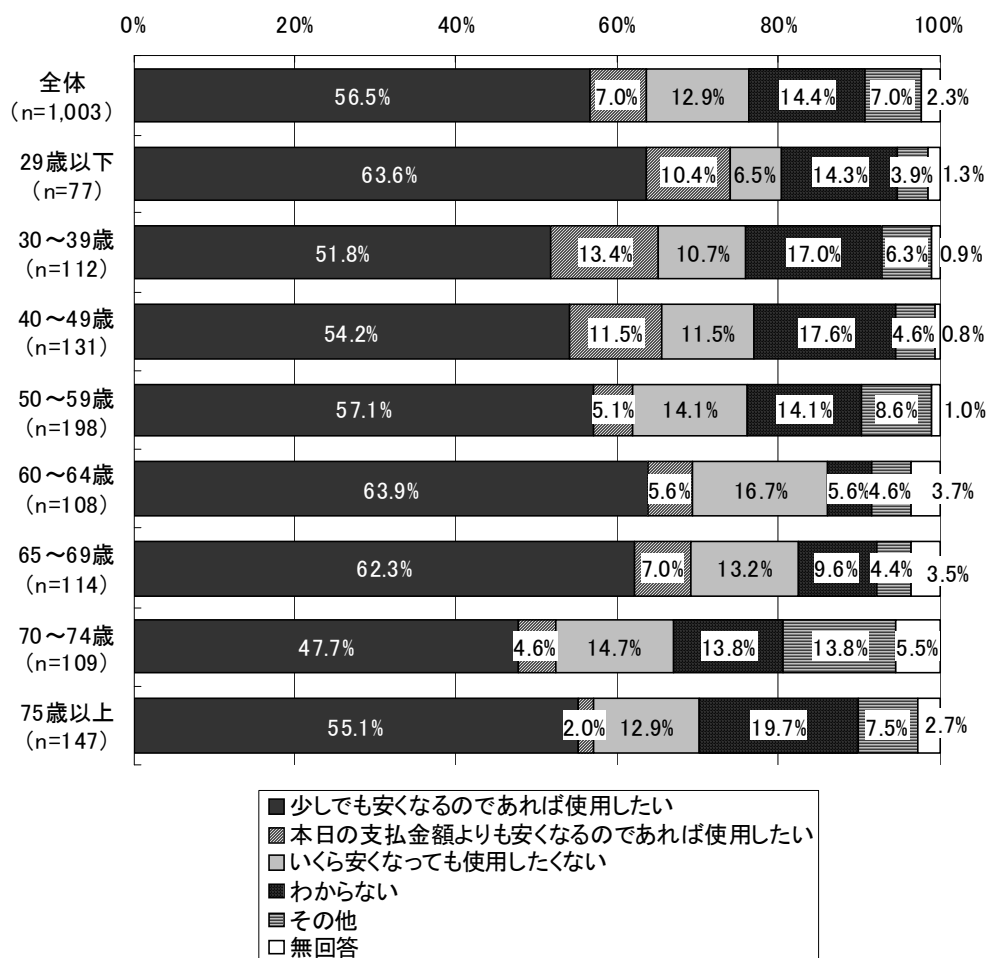
図表 172 ジェネリック医薬品を使用してもよいと思う自己負担額上の差額
 (「本日の支払金額よりも安くなるのであれば使用したい」と回答した人、男女別)

(単位：円)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	66	681.7	707.0	500.0
男性	24	599.6	490.5	500.0
女性	42	728.6	807.1	500.0

(注) 具体的に安くなってほしい金額について記載のあった66人を集計対象とした。

図表 173 ジェネリック医薬品に関する使用意向（自己負担額との関係）（年齢階級別）



(注)・「全体」には、「年齢」について無回答の7人が含まれる。

・「本日の支払金額よりも安くなるのであれば使用したい」は、調査票では「()円くらい安くなるのであれば使用したい」という記載である。

図表 174 ジェネリック医薬品を使用してもよいと思う自己負担額上の差額
 (「本日の支払金額よりも安くなるのであれば使用したい」と回答した人、年齢階級別)

(単位：円)

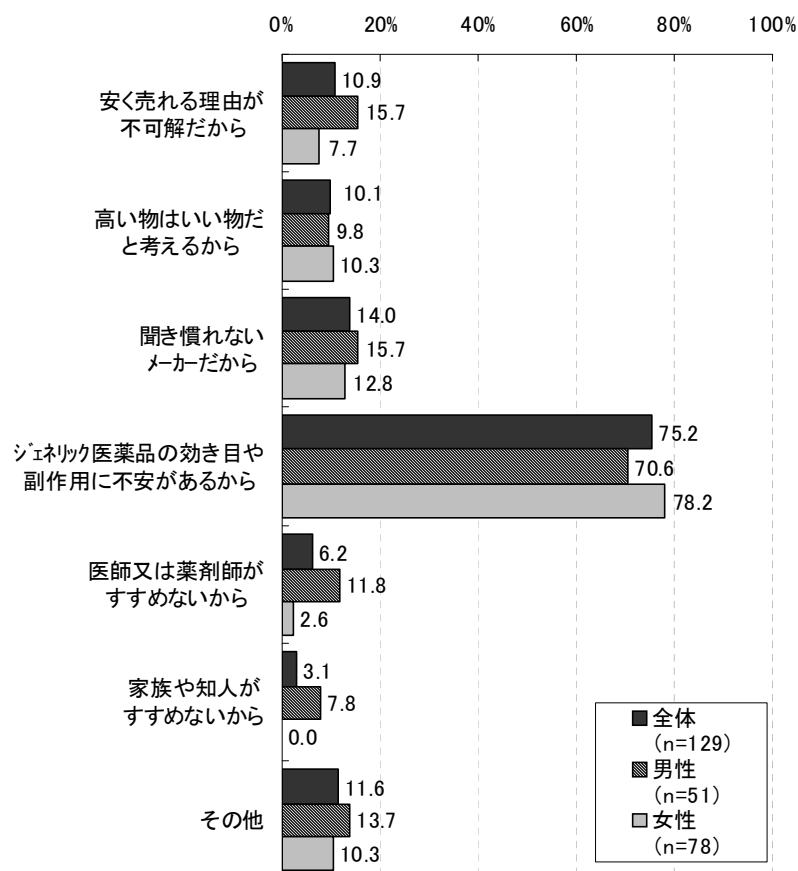
	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
全体	66	681.7	707.0	500.0
29歳以下	7	404.3	302.4	300.0
30～39歳	14	585.7	517.2	500.0
40～49歳	15	618.7	706.6	480.0
50～59歳	9	444.4	269.8	500.0
60～64歳	6	1,333.3	1,211.1	750.0
65～69歳	8	1,010.0	1,052.7	750.0
70～74歳	5	720.0	521.5	500.0
75歳以上	2	500.0		500.0

(注) 具体的に安くなってほしい金額について記載のあった66人を集計対象とした。

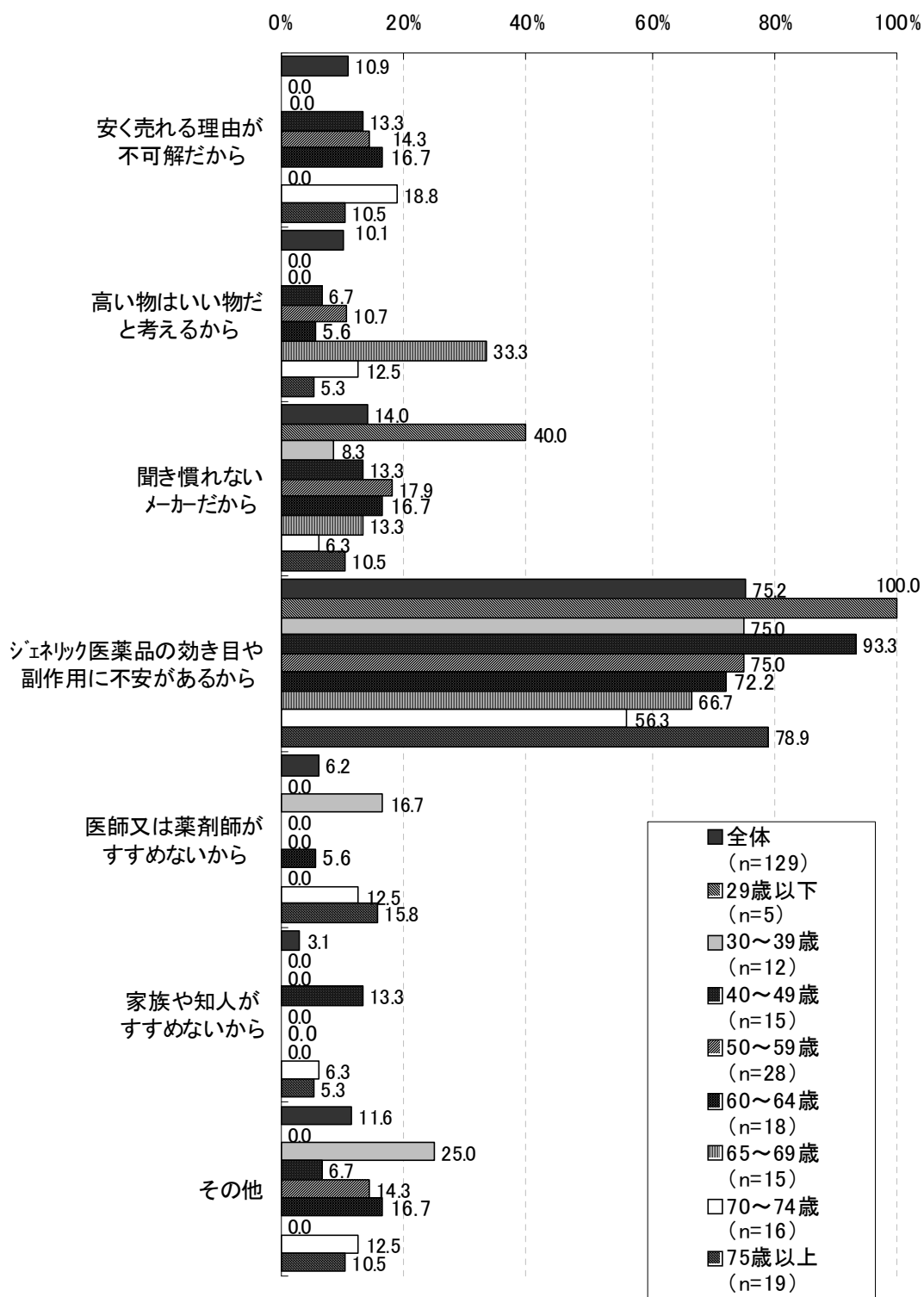
図表 175 ジェネリック医薬品を使用してもよいと思う自己負担額上の差額
 (「本日の支払金額よりも安くなるのであれば使用したい」と回答した人、本日の自己負担額)
 (単位：円)

本日の自己負担額	人数(人)	軽減額		
		平均値	標準偏差	中央値
全体	66	681.7	707.0	500.0
～500 円未満	0	-	-	-
500～1000 円未満	16	286.9	142.6	290.0
1000～1500 円未満	15	520.0	285.9	500.0
1500～2000 円未満	5	620.0	502.0	500.0
2000～3000 円未満	6	400.0	167.3	500.0
3000～5000 円未満	14	914.3	528.9	1,000.0
5000～10000 円未満	5	1,860.0	1,524.1	1,000.0
10000 円以上	1	1,000.0	-	1,000.0

図表 176 ジェネリック医薬品がいくら安くなっても使用したくない理由
 (「いくら安くなっても使用したくない」と回答した人、男女別、複数回答)

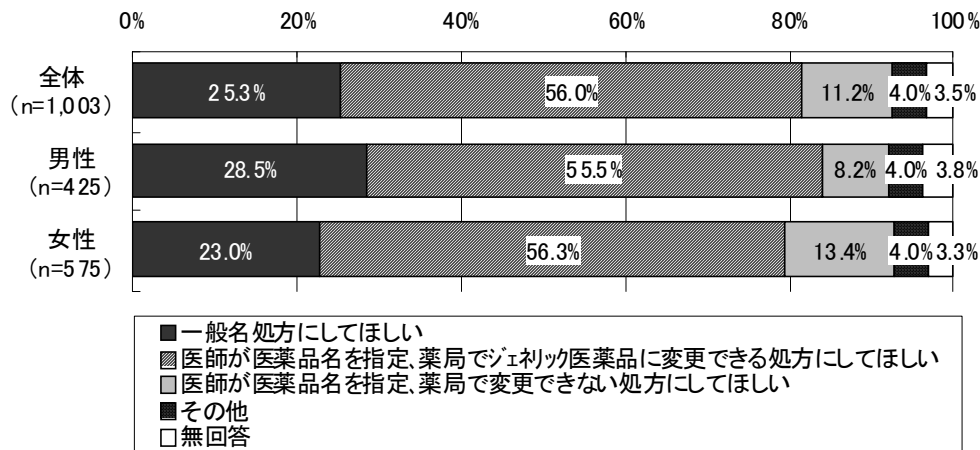


図表 177 ジェネリック医薬品がいくら安くなっても使用したくない理由
 (「いくら安くなっても使用したくない」と回答した人、年齢階級別、複数回答)



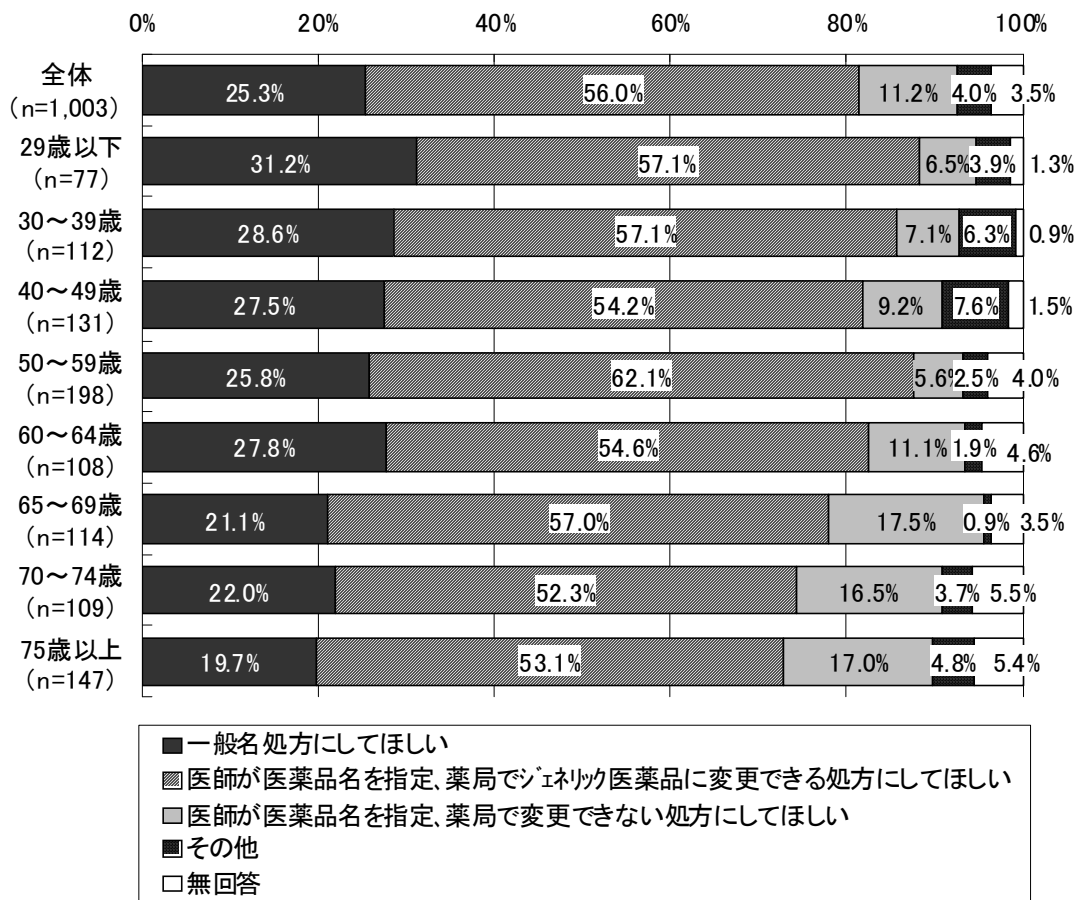
3) 望ましい処方せんの方式

図表 178 望ましい処方せんの方式（男女別）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

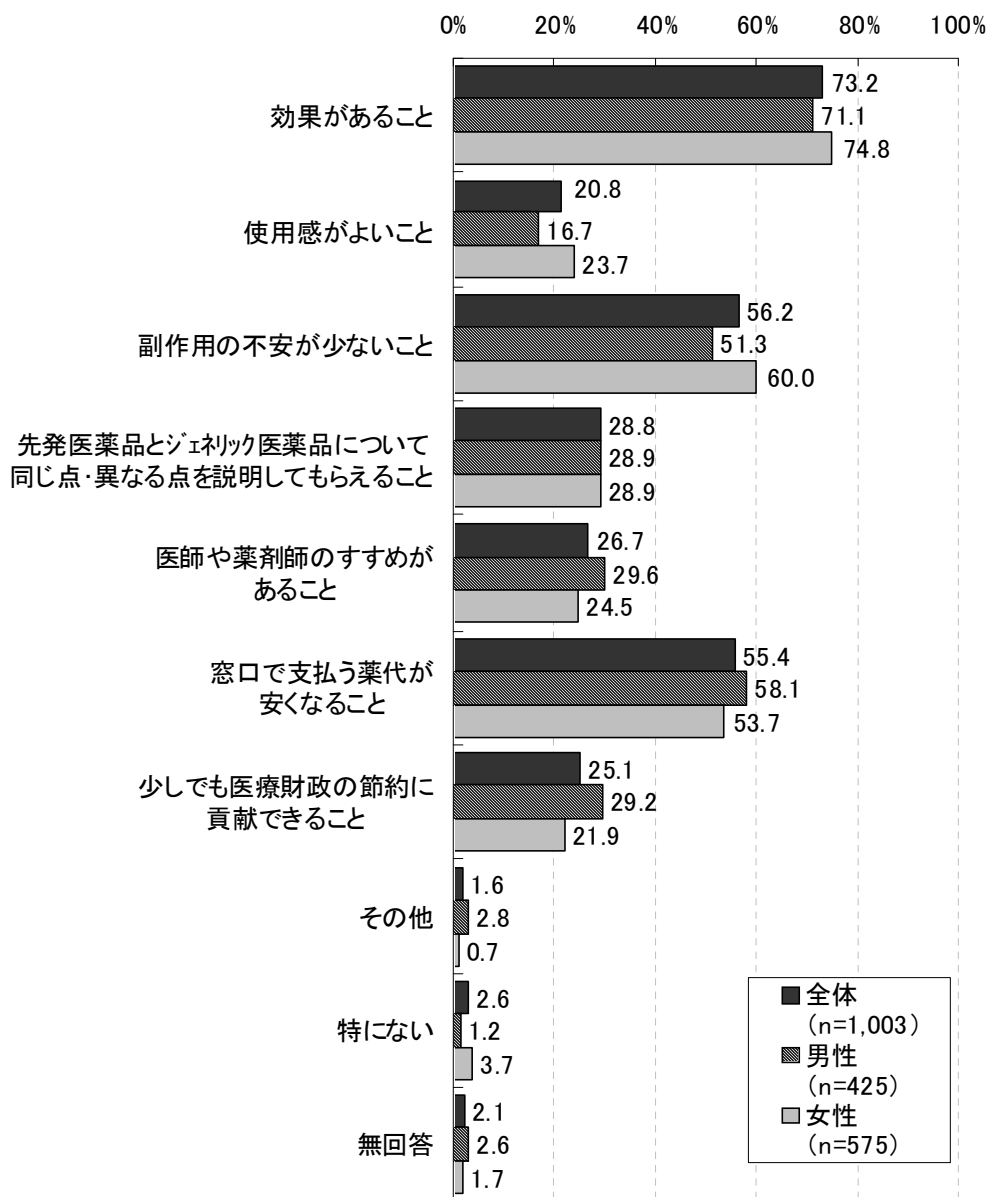
図表 179 望ましい処方せんの方式（年齢階級別）



(注)「全体」には、「年齢」について無回答の7人が含まれる。

4) ジェネリック医薬品を使用する上で重要なこと

図表 180 ジェネリック医薬品を使用する上で重要なこと（男女別、複数回答）



(注)「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。

図表 181 ジェネリック医薬品を使用する上で重要なこと（年齢階級別、複数回答）

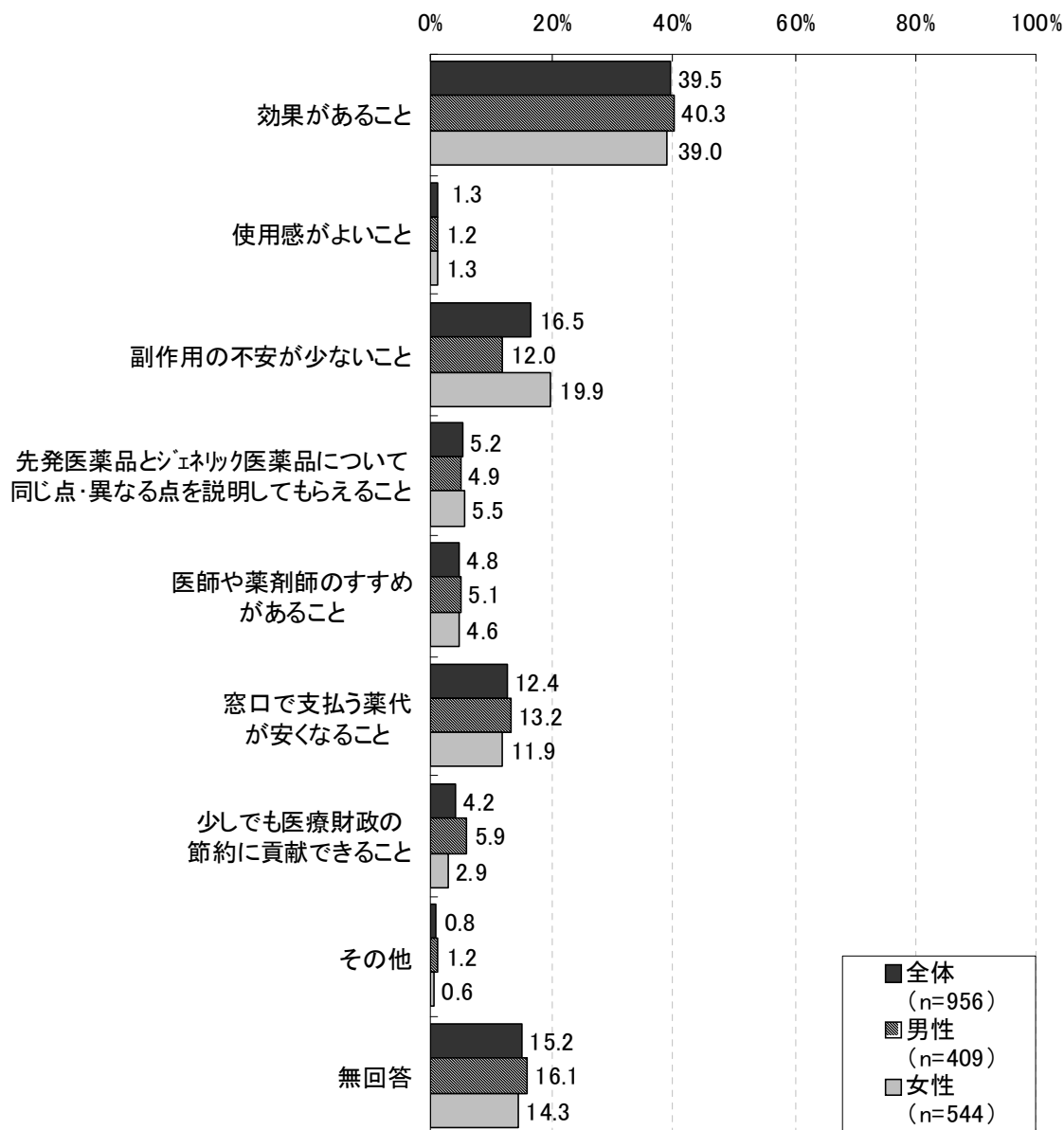
（単位：上段「人」、下段「%」）

	総数	効果があること	使用感がよいこと	副作用の不安が少ないこと	先発医薬品とジェネリック医薬品について同じ点・異なる点を説明してもらえないこと	医師や薬剤師のすすめがあること	窓口で支払う薬代が安くなること	少しでも医療財政の節約に貢献できること	その他	特になし	無回答
全体	1,003 100.0	734 73.2	209 20.8	564 56.2	289 28.8	268 26.7	556 55.4	252 25.1	16 1.6	26 2.6	21 2.1
29歳以下	77 100.0	61 79.2	22 28.6	36 46.8	22 28.6	16 20.8	55 71.4	14 18.2	1 1.3	3 3.9	0 0.0
30～39歳	112 100.0	93 83.0	30 26.8	64 57.1	24 21.4	24 21.4	64 57.1	14 12.5	1 0.9	2 1.8	1 0.9
40～49歳	131 100.0	100 76.3	29 22.1	81 61.8	41 31.3	34 26.0	77 58.8	28 21.4	2 1.5	3 2.3	1 0.8
50～59歳	198 100.0	153 77.3	43 21.7	112 56.6	67 33.8	45 22.7	123 62.1	53 26.8	2 1.0	1 0.5	3 1.5
60～64歳	108 100.0	78 72.2	14 13.0	66 61.1	27 25.0	32 29.6	57 52.8	23 21.3	4 3.7	1 0.9	3 2.8
65～69歳	114 100.0	83 72.8	22 19.3	62 54.4	38 33.3	39 34.2	61 53.5	41 36.0	1 0.9	3 2.6	4 3.5
70～74歳	109 100.0	67 61.5	19 17.4	55 50.5	34 31.2	32 29.4	53 48.6	30 27.5	4 3.7	5 4.6	5 4.6
75歳以上	147 100.0	93 63.3	30 20.4	86 58.5	35 23.8	44 29.9	62 42.2	48 32.7	1 0.7	8 5.4	4 2.7

（注）「全体」には、「年齢」について無回答の7人が含まれる。

5) ジェネリック医薬品を使用する上で最も重要なこと

図表 182 ジェネリック医薬品を使用する上で最も重要なこと（男女別、単数回答）



(注)・「全体」には、「性別」について無回答の3人が含まれる。
 ・「重要なこと」で「特にない」「無回答」であった回答を除く956人を集計対象とした。

図表 183 ジェネリック医薬品を使用する上で最も重要なこと（年齢階級別、単数回答）

（単位：上段「人」、下段「%」）

	総数	効果があること	使用感がよいこと	副作用の不安が少ないこと	先発医薬品とジェネリック医薬品について同じ点・異なる点を説明してもらえないこと	医師や薬剤師のすめがあること	窓口で支払う薬代が安くなること	少しでも医療財政の節約に貢献できること	その他	無回答
全体	956 100.0	378 39.5	12 1.3	158 16.5	50 5.2	46 4.8	119 12.4	40 4.2	8 0.8	145 15.2
29歳以下	74 100.0	34 45.9	0 0.0	10 13.5	4 5.4	2 2.7	11 14.9	2 2.7	1 1.4	10 13.5
30～39歳	109 100.0	53 48.6	2 1.8	19 17.4	7 6.4	2 1.8	13 11.9	1 0.9	1 0.9	11 10.1
40～49歳	127 100.0	51 40.2	1 0.8	25 19.7	6 4.7	4 3.1	12 9.4	2 1.6	1 0.8	25 19.7
50～59歳	194 100.0	80 41.2	1 0.5	25 12.9	13 6.7	4 2.1	32 16.5	5 2.6	0 0.0	34 17.5
60～64歳	104 100.0	37 35.6	0 0.0	18 17.3	3 2.9	9 8.7	17 16.3	4 3.8	2 1.9	14 13.5
65～69歳	107 100.0	44 41.1	1 0.9	16 15.0	5 4.7	7 6.5	9 8.4	8 7.5	1 0.9	16 15.0
70～74歳	99 100.0	36 36.4	4 4.0	15 15.2	4 4.0	8 8.1	12 12.1	6 6.1	1 1.0	13 13.1
75歳以上	135 100.0	41 30.4	3 2.2	28 20.7	7 5.2	10 7.4	12 8.9	12 8.9	1 0.7	21 15.6